
平成29年度
西地区の区バス・住民バスに関するニーズ調査
報 告 書

平成30年3月

新潟市西区役所

目次

1. 業務概要	1
1.1. 業務概要.....	1
1.2. 業務目的.....	1
1.3. 業務内容.....	1
1.3.1. ニーズ調査.....	1
1.3.2. 集計・分析、課題の整理.....	3
1.3.3. 打合せ協議.....	3
1.3.4. 業務のフロー.....	4
2. 潜在ニーズ調査	5
2.1. 調査実施について.....	5
2.1.1. アンケート調査票.....	5
2.1.2. アンケート調査の実施状況.....	5
2.2. 調査結果.....	12
2.2.1. 単純集計結果.....	12
2.2.1. クロス集計結果.....	45
3. 利用者ニーズ調査	68
3.1. 調査実施について.....	68
3.1.1. アンケート調査票.....	68
3.1.2. アンケート調査の実施状況.....	68
3.2. 調査結果.....	78
3.2.1. 単純集計結果.....	78
4. 結果のまとめと考察	99
4.1. 潜在ニーズ調査.....	99
4.1.1. 地区別の傾向.....	99
4.1.2. 年齢別の傾向.....	101
4.2. 運行ルートの見直しに関する考察(潜在ニーズ・利用者ニーズ).....	102
4.2.1. 区バス(中野小屋ルート).....	102
4.2.2. 住民バス(佐潟バス).....	104
4.2.3. 住民バス(内野上新町バス).....	106

1. 業務概要

1.1. 業務概要

- (1) 委託業務名： 西区の公共交通に関するニーズ調査業務委託
- (2) 委託場所： 新潟市西区

1.2. 業務目的

本業務は、西地区の住民ニーズ及び区バス（中野小屋ルート）、住民バス（コミュニティ佐潟バス、内野上新町バス）の利用者ニーズを把握するため、意向調査及び分析を行い、区内の地域公共交通について、今後の検討を行うための基礎資料の作成を目的とする。

1.3. 業務内容

1.3.1. ニーズ調査

(1) 潜在ニーズ調査

西地区の住民の移動実態や公共交通に対する潜在ニーズを把握するために、アンケート調査を実施した。

- 1) 調査対象 14,620世帯（平成29年3月末現在 住民基本台帳登録）
- 2) 調査方法 西地区の各町内において対象者を無作為に選び、その対象者にアンケートを配布することとした。選定・配布については、各自治会の班長は単年ごとに代わることから、班長への配布を無作為抽出として取り扱った。
できるだけ属性の偏りをなくし、バスをよく利用している人の意見も拾い出すため、各世帯3枚の調査票を渡し、家族内でバス利用の多い人に回答してもらうこととした。
なお、配布・回収については、各自治会の協力を得て行った。
 - ・ 配布先：879世帯（1世帯あたり最大3人）
 - ・ 回収数：1,465枚

なお、母数を35,317人（西事務所エリアの総人口、平成30年12月末現在）における必要標本数は次ページの式から381票以上となることから、本調査の標本数は十分に信頼水準を満たすものであるといえる。

※必要標本数は、一般的な信頼水準である最大誤差率を5%に設定した。

母集団の大きさ N:	35317	平成30年12月末時点 住基台帳より 西出張所エリア 総人口
必要標本数n:	380.0369164	
最大誤差 e:	0.05	最大誤差5%とする
信頼率に対応する正規分布点 Z:	1.96	誤差率50%の場合の正規分布点
予想される母集団の比率 P:	0.5	50%とする

$$n \geq \frac{N}{\left(\frac{e}{Z}\right)^2 \times \frac{N-1}{P(1-P)} + 1}$$

- 3) 調査票 新潟市と協議の上、作成した。
- 4) 調査項目 20項目程度（自由記載1問）
i) 対象者属性：居住地、性別、年齢、職業、勤務地、免許有無
ii) 移動実態：外出頻度、外出目的毎の交通手段、バスの将来利用予測
iii) 路線バス：利用頻度、利用目的、最寄りのバス停、バス停までの時間、利用しない理由（便数、時刻等）
iv) 区バス・住民バス：利用頻度、利用目的、最寄りのバス停、バス停までの時間、利用しない理由（便数、時刻）
※ iii)、iv) については、これまでの地域要望等に基づくルート変更案の利用意向も項目に含めた。
- 5) 調査期間 調査票配布から回収まで1ヵ月程度
- 6) 調査用品の作成 調査票の印刷は新潟市で行った。
- 7) 調査票の受渡 新潟市からの連絡を受け、ナンバリング済みの調査票を西区役所地域課にて直接受け取った。

(2) 利用者ニーズ調査

区バス、住民バスの利用者の利用実態やニーズ把握のためのアンケート調査を実施した。

- 1) 調査対象 区バス（中野小屋ルート）、住民バス（コミュニティ佐潟バス、内野上新町バス）の利用者（表 1-1）
- 2) 調査方法 受託者の調査員、住民バス運行主体等が分担してバスに乗車し、調査票の配布及び回収を行った。なお、佐潟バスについては利用者の多くは小中学生であることから、赤塚小学校、木山小学校、赤塚中学校と連携し、学校を通して児童・生徒にアンケートを配布・回答いただいた。

表 1-1 利用者ニーズ調査の調査方法

対象バス	調査者	回収数(想定)	期間
区バス	受託者調査員 (株式会社グリーンシグマ)	16(50)枚	5日(平日)
コミュニティ佐潟バス	コミュニティ佐潟バス運営委員会	147(100)枚	5日(平日)
内野上新町バス	内野上新町バス運営委員会	13(50)枚	5日(平日)

- 3) 調査票 新潟市と協議の上、作成
- 4) 調査項目 12項目（自由記載1問）
- i) 対象者属性 年齢、性別、職業、居住地
 - ii) 利用実態 利用頻度、目的、乗車バス停、降車バス停、移動手段、所要時間
 - iii) 個別項目 区バスへの改善内容、ルート変更への意見
- 5) 調査用品の作成 調査票の印刷は新潟市で行った。
- 6) 調査票の受渡 バス車内で回収した調査票を、西区役所地域課に納入した。新潟市からの連絡を受け、ナンバリングされた調査票を西区役所地域課にて直接受け取った。

1.3.2. 集計・分析、課題の整理

上記の調査後、調査票のデータ入力、集計（対象者属性とのクロス集計等）・分析、課題整理を行い、報告書としてとりまとめた。

1.3.3. 打合せ協議

打合せは、初回打合せ（業務計画段階）と最終打合せ（報告書作成段階）の2回実施した。

1.3.4. 業務のフロー

本業務のフローを図 1-1 に示す。

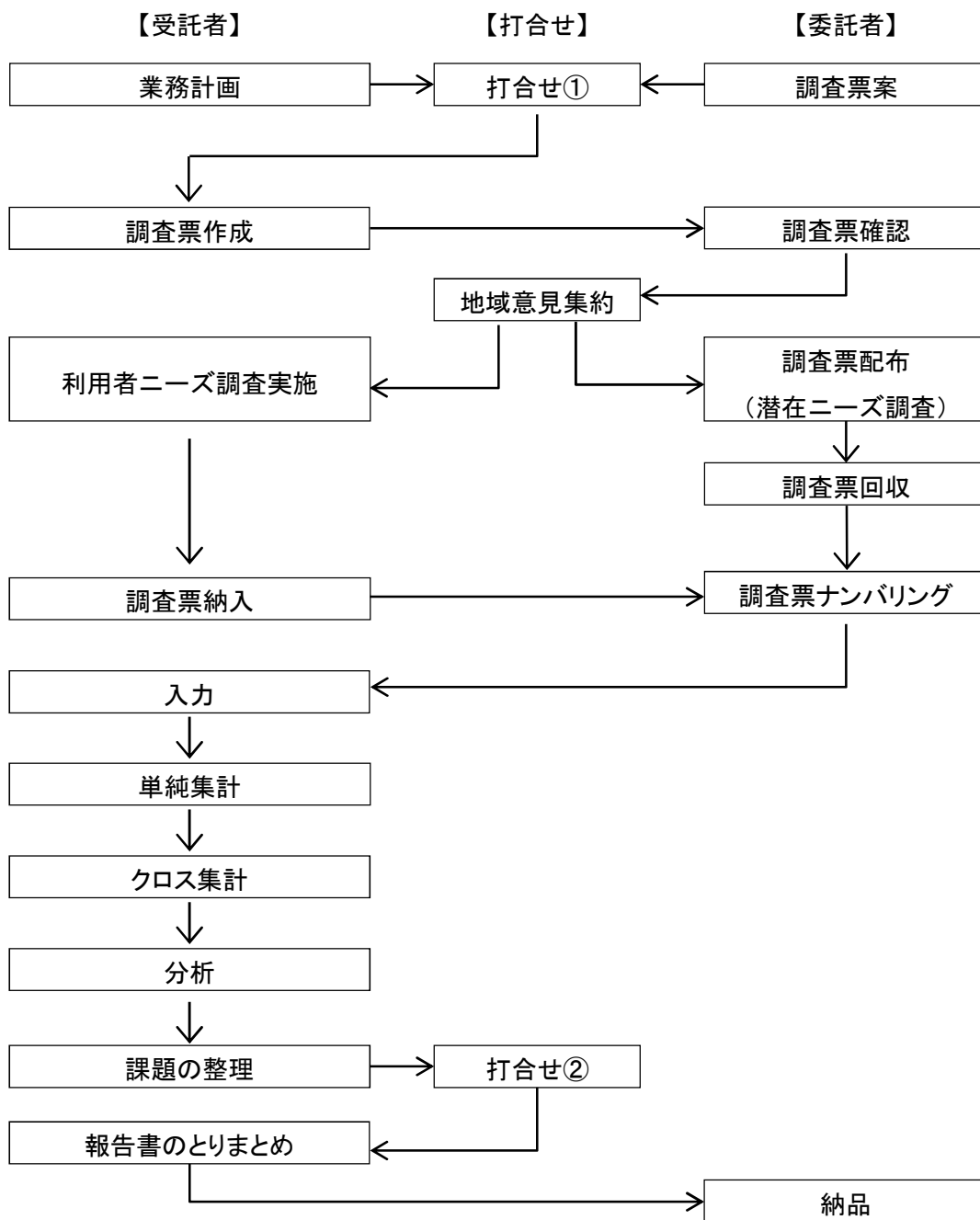


図 1-1 業務のフロー

2. 潜在ニーズ調査

2.1. 調査実施について

2.1.1. アンケート調査票

潜在ニーズ調査については、区バス（中野小屋ルート）、住民バス（コミュニティ佐潟バス、内野上新町バス）が運行する西地区の各自治会班長世帯を対象に、西地区のコミュニティ協議会と連携して、アンケート調査票を配布・回収した。使用したアンケート調査票を図 2-1～図 2-6 に示す。なおアンケートの回答は各世帯代表 3 人（中学生以下除く）までとした。

2.1.2. アンケート調査の実施状況

アンケートは、平成 29 年 12 月 12 日付けで、各自治会・町内会長宛てに配布し、各班長には平成 30 年 1 月 10 日までに各自治会・町内会長に提出頂くように依頼を行った。

アンケート調査の回答者数は 1,465 人であった。

西地区の区バス・住民バスに関するアンケート調査票

西区では「西区生活交通改善プラン」に基づき、区民の皆さまが日常生活に必要な移動が行えるよう、区バス※1(中野小屋ルート)、住民バス※2(コミュニティ佐潟バス、内野上新町バス)などの地域交通の利便性向上に取り組んでいます。

人口減少・少子・超高齢化が進展する中、持続可能で便利な区バス・住民バスを目指して、当該バスが運行する 西地区の各自治会班長世帯 を対象に、アンケート調査を実施することとしました。

お伺いした内容はプライバシーに配慮し、コンピューターで統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。また、回収した調査票及びその情報は本目的以外には使用しません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力くださるようお願い申し上げます。

※1) 区が運営し、区役所への移動や区のまちづくりに対応することを目的に運行するバス

※2) 住民組織等が運営し、住民の必要最低限の生活交通(病院、通学、買い物等)の確保や公共交通の空白・不便地域の生活交通を確保することを目的に運行するバス

平成29年12月15日
西区役所地域課

ご記入にあたってのお願い

1. 回答用紙を1世帯3枚お配りします。代表3人(中学生以下を除く)まで ご回答願います。
2. 無記名式ですので、氏名を記入する必要はありません。
3. 回答は、右側回答欄にあてはまる数字を記入するか、必要事項のご記入をお願いします。
4. ご記入後の調査票は、提出用封筒に入れ、封をして平成30年1月10日(水)まで に自治会・町内会長までご提出ください。
5. 調査内容で不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。
新潟市西区役所地域課企画係 担当:佐藤、堀(電話:025-264-7161 FAX:025-269-1650)

あなた自身についてお伺いします。

質問1 年代を以下から選んでください。

1. 18歳以下 2. 19歳～29歳以下 3. 30歳代 4. 40歳代
5. 50歳代 6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上

質問1

質問2 性別を以下から選んでください。

1. 男 2. 女

質問2

質問3 職業等を以下から選んでください。

1. 会社員・公務員・団体職員 2. 自営業 3. 高校生
4. 大学・短大・専門学生 5. 主夫・主婦
6. パート・アルバイト 7. 無職

質問3

質問4 普通自動車運転免許の有無と自動車の利用状況について、以下から選んでください。

1. 免許を持っており、日常的に車を利用している
2. 免許は持っているが、現在は車を利用していない
3. 免許を持っていたが、返納した
4. もともと免許を持っていない

質問4

図 2-1 潜在ニーズ調査用のアンケート調査票 1/4

質問5 一週間の外出頻度を以下から選んでください。(近所への散歩などは除く)

1. 週5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月1～2回
5. ほとんど外出しない

質問5

質問6 回答欄①～③の外出目的ごとに、主な行き先をご記入いただき、そこへ行くときの主な交通手段1つを以下から選んでください。なお、行き先は、地域を把握するため具体的な店名や所在地の町名などをご記入ください。

1. 自家用車・バイク 2. バス 3. 電車 4. タクシー 5. 家族等の送迎 6. 自転車 7. 徒歩

例)

外出目的	主な行き先	主な交通手段
①通勤・通学	なし	—
②買い物	〇〇スーパー □□店	2
③通院	〇〇病院(新 通)	3

質問6	外出目的	主な行き先	主な交通手段
	① 通勤・通学		
	② 買い物		
	③ 通院		

質問7 最寄りの鉄道駅までの主な交通手段を、質問6の番号でご記入ください。

質問7

バスの利用状況についてお伺いします。

質問8 バスの利用頻度を以下から選んでください。

1. 週5日以上 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月1～2回 ⇒ 質問9へ
5. ほとんど利用しない 6. 利用しない ⇒ 質問10へ

質問8

質問8で1～4と回答した方にお伺いします。

質問9 別紙バス路線図をご覧いただき、よく利用するバス路線1つを以下から選び、乗車するバス停名、降車するバス停名をご記入ください。また、乗車するバス停までの移動手段・所要時間を選んでください。

【路線名】 ●区バス・住民バス

1. 区バス(中野小屋ルート) 2. コミュニティ佐潟バス 3. 内野上新町バス

●新潟交道路線バス

4. 有明線・西小針線 5. 寺尾線・大堀線 6. 黒鳥線 7. その他バス路線

【移動手段】 1. 徒歩 2. 家族等の送迎 3. 自転車 4. その他

【所要時間】 1. 3分未満 2. 3分以上～5分未満 3. 5分以上～10分未満 4. 10分以上

例)

路線名	(選択)	1
乗車バス停	(記述)	大友
降車バス停	(記述)	文理高校前
移動手段	(選択)	1
所要時間	(選択)	3

質問9	路線名	(選択)
	乗車バス停	(記述)
	降車バス停	(記述)
	移動手段	(選択)
	所要時間	(選択)

質問12へ ⇒

図 2-2 潜在ニーズ調査用のアンケート調査票 2/4

質問8で5、6と回答した方にお伺いします。

質問10 他の交通手段が確保されているという理由以外で、バスをほとんど利用しない、利用しない理由は何ですか。あてはまるものを以下から選んでください。(2つまで選択可)
※「10.その他」を選択した場合は、具体的にご記入ください。

1. バスの本数が少ない
2. 時間がかかる
3. 目的地に停まらない
4. バスの運賃が高い
5. 利用したい時間にバスがない
6. バス停が近くにない
7. バス路線がわからない
8. 時間通りに来ない
9. 乗り継ぎが不便だから
10. その他

質問10	1つめ	2つめ
	その他	

質問11 質問10で選んだ内容が解決された場合、バスを利用しますか。

1. 利用する
2. 利用しない
3. どちらでもない

質問11	
------	--

質問12へ ⇒

区バス・住民バスについてお伺いします。

質問12 区内を運行する区バス・住民バスの運行ルートを変更する場合、どのようなルートを利用したいと思いませんか。バス路線毎に最もあなたの希望に近いもの1つを選んでください。(別紙バス路線変更案図参照)
※運行距離が増加するため、運賃の増額や所要時間の増加が想定されます。

A【区バス(中野小屋ルート)】

1. 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、青山方面にも行けるよう内野駅前広場を経由するルートとする
2. 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、運行本数を増やせるよう内野駅前広場始発着のルートとする
3. 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、赤塚方面にも行けるよう内野駅前広場を経由し越後赤塚駅と結ぶ循環ルートとする
4. 今のままでよい
5. わからない

質問12 (A)	
----------	--

B【住民バス(内野上新町バス)】

1. 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、青山方面にも行けるよう内野駅前広場を経由するルートとする
2. 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、運行本数を増やせるよう内野駅前広場始発着のルートとする
3. 内野営業所を始発着として中浜団地内を経由し、上新町公民館前を通るルートとする
4. 内野営業所を始発着として中浜団地内を経由し、上新町公民館前を通りかつ内野駅前広場も経由して青山方面に向かうルートとする
5. 今のままでよい
6. わからない

質問12 (B)	
----------	--

C【住民バス(コミュニティ佐潟バス)】

1. 電車への乗り継ぎのしやすさ向上等のため、内野駅前広場始発着のルートとする
2. 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、中野小屋方面にも行けるよう内野駅前広場を経由し越後赤塚駅と結ぶ循環ルートとする
3. 今のままでよい
4. わからない

質問12 (C)	
----------	--

図 2-3 潜在ニーズ調査用のアンケート調査票 3/4

区内の区バス・住民バスに関するご意見・ご要望についてお伺いします。

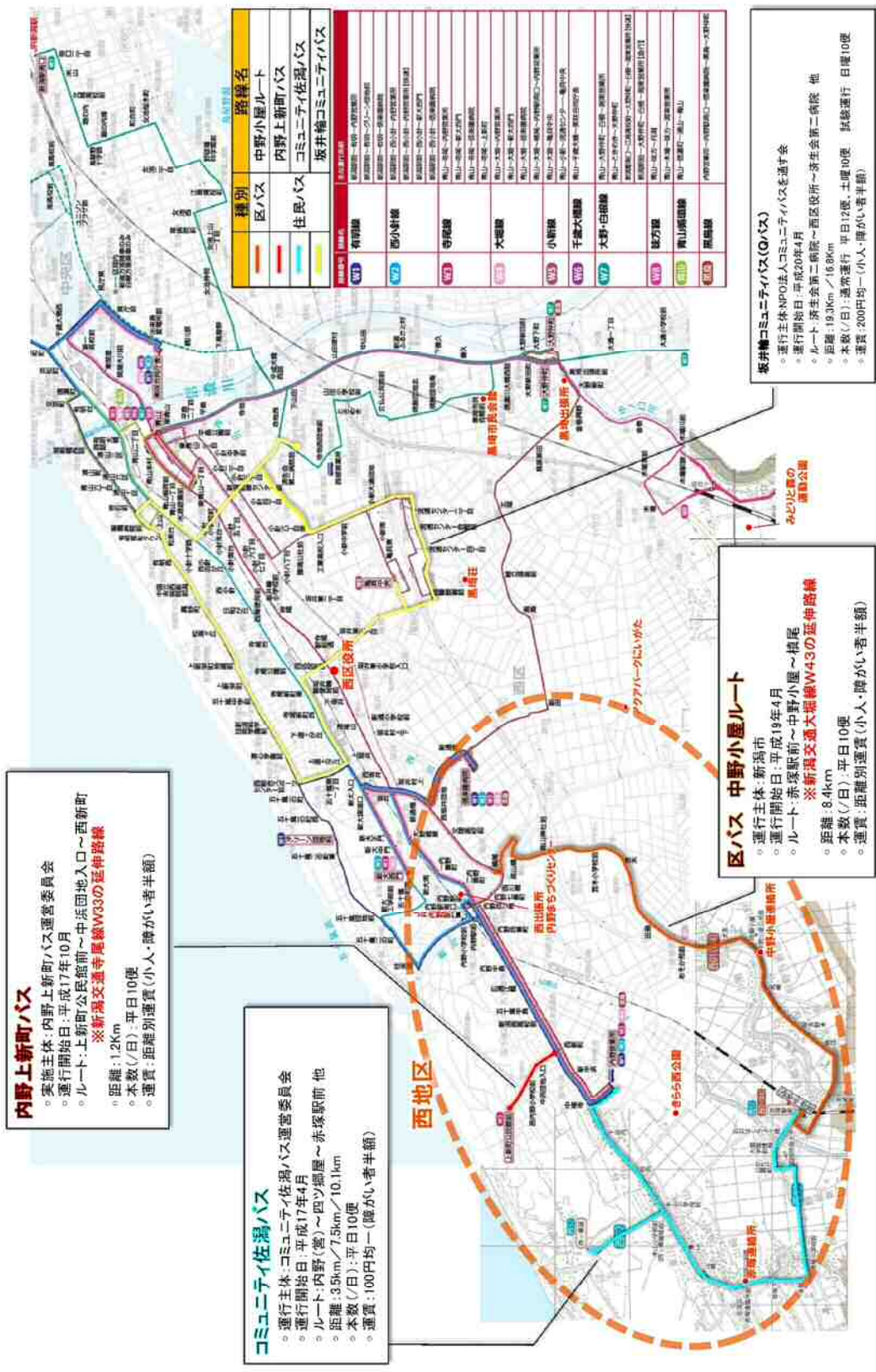
質問13 区内の区バス、住民バスに関してご意見、ご要望があれば、具体的にご記入ください。

質問13	
------	--

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
アンケート調査の結果は、今後の区内の区バス・住民バスの
検討に活用させていただきます。

図 2-4 潜在ニーズ調査用のアンケート調査票 4/4

バス路線図



内野上新町バス

- 実施主体: 内野上新町バス運営委員会
- 運行開始日: 平成17年10月
- ルート: 上新町公民館前～中浜団地入口～西新町
- ※新潟交通寺尾線W33の延伸路線
- 距離: 1.2Km
- 本数(ノ日): 平日10便
- 運賃: 距離別運賃(小人・障がい者半額)

コミュニティ佐潟バス

- 運行主体: コミュニティ佐潟バス運営委員会
- 運行開始日: 平成17年4月
- ルート: 内野(愛)～四ツ畑屋～赤塚駅前 他
- 距離: 3.5km / 7.5km / 10.1km
- 本数(ノ日): 平日10便
- 運賃: 100円均一(障がい者半額)

区バス 中野小屋ルート

- 運行主体: 新潟市
- 運行開始日: 平成19年4月
- ルート: 赤塚駅前～中野小屋～相尾
- ※新潟交通大塚線W43の延伸路線
- 距離: 8.4km
- 本数(ノ日): 平日10便
- 運賃: 距離別運賃(小人・障がい者半額)

坂井輪コミュニティバス(Qバス)

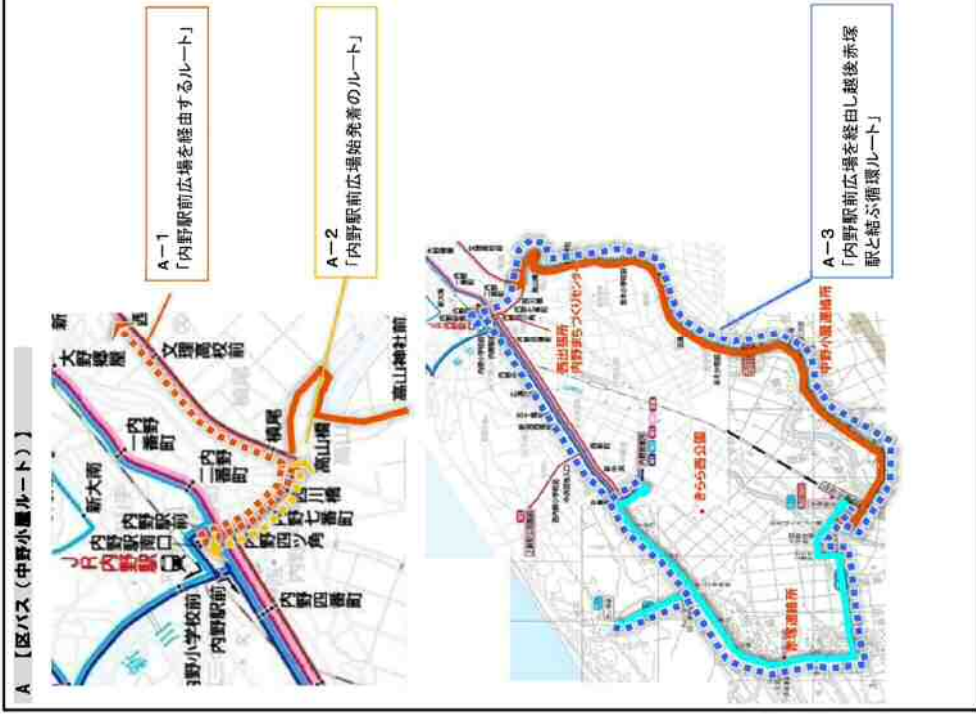
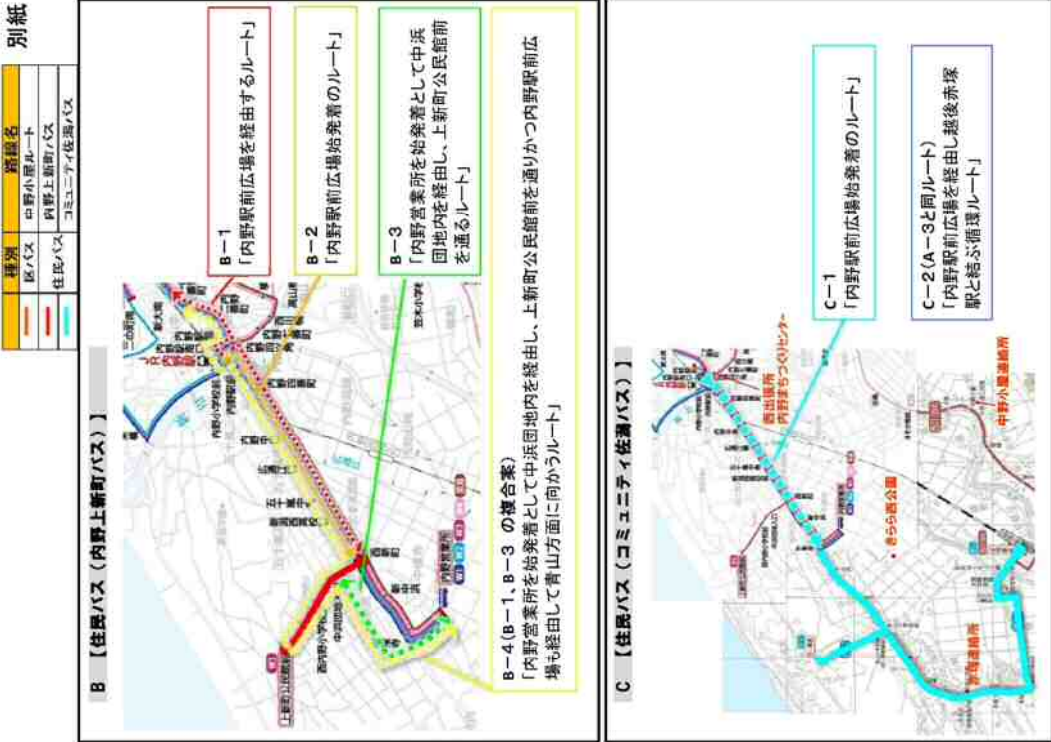
- 運行主体: NPO法人コミュニティバスを運営
- 運行開始日: 平成20年4月
- ルート: 赤生会第二病院～西区役所～赤生会第二病院 他
- 距離: 19.3km / 18.8km
- 本数(ノ日): 通常運行 平日12便、土曜10便 試験運行 日曜10便
- 運賃: 200円均一(小人・障がい者半額)

種別	路線名
区バス	中野小屋ルート
住民バス	内野上新町バス
	コミュニティ佐潟バス
坂井輪コミュニティバス	
有路線	
W3	寺尾線
W2	赤塚線
W1	赤塚線
W4	大塚線
W5	小新線
W6	千歳大塚線
W7	大野・白根線
W8	越方線
W9	青山南線
W10	黒島線

本路線図は、新潟交通株式会社バス路線図西新潟方面(平成29年3月)及び測量法第29条に基づき承認「平27情報」第620号1を得て、国土地理院発行の数字地図50000(地図画像)を複製し一部転載したものを使用しています。

図 2-5 潜在ニーズ調査用のアンケート調査票 別紙 1/2

(質問12) バス路線変更案図



本路線図は、新潟交通株式会社の子会社である新潟交通バス（株）のバス路線図（平成29年5月）及び測量法第29条に基づき承認「平27情標、第620号」を得て、国土地理院発行の数字地図50000（地図画像）を複製し一部転載したものを使用しています。

図 2-6 潜在ニーズ調査用のアンケート調査票 別紙 2/2

2.2. 調査結果

2.2.1. 単純集計結果

(1) 居住地区ごとの回答数

- ・ アンケートの回答総数は、1,465 であった。
- ・ 回答数は、五十嵐二の町から内野町、五十嵐三の町、内野西、五十嵐中島、新中浜周辺の地域で多く、最も多い地区は内野町第四自治会で 178 の回答があった。

表 2-1 住居地区ごとの回答数

	回答数	地区別 回収割合	地区人口 比率		
内野町一番町	58	24.2%	7.0%		
内野町二番町	5				
内野町第四	178				
内野町五番町	3				
内野町七番町	33				
内野平和台	77	5.1%	6.9%		
五十嵐三の町	43				
千鳥ヶ丘	31				
五十嵐二の町	61	9.4%	13.0%		
五十嵐二の町ドリー	8				
五十嵐旭が丘	68				
大学南が丘	56	3.8%	4.7%		
新中浜	86	5.9%	6.0%		
上原団地	17	1.2%	3.1%		
内野広通町	51	13.4%	17.1%		
五十嵐中島	7				
広通江	37				
内野西新町	47				
ひまわり団地	4				
平和台第七団地	51				
内野山手	31			2.1%	2.8%
内野西が丘	65			4.4%	7.9%
坂田	15			1.0%	0.6%
赤塚一区	3			4.6%	4.6%
赤塚二区	14				
赤塚三区	3				
赤塚四区	10				
赤塚四区	0				
赤塚七区	6				
赤塚十区	4				
赤塚十一区	6				
赤塚十二区	15				
赤塚十三区	3				
坪山	3				
山崎	10	0.7%	0.6%		
神山	22	1.5%	1.0%		
木山	19	1.3%	1.2%		
谷内	6	0.8%	0.9%		
下野地	6				
中権寺	21	1.4%	2.0%		
みずき野東	44	3.2%	3.7%		
二ツヤ	3				
みずき野西	28	1.9%	3.9%		
四ツ郷屋	17	1.2%	1.5%		
勤助郷屋	6	0.4%	0.2%		
小見郷屋	14	1.0%	0.8%		
藤野木	9	0.6%	0.6%		
小瀬	7	0.5%	0.4%		
道河原	27	1.8%	0.2%		
金巻新田	3	0.2%	0.1%		
田島	5	0.3%	0.5%		
曾和	8	0.5%	0.6%		
保古野木	15	1.0%	0.4%		
前野外新田	2	0.1%	0.1%		
中野小屋	10	0.7%	1.1%		
田潟	5	0.3%	0.2%		
大友	5	0.3%	0.8%		
笠木	26	1.8%	1.7%		
高山	4	0.3%	0.9%		
横尾	44	3.0%	3.0%		
		100.0%	100.0%		

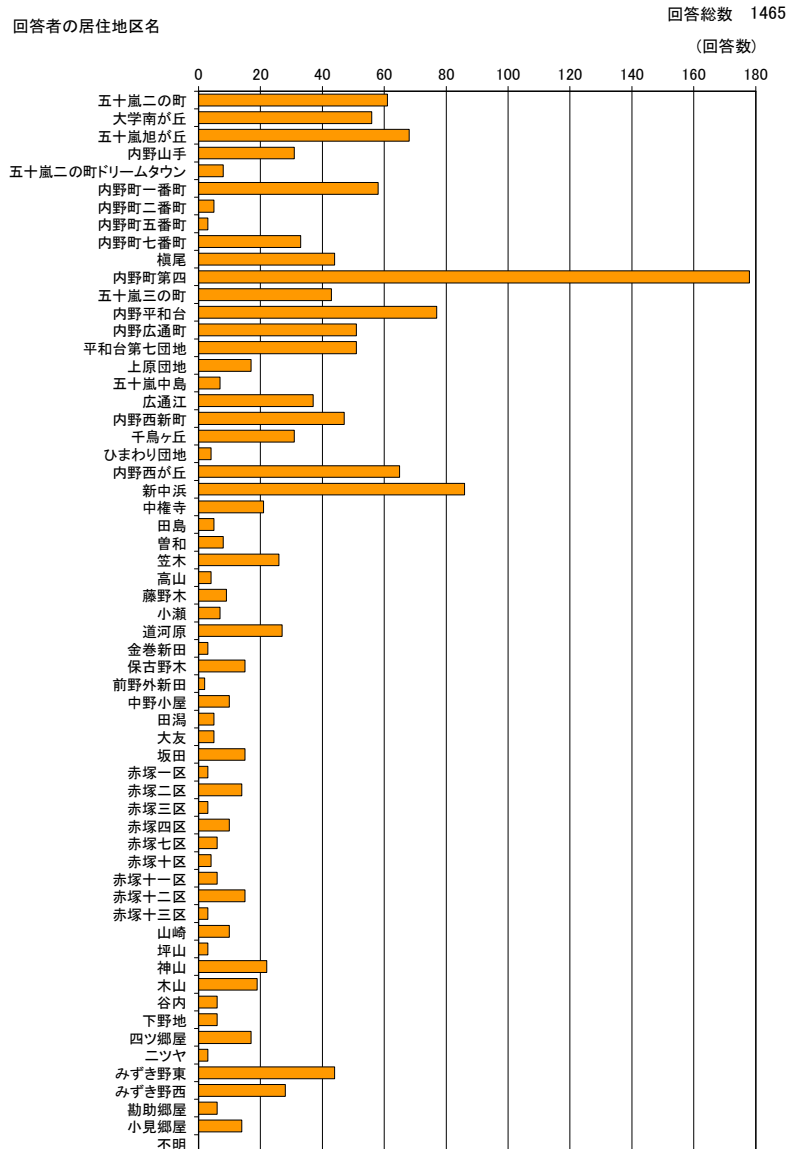


図 2-7 居住地区別の回答数

実際の地区人口比率に比べ回収割合が特に高い地区

実際の地区人口比率に比べ回収割合が特に低い地区

(2) 回答者の属性

1) 年齢

- ・ アンケート回答者の年齢は、60歳代が最も多く24%と全体の約1/4を占める。次いで70歳代と40歳代が多い。30歳代以下は18%と少なく、60歳代以上の年齢が全体の48%である。

表 2-2 アンケート回答者の年齢構成

質問1 年代を以下から選んでください。

No.	カテゴリー名	回答人数	割合
1	18歳以下	42	2.9%
2	19歳～29歳以下	68	4.6%
3	30歳代	155	10.6%
4	40歳代	256	17.5%
5	50歳代	197	13.4%
6	60歳代	358	24.4%
7	70歳代	266	18.2%
8	80歳以上	91	6.2%
9	不明	32	2.2%
—	合計	1,465	100.0%

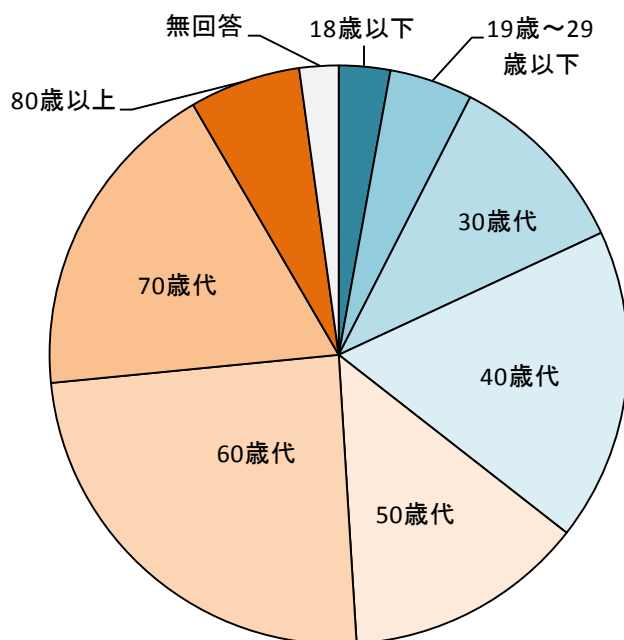


図 2-8 アンケート回答者の年齢構成の割合

2) 性別

- ・ アンケート回答者の性別は、男性と女性の比率は男性 47%と女性 51%でほぼ拮抗している。

表 2-3 アンケート回答者の性別

質問2 性別を以下から選んでください。

No.	カテゴリー名	回答人数	割合
1	男性	685	46.8%
2	女性	746	50.9%
3	不明	34	2.3%
—	合計	1,465	100.0%

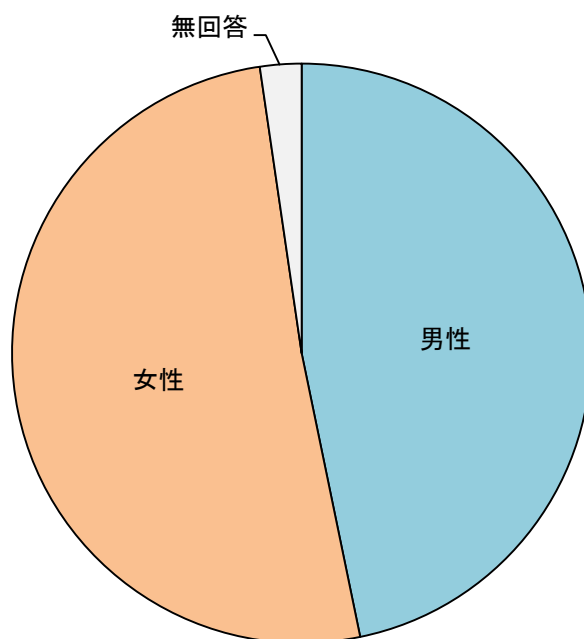


図 2-9 アンケート回答者の性別の割合

3) 職業

- ・ アンケート回答者の職業は、会社員や公務員、自営業などの常勤の就労者が 42%、パート・アルバイトを含めると 54%である。学生は 3.7%に過ぎず、主夫・主婦が 15%、無職が 24%である。

表 2-4 アンケート回答者の職業

質問3 職業等を以下から選んでください。

No.	カテゴリー名	回答人数	割合
1	会社員・公務員・団体職員	474	32.2%
2	自営業	137	9.4%
3	高校生	37	2.5%
4	大学・短大・専門学生	17	1.2%
5	主夫・主婦	225	15.4%
6	パート・アルバイト	183	12.5%
7	無職	357	24.4%
8	不明	35	2.4%
—	合計	1,465	100.0%

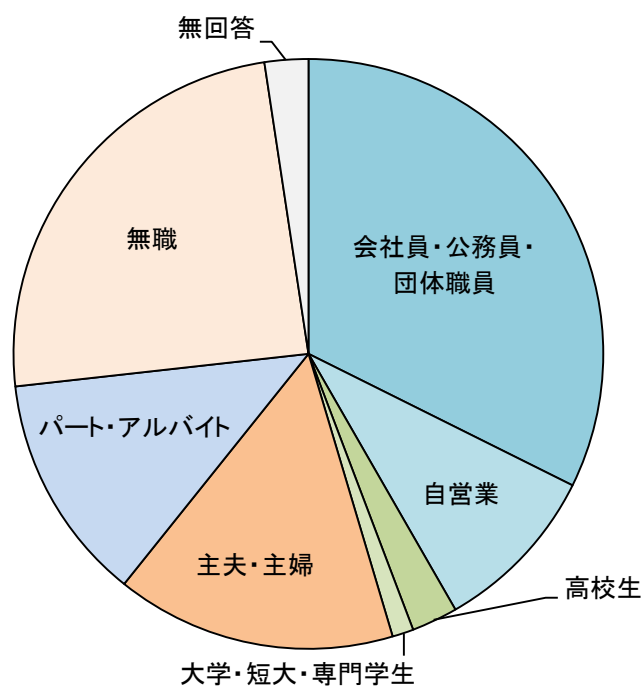


図 2-10 アンケート回答者の職業の割合

(3) 利用する交通手段等について

1) 普通自動車運転免許の有無と自動車の利用状況

- ・ 自動車の利用状況について、日常的に利用している回答者が76%おり、全体の3/4を占めている。残りの1/4は自動車を利用していない。

表 2-5 普通自動車運転免許の有無と自動車の利用状況

質問4 普通自動車運転免許の有無と自動車の利用状況について、以下から選んでください。

No.	カテゴリー名	回答人数	割合
1	免許を持っており、日常的に車を利用している	1,113	76.0%
2	免許は持っているが、現在は車を利用していない	75	5.1%
3	免許を持っていたが、返納した	33	2.3%
4	もともと免許を持っていない	210	14.3%
5	不明	34	2.3%
—	合計	1,465	100.0%

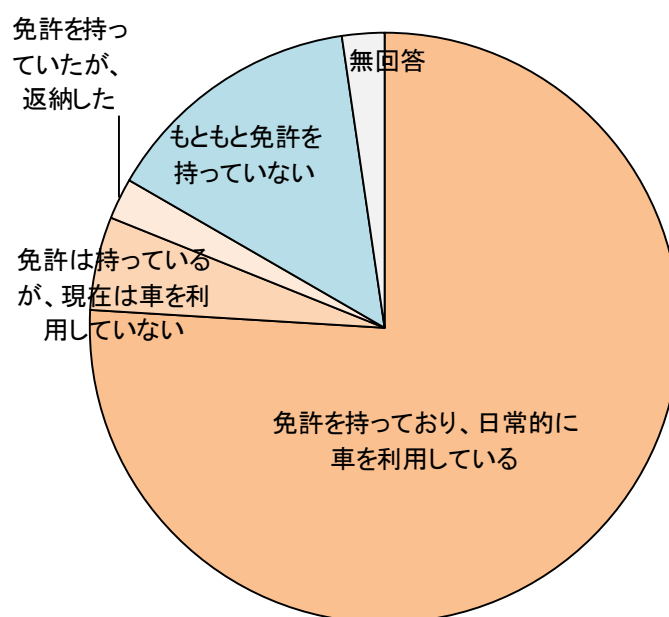


図 2-11 普通自動車運転免許の有無と自動車の利用状況の割合

2) 外出頻度

- ・ 週 5 日以上外出する人が 61%おり、週 3～4 日外出する人も含めると約 80%の人が週の半分程度外出している。
- ・ 月 1～2 回やほとんど外出しない人は 5%に過ぎない。

表 2-6 一週間の外出頻度

質問5 一週間の外出頻度を以下から選んでください。(近所への散歩などは除く)

No.	カテゴリー名	回答人数	割合
1	週5日以上	898	61.2%
2	週3～4日	250	17.1%
3	週1～2日	159	10.9%
4	月1～2回	36	2.5%
5	ほとんど外出しない	37	2.5%
6	不明	85	5.8%
—	合計	1,465	100.0%

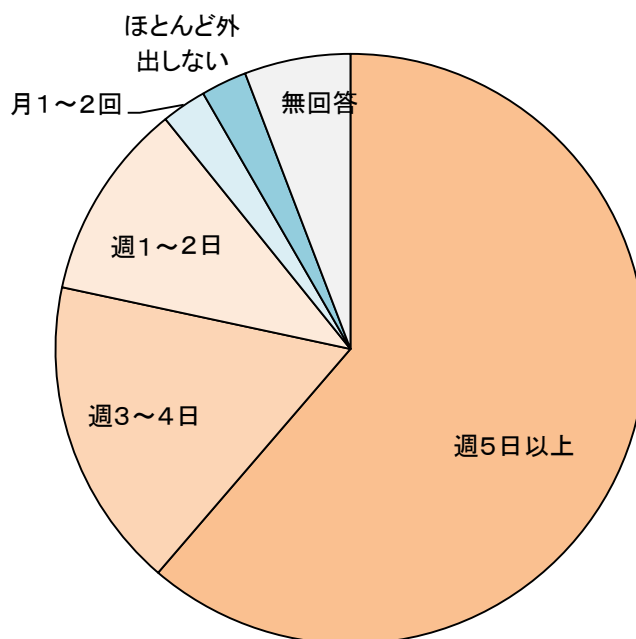


図 2-12 一週間の外出頻度の割合

3) 外出目的別の主な行先と交通手段

ア) 通勤・通学

- ・ 通勤・通学の交通手段は、自家用車・バイクが多く、無回答を除くと全体の76%を占める。バス利用は7%、電車は11%である。

表 2-7 通勤・通学の行き先と交通手段

質問6 外出目的ごとに、主な行き先をご記入いただき、そこへ行くときの主な交通手段を以下から選んでください。

①通勤・通学 主な交通手段

No.	カテゴリー名	回答人数	割合
1	自家用車・バイク	570	38.9%
2	バス	51	3.5%
3	電車	80	5.5%
4	タクシー	0	0.0%
5	家族等の送迎	6	0.4%
6	自転車	17	1.2%
7	徒歩	25	1.7%
8	不明	716	48.9%
—	合計	1,465	100.0%

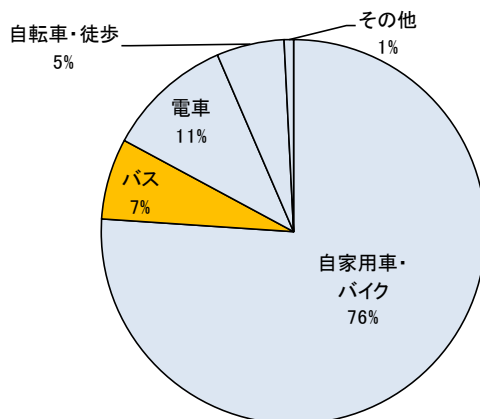
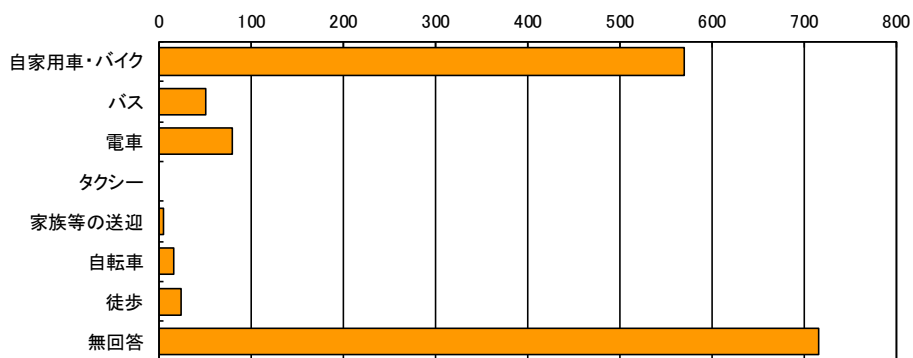


図 2-13 通勤・通学の行き先と交通手段の割合

(棒グラフ: 全回答、円グラフ: 無回答を除く割合)

イ) 買い物

- ・ 買い物の交通手段についても、自家用車・バイクが多く、無回答を除くと全体の77%を占める。バス利用は5%、電車は2%である。通勤・通学に比べると買い物先は近隣に様々であるため、バスや電車の利用頻度が減少し、家族の送迎や自転車、徒歩などが増加している。

表 2-8 買い物の行き先と交通手段

質問6 外出目的ごとに、主な行き先をご記入いただき、そこへ行くときの主な交通手段を以下から選んでください。

② 買い物 主な交通手段

No.	カテゴリ名	回答人数	割合
1	自家用車・バイク	906	61.8%
2	バス	56	3.8%
3	電車	28	1.9%
4	タクシー	2	0.1%
5	家族等の送迎	56	3.8%
6	自転車	40	2.7%
7	徒歩	89	6.1%
8	不明	288	19.7%
—	合計	1,465	100.0%

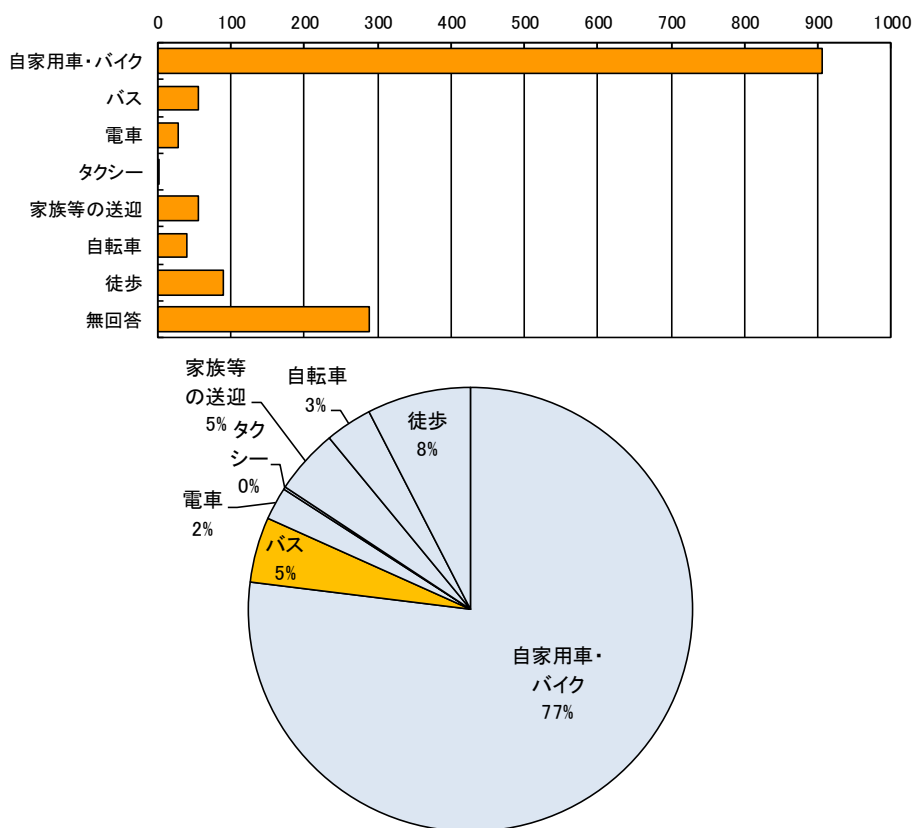


図 2-14 買い物の行き先と交通手段の割合

(棒グラフ: 全回答、円グラフ: 無回答を除く割合)

ウ)通院

- ・ 通院についても、自家用車・バイクが多く、無回答を除くと全体の74%を占める。バス利用は7%、電車は3%である。買い物と利用交通手段の傾向はほぼ同じである。

表 2-9 通院の行き先と交通手段

質問6 外出目的ごとに、主な行き先をご記入いただき、そこへ行くときの主な交通手段を以下から選んでください。

③通院 主な交通手段

No.	カテゴリー名	回答人数	割合
1	自家用車・バイク	550	37.5%
2	バス	53	3.6%
3	電車	20	1.4%
4	タクシー	16	1.1%
5	家族等の送迎	62	4.2%
6	自転車	19	1.3%
7	徒歩	22	1.5%
8	不明	723	49.4%
—	合計	1465	100.0%

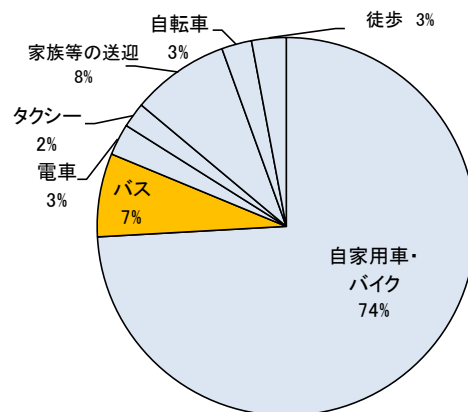
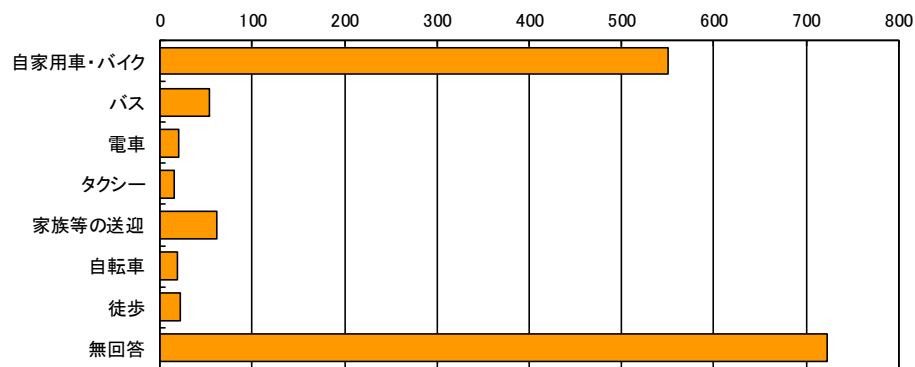


図 2-15 通院の行き先と交通手段の割合

(棒グラフ: 全回答、円グラフ: 無回答を除く割合)

4) 最寄りの駅までの交通手段

- ・ 最寄りの駅までの交通手段は、徒歩が非常に多く、無回答を除くと全体の57%を占める。次いで自家用車・バイクが18%、家族の送迎が11%である。バスは6%で通勤・通学、買い物、通院などの目的別交通手段と同じ程度の割合である。

表 2-10 最寄りの駅までの交通手段

質問7 最寄りの鉄道駅までの主な交通手段を、質問6の番号でご記入ください。

No.	カテゴリー名	回答人数	割合
1	自家用車・バイク	226	15.4%
2	バス	70	4.8%
3	電車	8	0.5%
4	タクシー	20	1.4%
5	家族等の送迎	139	9.5%
6	自転車	58	4.0%
7	徒歩	700	47.8%
8	不明	244	16.7%
—	合計	1,465	100.0%

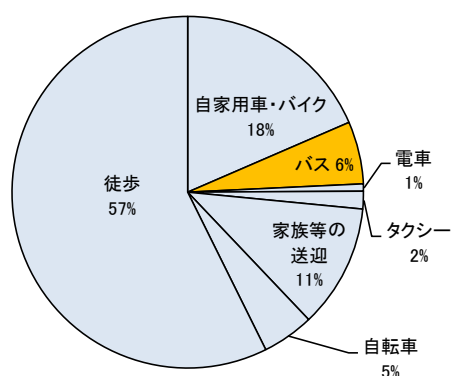
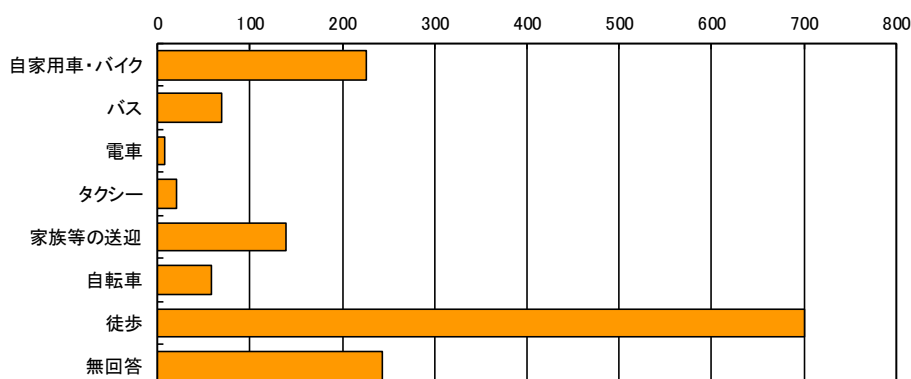


図 2-16 最寄りの駅までの交通手段の割合

(4) バスの利用状況

1) バスの利用頻度

- ・ バスの利用について、週1日以上利用する人は約8%に過ぎず、月1~2回程度の低頻度の利用者を合わせても、15%程度である。ほとんど利用しない、利用しないを合わせた割合は79%と非常に高い。

表 2-11 バスの利用頻度

質問8 バスの利用頻度を以下から選んでください。

No.	カテゴリー名	回答人数	割合
1	週5日以上	45	3.1%
2	週3~4日	30	2.0%
3	週1~2日	39	2.7%
4	月1~2回	112	7.6%
5	ほとんど利用しない	523	35.7%
6	利用しない	635	43.4%
7	不明	81	5.5%
—	合計	1,465	100.0%

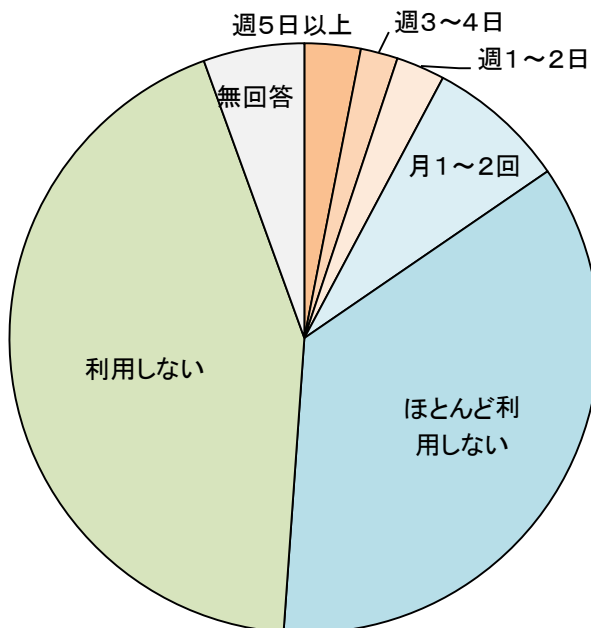


図 2-17 バスの利用頻度の割合

2) バスの利用者の利用路線と乗降車バス停、移動手段、所要時間

ア) 利用路線

- ・ バス利用者の利用しているバス路線については、新潟交通路線バスの有明線・西小針線が58%と半数以上を占め、次いで同じく新潟交通の寺尾線・大堀線が19%である。
- ・ 区バスと住民バスでは、区バス（中野小屋ルート）が8%と比較的利用者の割合が高いが、住民バス（コミュニティ佐潟バス）と住民バス（内野上新町バス）はそれぞれ1.8%と利用者の割合が小さい。

表 2-12 バスの利用路線

質問9 別紙バス路線図をご覧いただき、よく利用するバス路線1つを以下から選び、乗車するバス停名、降車するバス停名をご記入ください。また、乗車するバス停までの移動手段・所要時間を選んでください。

【路線名】

No.	カテゴリ名	回答人数	割合
1	区バス(中野小屋ルート)	18	8.0%
2	コミュニティ佐潟バス	4	1.8%
3	内野上新町バス	4	1.8%
4	有明線・西小針線	132	58.4%
5	寺尾線・大堀線	42	18.6%
6	黒鳥線	2	0.9%
7	その他バス路線	15	6.6%
8	不明	23	10.2%
9	非該当	1,239	
—	合計	226	100.0%

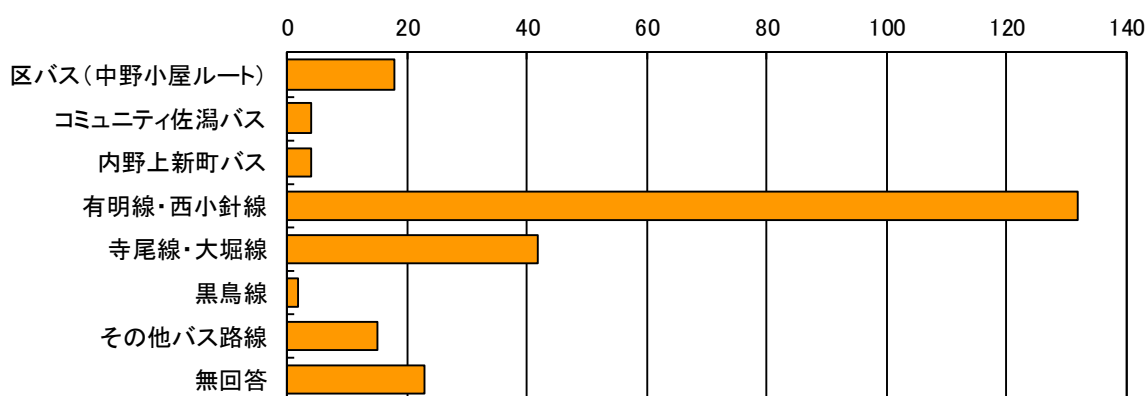


図 2-18 バスの利用路線の回答数

イ)乗車バス停

- ・乗車バス停は、新潟西高校前が26人と最も多く、これに次いで新中浜や内野中島、広通江橋が多い。これらのバス停は県道2号線沿いの新中浜から五十嵐中島、内野西の地域にあり、バス路線としても新潟交通が内野営業所からの便を運用している区間である。
- ・住民数も多くバスの利便性の高い地域であることが、乗車バス停として利用されている理由と考えられる。

表 2-13 乗車バス停

乗車バス停	回答数	備考	乗車バス停	回答数	備考
新潟西高校前	26		水道遊園前	1	
新中浜	16		青山	1	
内野中島	13		済生会第二病院	1	
広通江橋	12		県庁前	1	中央区
往来橋	11		五十嵐団地前	1	
内野四ツ角	10		大野郷屋	1	
五十嵐中島	10		新大国道口	1	
内野一番町	9		大学前	1	
新大西門	9		新潟大学	1	
新潟駅前	8	中央区	小針駅前	1	
五十嵐二の町	8		中浜団地入口	1	
西新町	8		赤塚連絡所前	1	
内野四番町	6		巻・湯東	1	西蒲区
新大正門	5		浜松町	1	中央区
新大南	4		大友	1	
中権寺	3		中野小屋	1	
赤塚小学校	3		笠木	1	
赤塚駅前	3		笠木小学校前	1	
尾崎	3		四ツ郷屋	1	
新潟駅南口	2	中央区	小見郷屋	1	
内野駅前	2				
西川橋	2				
五十嵐二の町南	2				
白山駅前	2	中央区			
内野営業所	2				

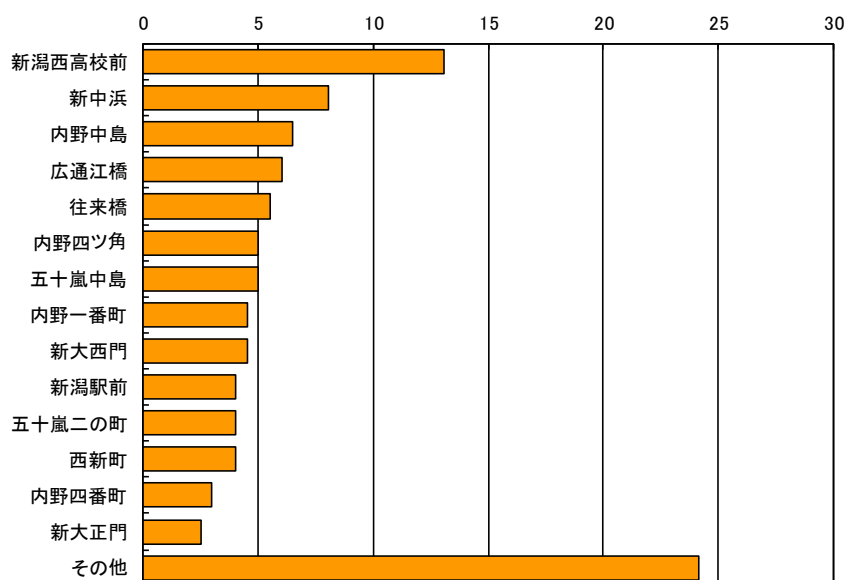


図 2-19 乗車バス停の回答数

ウ)降車バス停

- ・ 降車バス停については、古町が 34 件と非常に多い。ただし、古町との回答の中には古町と新潟駅といった複数回答もいくつかあったが、集計は最初に記載されたバス停のみを集計している。
- ・ 古町に次いで市役所前が多い。古町や市役所は鉄道駅から離れているため、バスの利便性が高い目的地である。

表 2-14 降車バス停

降車バス停	回答数	備考	降車バス停	回答数	備考
古町	34	中央区	浦山六区	1	
市役所前	13	中央区	臨港病院前	1	東区
新潟駅前	12	中央区	内野中島	1	
内野四ツ角	10		新大西門	1	
青山	9		西区役所前	1	
内野駅前	9		新大正門	1	
万代シティ	9	中央区	大学前	1	
新中浜	7		新潟大学前	1	
新潟西高校前	6		下道上が丘	1	
東中通	5	中央区	上山	1	
信楽園病院	5		西小針	1	
西新町	5		済生会第二病院	1	
広通江橋	4		新大南	1	
本町	4	中央区	スポーツ公園前	1	中央区
坂井	3		下坂井	1	
文理高校前	3		西坂井	1	
新潟医療センター前	3		新潟商業高校前	1	中央区
新大入口	3		西郵便局前	1	
赤塚駅前	3		坂井東二丁目	1	
槇尾	3		国立西新潟中央病院前	1	
内野一番町	2		寺尾新町東	1	
坂井東三丁目	2		帝石前	1	
内野営業所	2		駅前通	1	中央区
上道上が丘	2		寺尾	1	
小針	2		浜松町	1	中央区
中権寺	2		美咲合同庁舎	1	中央区
鳥屋野中学入口	1	中央区	坂井東小学校前	1	
日和ヶ丘	1		長岡駅	1	
稲荷町	1	中央区	東新潟中学前	1	
礎町	1	中央区	南高校前	1	中央区
新潟科学技術学園前	1		小針二丁目	1	
寺尾公園前	1		文京町	1	中央区

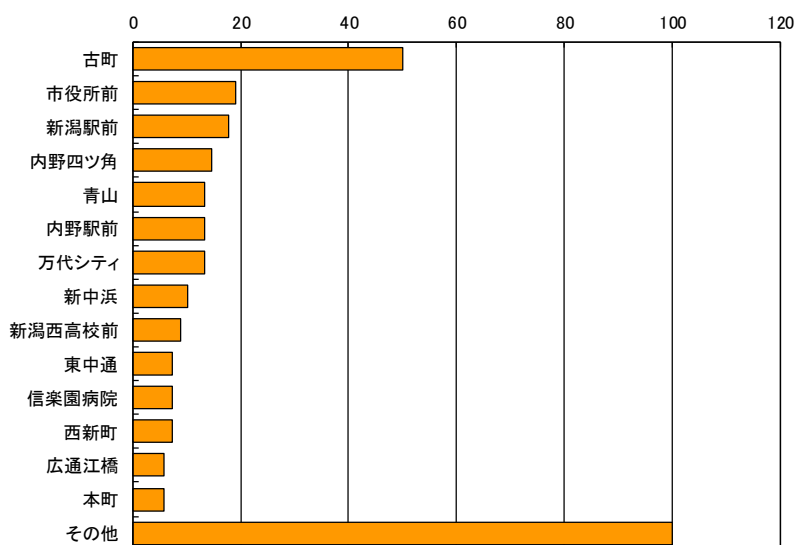


図 2-20 降車バス停の回答数

エ)バス停までの移動手段

- ・ 利用するバス停までの交通手段は徒歩が 74%と全体の約 3/4 を占める。

表 2-15 乗車バス停までの移動手段

質問9 別紙バス路線図をご覧いただき、よく利用するバス路線1つを以下から選び、乗車するバス停名、降車するバス停名をご記入ください。また、乗車するバス停までの移動手段・所要時間を選んでください。

【移動手段】

No.	カテゴリー名	回答人数	割合
1	徒歩	167	73.9%
2	家族等の送迎	8	3.5%
3	自転車	3	1.3%
4	その他	24	10.6%
5	不明	24	10.6%
6	非該当	1,239	
—	合計	226	100.0%

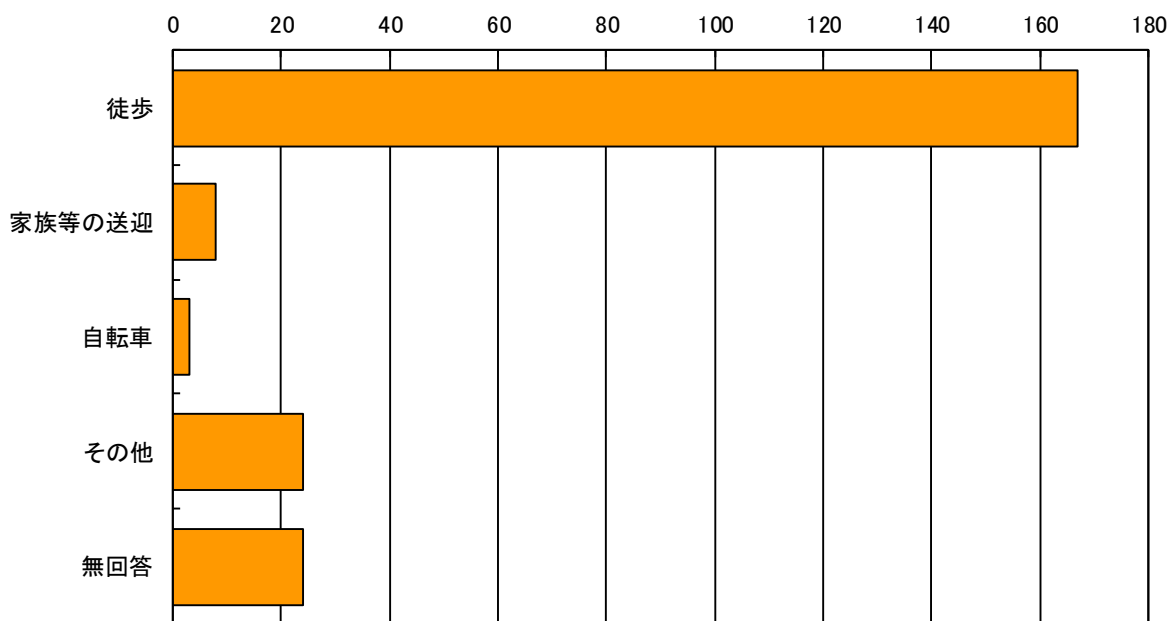


図 2-21 乗車バス停までの移動手段の回答数

オ)バス停までの所要時間

- ・ 利用するバス停までの所要時間は5分未満の回答者が30%、5分以上～10分未満が28%である。このため約6割の回答者が10分未満となり、10分以上は32%である。

表 2-16 降車バス停までの移動手段

質問9 別紙バス路線図をご覧ください、よく利用するバス路線1つを以下から選び、乗車するバス停名、降車するバス停名をご記入ください。また、乗車するバス停までの移動手段・所要時間を選んでください。

【所要時間】

No.	カテゴリー名	回答人数	割合
1	3分未満	28	12.4%
2	3分以上～5分未満	39	17.3%
3	5分以上～10分未満	64	28.3%
4	10分以上	73	32.3%
5	不明	22	9.7%
6	非該当	1,239	
—	合計	226	100.0%

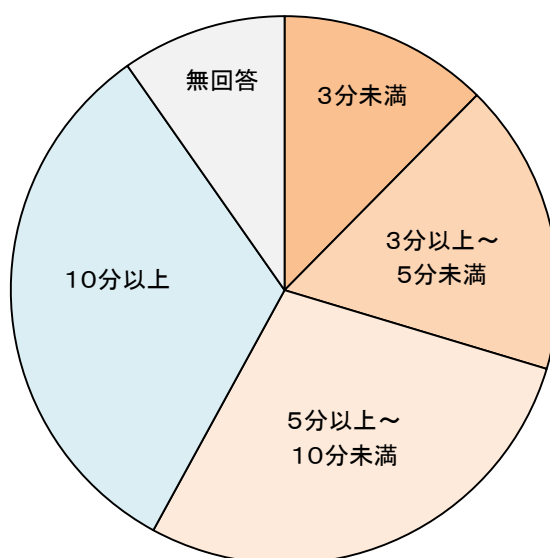


図 2-22 降車バス停までの移動手段の割合

3) バスを利用しない理由等

ア) バスを利用しない理由

- ・ 自家用車など他の交通手段が確保されているという理由以外で、バスを利用しない理由としては、時間がかかるが33%と最も多く、次いでバスの本数が少ないが23%、運賃が高いが22.5%である。運賃が高いを除くとバスの利便性に関する理由が多く、このほかにも乗り継ぎが不便や利用したい時間にバスが来ないなど様々な理由にばらついている。

表 2-17 バスを利用しない理由

質問10 他の交通手段が確保されているという理由以外で、バスをほとんど利用しない、利用しない理由は何ですか。あてはまるものを以下から選んでください。

No.	カテゴリー名	回答人数	割合
1	バスの本数が少ない	270	23.3%
2	時間がかかる	384	33.2%
3	目的地に停まらない	155	13.4%
4	バスの運賃が高い	260	22.5%
5	利用したい時間にバスがない	191	16.5%
6	バス停が近くにない	141	12.2%
7	バス路線がわからない	162	14.0%
8	時間通りに来ない	48	4.1%
9	乗り継ぎが不便だから	193	16.7%
10	その他	117	10.1%
11	不明	132	11.4%
12	非該当	307	
—	合計	1,158	100.0%

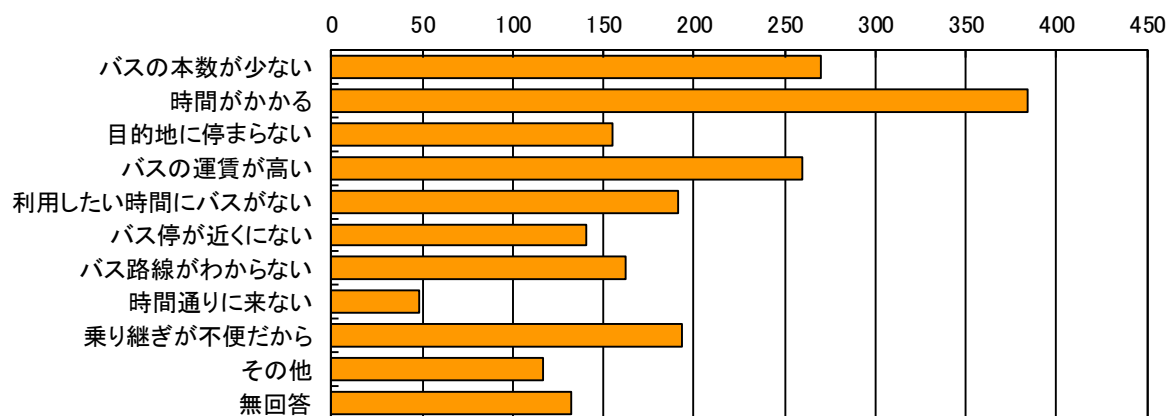


図 2-23 バスを利用しない理由の回答数

イ) 解決後のバスの利用

- ・ 利用しない理由が解決された場合バスを利用するかとの問いでは、利用するが 26%で利用しないは 29%、そのどちらでもないは 33%となっている。利用しない理由は様々で、それぞれ理由にしている回答者は多い。このため一つの理由が解決されても、利用すると回答しないものと考えられる。

表 2-18 解決後のバスの利用

質問11 質問10で選んだ内容が解決された場合、バスを利用しますか。

No.	カテゴリー名	回答人数	割合
1	利用する	300	25.9%
2	利用しない	339	29.3%
3	どちらでもない	381	32.9%
4	不明	138	11.9%
5	非該当	307	
—	合計	1158	100.0%

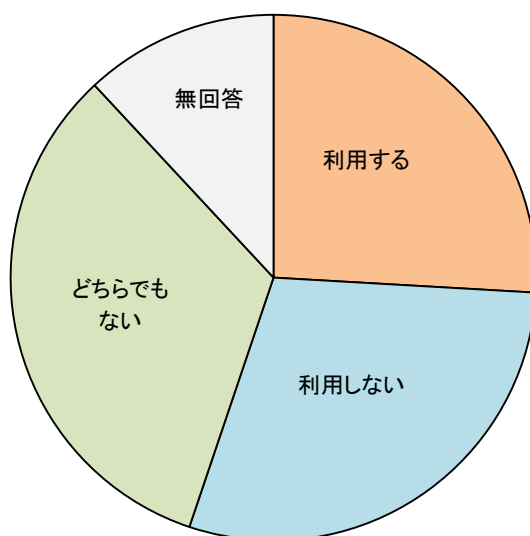


図 2-24 解決後のバスの利用の割合

(5) 区バス・住民バスの運行ルートの変更について

1) 区バス（中野小屋ルート）

- ・ 運行ルートの変更について、わからないとの回答が41%を占める。運行ルートの変更案を選択した人は33%で、運行本数を増やせるよう内野駅前広場始発着のルートとするが12.4%、青山方面にも行けるよう内野駅前広場を経由するルートとするが12.0%で、赤塚方面にも行けるよう内野駅前広場を経由し越後赤塚駅と結ぶ循環ルートとするは8.5%である。一方、今のままでよいは8%である。

表 2-19 運行ルートの変更について（中野小屋ルート）

質問12 区内を運行する区バス・住民バスの運行ルートを変更する場合、どのようなルートしたいと思いますか。バス路線毎に最もあなたの希望に近いもの1つを選んでください。

【区バス(中野小屋ルート)】

No.	カテゴリー名	回答人数	割合
1	電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、青山方面にも行けるよう内野駅前広場を経由するルートとする	176	12.0%
2	電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、運行本数を増やせるよう内野駅前広場始発着のルートとする	181	12.4%
3	電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、赤塚方面にも行けるよう内野駅前広場を経由し越後赤塚駅と結ぶ循環ルートとする	125	8.5%
4	今のままでよい	117	8.0%
5	わからない	607	41.4%
6	不明	259	17.7%
—	合計	1,465	100.0%

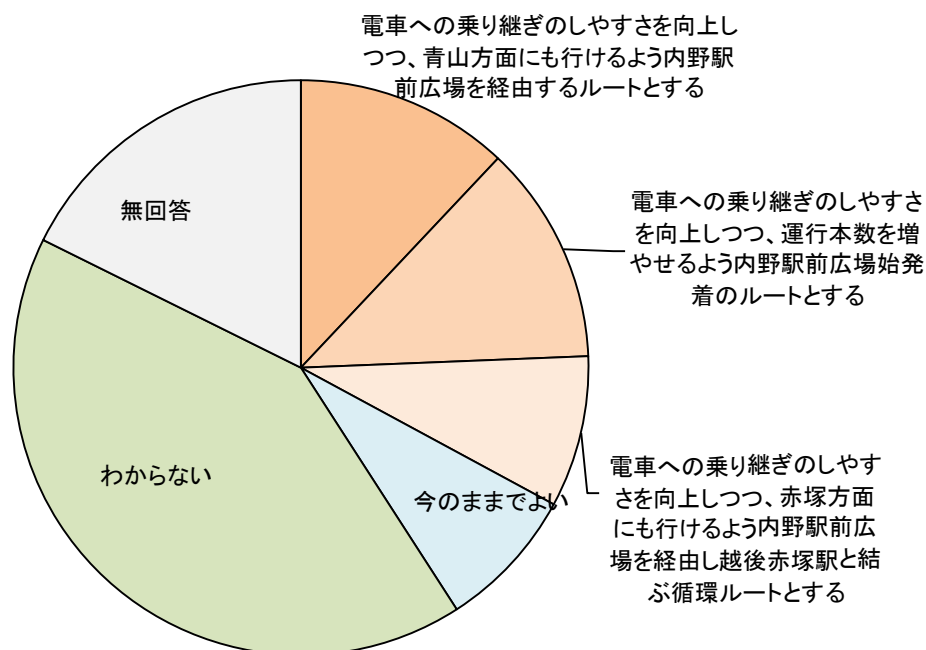


図 2-25 運行ルートの変更について（中野小屋ルート）の割合

2) 住民バス（コミュニティ佐潟バス）

- ・ 運行ルートの変更について、わからないとの回答が40%を占める。運行ルートの変更案を選択した人は29%で、内野駅前広場始発着のルートとする16%、中野小屋方面にも行けるよう内野駅前広場を経由し越後赤塚駅と結ぶ循環ルートとするが13%である。また、今のままでよいは8.5%である。

表 2-20 運行ルートの変更について（コミュニティ佐潟バス）

質問12 区内を運行する区バス・住民バスの運行ルートを変更する場合、どのようなルートしたいと思いますか。バス路線毎に最もあなたの希望に近いもの1つ選んでください。

【住民バス(コミュニティ佐潟)】

No.	カテゴリ名	回答人数	割合
1	電車への乗り継ぎのしやすさ向上等のため、内野駅前広場始発着のルートとする	234	16.0%
2	電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、中野小屋方面にも行けるよう内野駅前広場を経由し越後赤塚駅と結ぶ循環ルートとする	186	12.7%
3	今のままでよい	125	8.5%
4	わからない	587	40.1%
5	不明	333	22.7%
—	合計	1,465	100.0%

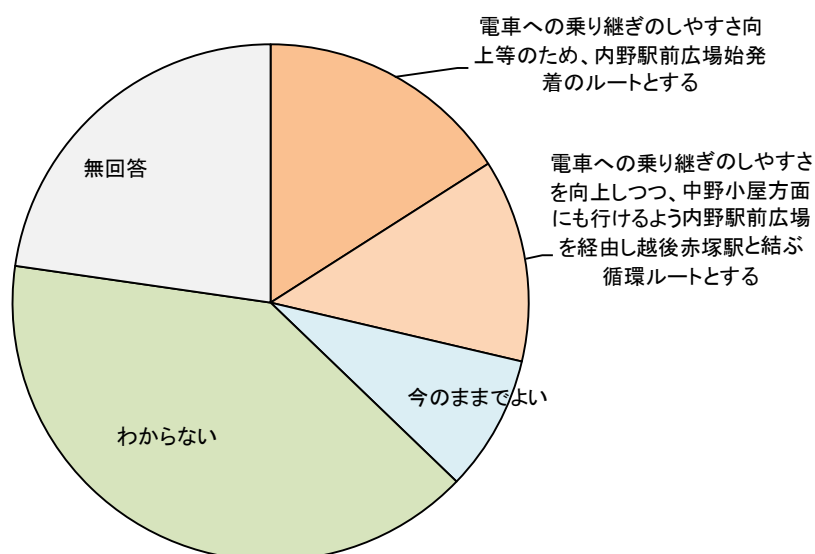


図 2-26 運行ルートの変更について（コミュニティ佐潟バス）の割合

3) 住民バス（内野上新町バス）

- ・ 運行ルートの変更について、わからないとの回答が 38%を占める。運行ルートの変更案を選択した人は 29%で、内野営業所を始発着として中浜団地内を經由し、上新町公民館前を通るルートとするを選んだ回答者は 2%と少なく、他の 3 案は 8.8～9.8%でそれぞれほぼ同様の値であった。今のままでよいとの回答は 14%で他の 2 路線の区バスと住民バスよりも高い値となった。

表 2-21 運行ルートの変更について（内野上新町バス）

質問12 区内を運行する区バス・住民バスの運行ルートを変更する場合、どのようなルートしたいと思いますか。バス路線毎に最もあなたの希望に近いもの1つを選んでください。

【住民バス(内野上新町バス)】

No.	カテゴリー名	回答人数	割合
1	電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、青山方面にも行けるよう内野駅前広場を經由するルートとする	130	8.9%
2	電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、運行本数を増やせるよう内野駅前広場始発着のルートとする	143	9.8%
3	内野営業所を始発着として中浜団地内を經由し、上新町公民館前を通るルートとする	25	1.7%
4	内野営業所を始発着として中浜団地内を經由し、上新町公民館前を通りかつ内野駅前広場も經由して青山方面に向かうルートとする	129	8.8%
5	今のままでよい	205	14.0%
6	わからない	556	38.0%
7	不明	277	18.9%
—	合計	1,465	100.0%

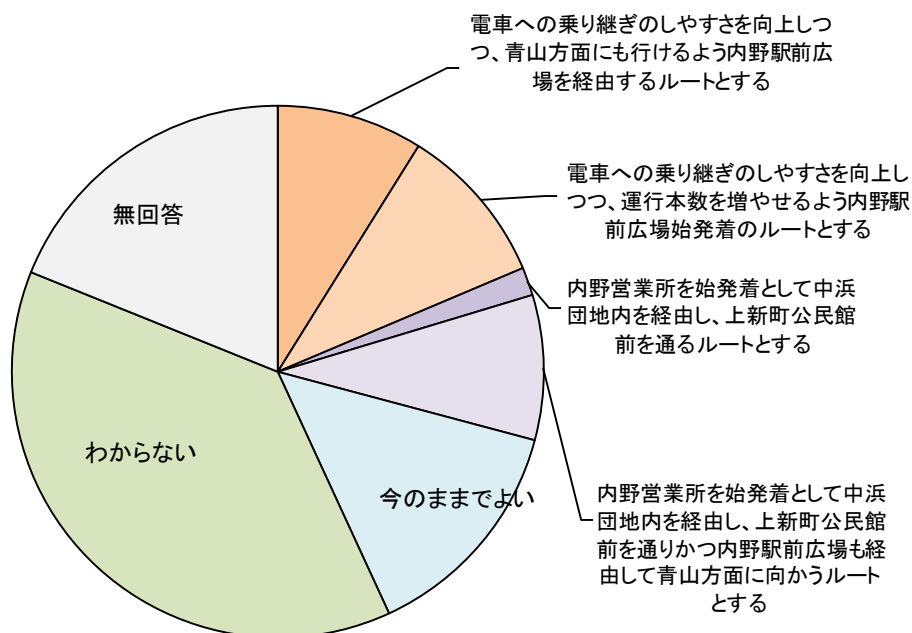


図 2-27 運行ルートの変更について（内野上新町バス）の割合

(6) 区バス・住民バスに関する意見・要望

項目	意見・要望等
増便	関屋駅から新潟駅南口へ行くバスが欲しい。
	寺尾、大堀線本数(運行)が少な過ぎるように思う
	BRT?バスをやめ、東区の人たちが、1本で古町方面に行けるよう本数を増やしてほしい。
	大堀經由内野行が少ないので困っているのでは何か1時間にせめて2本にして下さい。
	本数が少なく高齢者の足とならない。改善してほしい。
	土曜日に仕事帰りで4時半から5時半位に内野方面に通るバスを増やしてほしい。グリーン団地までのバスの本数が多いのに、内野までがないのが不満です。
	住民バスの坂井輪コミュニティバスを利用しますが、スタートの頃より、本数が増えて良かったと思いますが、スニーカーバスのように小さいバスが良いのですが、もう少し本数が増えることを希望します。
	コミュニティ佐潟バスの本数を増やして欲しい。越後赤塚駅前～赤塚連絡所前を利用したい。親族がいるため
	信楽園病院や済生会病院へのルートを増を望みます。
	朝と夕方だけバス路線が多くあり、もう少し日中ありますように、お願いします。
	内野上新町バスを、もっと多くしてほしいですお願いします。区バスもQバスも、乗ったことがありません。家から出るにはバスしかありません。もう少し利用者の事も考えて下さい。
	本数を確保し利便性があがるようにお願いしたい。
	バスの本数を多くしてほしい。
	内野⇄新潟間のバスの本数を増やしてほしい
	青山乗換えの絶対廃止。小・中型バス化で増便
	大型バス不要。中小バスで便を増やす事。バス会社職員の対応改善。
	青山止まりバスの廃止。バスの中型化して増便。行先表示分かりやすく、バス停に待合室。
	信楽園病院行き帰りのバスの本数がもう少しあってほしいと思います。
	高齢者及び免許証返納または免許証が無い人達の為にも赤塚駅内野間(特に朝)本数をもう少し多くお願いします。
	公共交通機関の充実が地域の活性、環境につながると思います。本数を増やした運行をお願いします。
	朝・夕の本数をふやしてほしい。
	バスの本数がふえて、電車に思うように乗れるようになったら、自分が車にのれなくなったら利用したい。
	70歳代になり、運転をやめた後の生活が大変不安です。小型バスでも良いので本数が増えたらと思います。
	年々住民の高齢化が進み、お医者さん通いが増したり、車の運転もままならなくなる事が想像されます。せめて赤塚駅までのバスや内野駅までのバスが日中にあれば大変助かると思います。
	高齢化となっている為、バスの本数を増やし、乗りやすい状況にしてほしい。日中の本数(コミュニティ佐潟バス)が少ない為、増やしてほしい(赤塚在住にて)
	住民バスの運行が日中の時間帯にあると、高齢者も利用しやすいと思います。
	コミュニティ佐潟バスの利用出来る地域に住んでいますが、通院、買い物などで利用したい時間にバスがないのです。4年前には土日祝日も3便ほどありましたが、利用者が少ないこともあり、なくなってしまいました。これから免許を返納されるお年寄が多くなると思われるので、ミニバスでも良いので本数をふやして欲しいです。
	本数ふやしてほしい。(小さいバスで充分だと思う。)
	地域にあった小型サイズのバスを運行して、本数を増やしてはどうでしょうか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・内野営業所行9時又は10時頃の増便があれば便利です。 ・赤塚行の正午頃の増便があれば便利です。 ・赤塚駅→内野駅行にする。この路線には公的機関、金融機関、医療機関があり、利用する人には便利である。さらには免許証返納する人が増えバス利用者も増える。そうなれば環境にも良いと思います。
	<p>高校生の子供を毎日赤塚駅まで送迎しています。仕事もしておりますし、介護も自宅で行っているので、特に帰りの時間帯(4:30~6:30)のバスの本数が増えると、ありがたいです。どうしても迎えに行けない時はタクシーを呼ばせている状況です。赤塚駅~木山の道路はとても危険で、自転車には載せられません。</p>
	<p>ここ数年内に、バス利用中心の生活になりますので、区バス、住民バスの便数をふやしてほしい。</p>
	<p>本数を多くしてもらいたい。せめて、通学の時間帯を1本ずつ増やしてほしい。(朝&夕)</p>
	<p>仕事上で住民の方から要望、不満があったケースを記入します。赤塚駅着、佐潟荘病院へ行くのにバスの本数が少なく、不便とのこと。午前中だけでも本数を増やせないか。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・バスの本数が少なすぎます。 ・小さいタイプのバスでいいので、せめて1時間に1本くらいにして下さい。 ・運転免許証はある程度の年齢になったら返納してもいいと思っていますが、現在のバスの実態では無理です。 ・連節バスが青山あたりで走っているのを見かけますが、ほとんど人が乗っていません。連節バスをやめて周辺部の地域の利用しやすいバス運営を考えてほしいです。
	<p>マイクロバス(29人程度)か、それ以下の小人数が乗車できるバスで、頻回に出してほしい。バスに乗って出かけ、バスに乗って帰るためには、小回りのきく小さなバスを頻回に巡回させることが必要。BRTなどはやめて、住民目線で、住民の足を確保する施策が大事と思う。</p>
	<p>ルート変更してもメリット、デメリットがあります。変更しても乗り継ぎが大変になったり、乗車運賃も高くなります。なので、今のルートのままバスの大きさを小さくし、1日5往復の数を増便して運行してもらった方が良く思います。</p>
	<p>高齢者の方がふえるので住民(利用者)の事をよく考えてもらいたい。日中の時間が少ない。バスを利用出来るがふえるように内野の町まで行くバスにしてほしい。</p>
	<p>黒埼方面、赤塚方面へのものをもっと増やしてほしい。</p>
	<p>常にバスを利用しませんので現状がよくわからず…ですが。夜間に電車や新潟交通のバスからの乗り継ぎが可能になると住居が公共交通機関から遠い人々には便利になるのでは…。☆終電に合わせたバスが1本でもあると(週末だけでも)</p>
運行ルート	<p>アクアパークにいがた行のバスを作ってほしい。文理高校前を通るバスをふやしてほしい。</p>
	<p>退職したばかりで、コミュニティバス等、よくわからないのが現状です。お年寄が多くなっている今、小さい店が無くなり車の運転できない人々に買い物に行きやすくする必要があると思います。(家の母も困っていました)また、本数が多くなると、待ち時間が多すぎて、お年寄には、厳しいと思います。お年寄りに優しい街作りを期待します。</p>
	<p>信楽園病院の本数が少ない。予約時間に診察が出来ない。止むを得ずバス料金の何倍も高いタクシーを使用することになる。限られた収入の中で生活を圧迫してしまう。子供は県外におり緊急時たよりにならない。住民バスを五十嵐西に加えてほしい。</p>
	<p>(1)中浜団地内を経由し、済生会病院に直接行けるルートにしてほしい (2)中浜団地を経由し、メイワサンピアに行けるルートにしてほしい (3)寺尾線、大堀線の本数を増やして直接新潟駅までいけるルートにしてほしい</p>
	<p>病院や買い物に行く際にタクシーを利用しなくてもいいように路線バスの運行を増やすと同時に、大きい病院を経由するような路線を作ってほしいです。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・停留所(バス停)を増やしてほしい。 ・バスの本数を1日7本はあってほしい(もっと本数を増やしてほしい) ・内野駅まで行くバスを1時間に1~2本あってほしい。 ・もう少し、駅までいく不便さをわかってほしい。・巡回バス(区内やその地域限定の)があると便利なのでしてほしい。 ・駅前とかに専門学校や大学があるのだから、バス(内野駅前や新潟駅前へ行く)の本数を増やしてほしい。電車が1時間に1本しかないこともあったり、大雪で電車が遅延したり、運休になる事もあり、頼りになるのは、バスです。バスの本数が増えれば乗客も増えるだろうし、雪道が苦手(運転等)の高齢者や車を持たない人にも便利だと思います。私個人的に『新潟市(政令都市)なのに、本数が少ない』って事を知った時はショックでした。町内会費や市民税が高い割には、(市民に対して)何も役に立ててないって、おかしいです。

増便 時間設定	今は車の運転をしているが、時々雪の日はバス利用を希望するが乗りたい時の時間がなくて残念に思っている。往来橋～西総合スポーツセンターへの時刻を増してほしい。
	・新潟行きの直行バスを増便して欲しい。9、10時代の直行バスを増やして欲しい。 ・青山での乗り換えは高齢者には不便この上ないです。
	赤塚小、赤塚中に通っている子どもがいます。特に中学生の方は部活で帰りが18:30くらいになりますが、バスがなく、ほぼ毎日、迎えをしています。また土日の運行も少ないため、学校へはほとんど親の送迎です。通学に対して親の負担が大きいので朝と夕はもう少し本数を増やして欲しい。
	乗り継ぎが不便、本数が少ない、時間が合わず子供たちが通学で使用できない。これらの改善をしてほしいと思います。
	土日祝日の運行。6:00～23:00の間、1時間に1本以上運行。
運行ルート	大堀、寺尾線を前のように青山で乗り換えしないで直通にしてください。今まで、大堀寺尾線を利用しましたが、青山止りの為、内野方面は不便になり、西小針経由のみで、本数も少なくなったので利用しなくなりました。
	内野、赤塚から、流通センターや小新大通団地(イオン新潟西)に直通で行けるバスルートがあれば便利だと思います。流通センターでパート勤務するとき、バスの乗りかえがあってバス料金が多かかってしまったから。また、小新、亀貝へ買い物に行きやすくなってほしいです。区バス、住民バスは、本数が増えると、交通手段として選びやすくなります。
	イオン西や(亀貝方面)(ユニクロ他のお店などに)にバス停を作ってほしい。車でしか行、来ができない。(行きたいけど行かない)寺尾経由が少なくなって、思う時間にこない。大形バスは、市内だけの運転で済ませるがマイクロ小型バスのようにこまわりきく、小型バスを広く遠くまで回してほしい。老人が乗れるようになるともっと外へバスに乗る人が増えると思います。私も。
	坂井輪コミュニティバスのバス停が、坂井(ウエルシアの近く)にあるとお年寄りにとってもっと便利なのではないか。
	バスを最も必要としているのは、高齢者です。安心して、免許返納できる、安心して老後の生活ができるまちづくりのために、高齢者の方々のご意見をよく聞き、それをもとにした路線づくり・運行計画をたてただけなら、ありがたいです。切実にバスを必要としているの方々のご意見をぜひ充分にうかがってください。
	電車に乗れるように駅まで向うバスは必要と思う。使いにくいバスはあっても、利用しないのでムダだと思う。
	お年寄りのために通院、買い物に便利なバスが増えてほしいと思います。
	内野駅付近から信楽園病院、済生会病院等へ直通で行けると便利だと思います。
	・バスの便が悪くこまっているのもう少し平等に便をよくしています。
	1日数少なくても良いのですが坂井輪コミュニティバスが内野駅前通ってほしい。
	内野西が丘駅から新潟西高校ルートも作ってあげてほしい。雨・強風・吹雪の日に高校生が利用すると思います。
	お年寄り、老人、障害者、その他地域の方々の新潟交通バス以外に通院、用事(買物、地区の手続)等、循環的コースの住民バスを、切に希望します。
	内野駅前～イオン、大堀線経由のバスがあればもっとバスを利用する人が多く成ると思います。
	赤塚発大堀線が内野駅前広場を経由するルートがあれば歩行がむずかしいので榎尾まで又四ツ角まで行くのが大変
	内野四ツ角でも有難いです
	五十嵐3の町にバス停を作ってほしい。
	・ルート別の検討もよいが、全体の利便性を考えたフリーなルートも検討・できれば利用者の連絡で行動できるような交通システムができると良いと思います。(かなり難しいとは思いますが)・公共交通では地方の年配者は利用が困難になっていると思う。小回りの効く交通機関が必要と思われるが!
	五十嵐3の町にぜひ高令でも買物に、お医者等に行ける様にコミュニティバスでも通る様お願いします。古町が活気がなくなったのも簡単に行けなくなった原因
	三の町にも、市内バスを通るようにしてほしい。コミニバスでよいのでは?
	五十嵐3の町地区は、バス停もないし、バスも通らない為非常に不便。もしバスを利用したい場合は、内野町まで歩いて行かないと乗れません。今後高齢者がますます増えて核家族になった場合は、交通手段が限られてしまいます。せめて、メイン道路にバスが通ったら有難いです。

区バス・住民バスの運行は区域内の役所、病院、銀行・郵便局とスーパーを接続し最寄りJR駅経由を基本とし中型バスでの周回コースが望ましく、住人の利用時間帯にマッチした運行が必要。
区民全員が平等になる様、再検討お願いします。バス停が遠すぎる…
五十嵐3の町のルートが無い事に利用不満です。
年配者は病院とスーパーの買物ができるように運行は、例、2の町→内野駅前→槇尾→新通→大学前→2の町
往来橋を通過して、信楽園へ行くバスを希望しています。
五十嵐2の町の住民の高齢化が進んでいる。現在ある区バスや住民バスへのアンケートでなく、五十嵐2の町を起点としたバスコースの新設を望む。たとえば①信楽園病院へのコース②亀貝のショッピング地域へのバスの新設など。こんなアンケートは、いくら回答しても無駄です。何を区役所は考えているのでしょうか。理解に苦しみます。
坂井輪コミュニティバスに、五十嵐2の町バス停、往来橋バス停を入れて、済生会病院へ。五十嵐2の町バス停、往来橋のバス停から信楽園病院。
少子化、高齢化のためのルート変更と書いてありますがこのルートでは、何も、解決しません。お年寄りの方は、足腰の弱い方が多いためバス停に、行くことが、大変な人も多いためです。必要ないと思います。
高齢化により免許返納すると買物が不便になります。青山ジャスコ、アピタ西店を経由するような路線を設定して頂けたらと思います
五十嵐3の町内を通行してほしい
西小針線で(新潟駅前～西小針～新大西門)を新川を渡り五十嵐3の町まで延長して下さい。※五十嵐3の町はバスが通っていませんので、是非検討して通って頂きたいです。
内野駅発着西小針線、回る路線があれば
バスの必要性がある住民の殆んどが、高老者です。区バスならば、大きな路線バスよりも細い道路にも入れるようなマイクロバスくらいのバスを多台数、お願いしたいです。区バス＝公共バスと考えるなら、坂道等(内野駅～新大西、又は五十嵐2の町周辺)への配慮もお願いしたいです。バス路線は、若い世代よりお年寄りを優先にし、病院や住民の調査をしっかりとっていただきたいです。又、年齢や障害者は、区バスについては、半額でもよいと思います。新潟市の場合“新潟交通”の独占企業です。他市との連携を考慮して下さい。観光地の路線バス会社はお客様に“ありがとうございます”の一言を一人ずつに言われるほど利用者への感謝をおしみません。坂井輪コミュニティバス路線は、西区では一番よい路線になっていますね。
健康増進をすすめるのであれば、西地区スポーツセンター直結の路線を作って欲しい。行きたい路線がない。
坂井輪コミュニティバスが、上道上が丘から済生会まで回っていますが、上道上が丘まで歩くのが大変なので、使っていません。新大か内野駅までのばしていただければありがたいです。
内野町はとにかく坂の多い町です。高齢者にとってはたぶん大変だと思います。平地はもとより坂の多いところに走らせてほしいところ。個人的には新大南～新川元橋を通る所にもバスを通してほしいです。ご検討お願いします。大きいバスよりも小さいバスで小回りが効くほうが便利ではないでしょうか。
リックをかついて、スーパーへ行き、徒歩なので帰ってくると疲れます。青山～内野駅のバス運行お願いしたいと思います
内野駅前が整備されたので内野駅－中野小屋－赤塚駅、四ツ郷屋－内野営業所を結ぶ循環バスで越後線の時間と合うようなら通勤、通学の手段として利用が増えるのでは？
新大西門から内野山手を経由し、内野駅を往復するバス路線があっても良いと思います。新潟大学の学生を始め、地域住民も利用があると思います。
新潟～青山～新潟大学前までは数多くのバスが運行されていますがその先大学南～五十嵐2の町南までのバス運行が非常に少ない。出来れば大学前～大学南まで伸ばしてほしい。その先あたりの住民も多いのでお願いします。
個人的には医者買い物等で利用出来れば有難いです。駅－二の町－大学前－整形－旭ヶ丘幼稚園－二の町－駅などと。僅かな年金では毎度タクシー利用が出来ませんので
新川元橋を渡ってくれるバスがあるとよい
車の運転が出来るうちは、区バス、住民バスの必要を感じない。西総合スポーツセンターをよく利用するのでそこを巡回する住民バスがあれば良いと思う。(坂井輪コミュニティバスのように)

西区の中の内野駅線が赤塚方面が分かりません。西区の商業区に行きたくてもどう乗るか又どんな商業が集まっている所か分からなので内野の中に店がどんな店が商業地帯に集まっているのか分かりませんので買いたくともどこに行き、店に行ったら良いのか分かりませんので商業地を1日に1～2回車が廻ってくると良いと思います
内野駅前のバス停を有効に活用した方がよい。区バス・住民バスだけでなく、西小針・寺尾・大堀・有明の各路線も乗り入れて、JRとの連絡を考慮した方がよい。その場合、内野四ツ角の渋滞が予想されるが、現在の内野四ツ角バス停を廃止すれば影響は少ないと思われる。
内野町在住。新潟大学前停留所まで少し遠くて不便です。内野駅の跨線橋を経由してファミリーマート近辺に停留所を設け、利用しやすい様、検討して下さい。(大学、古町方面へ)(よく回送のバスが跨線橋を通っていくのを見掛けますので)
・スーパーなどに、停留所があると良い。
内野上新町～新中浜～内野平和台自治会館前～西高前～内野駅～を廻る
弥彦～新潟駅 朝晩、往復があれば良
区バス、住民バス(コミュニティ佐潟バス)いずれも内野駅前広場発着のルートにしたら良いと思います。営業所発だと、以前使用したかったけど、朝早く西高校前からバスで営業所迄行かなければならなく、使用した事はないです。私にとって、木山方面に行く事が出来ませんでした。
・大型スーパーや総合病院へと向うルートを多く望みます。 ・当団地(平和台団地)は坂が多い多く、ちょっとしたスーパーへの買い物も帰りは荷物を持って坂道を上がる！こととなります。今は自家用車での移動が可能ですがいずれ徒歩となります。この坂道の移動手段をどうするかが今後の課題です。検討をお願いします。
信楽園病院行きの増設。日中の時間帯に1本もない所をつくらない。
信楽園病院と内野営業所間の区バスをつくる
ルートから外れますが、五十嵐中島～西ヶ丘駅～内野駅のルートがあれば嬉しい。現在は歩いて西ヶ丘駅まで大丈夫ですが、段々高齢になるので。質問からそれますが、個人的には古町、万代へ行くことが多く、バスの本数が少なく困っています。往復で時間がかかりすぎ、外出を控えるようになりました。
西ヶ丘駅にもバスを回して欲しい。
運転が出来ないので、バスをもっと利用したいと思うが、本数が少なく運賃も高いので、利用しにくい。内野駅で、区バス住民バスに乗り換えとなると料金も高くなるので、内野から内野営業所を通るようにして欲しい。
近くにバス路線を
・新中浜団地内の発着バスを希望します。・直接、信楽園病院、又、済生会病院を願いたい。 ・当町内から、内野地区の公民館、今泉医院、中村外科、西出張所に行く事が多い。
住民バス(内野上新町バス)について、中浜団地内の中央通りに2ヶ所のバス停を設置してほしい。また、行先を信楽園病院と済生会病院に行けるようにルートを設定してほしい。
内野上新町バスについて変更案にある「中浜団地内経由」はやめていただきたいです。(道幅も広くはなく、子どもやお年寄りなど歩いている方も多く、交差点の見通しもよくないため。)
普段バスを利用する事が無いのですが、バスを利用する方が必要であれば中央通りにバスを通していただいたり利用する方が便利になればいいと思います。
B-4で青山方面とありますが、足が悪いので乗り換えなしで、新潟駅に行けたらいいと思います。また西小針線があればいいと思いました。
上新町・新中浜に帰ってこられる新潟交通バスがほとんどない時間帯があり困っています。父(70才)が運転できなくなったら日中平日どこへも行けなくなります。上新町～新中浜から買い物や通院できるようにバスを走らせてもらえると、とても助かります。
・質問12のBで3、4でどう違うのですか？ ・中浜団地経由になると今までの中権寺経由がどうなるのでしょうか。どちらの住民にも納得のいく方向でまとめてください。
高齢者の為にバスの運行をお願いします。
これから免許の返納を視野に入れている。新中浜の団地内を通るルートはぜひとも実現していただきたい。
新中浜から内野中学校までの通学に便利であってほしいと考えます。時間帯にご配慮いただけると子どもを持つ家庭では便利になり、うれしいです。

	<p>・新中浜中央通りの他に、両端にも通して下さい。</p> <p>・新中浜から、すがはら医院、土田医院、今泉医院経由信楽園病院までの便を希望します。週に一度か二度、病院に通います。住民バス(中浜団地経由)を是非お願いします。</p> <p>中浜団地経由の住民バスがあれば良いと思います。</p> <p>現在バスは利用していないのでわかりません。希望、内野営業所～済生会行きがあると便利だと思います。</p> <p>内野西が丘駅を経由するルートがない。</p> <p>・内野西が丘駅前始発着があれば便利。</p> <p>・内野西が丘駅前に、西小針経由のできれば快速バスの始発着があれば特に良い。</p> <p>質問 12 のB・Cルートは内野西が丘駅、内野駅を経由することで利便性が増し、利用増加が見込まれると思う。(新潟交通の西小針線についても、内野西が丘駅、内野駅を経由すると利便性が増して良いと思う。)</p> <p>内野西が丘駅前にバス停が欲しい。</p> <p>内野西が丘駅にもバスが停まってくると、西が丘の住民もバスが利用しやすくなると思います。</p> <p>ほとんど駅前にバスは停まるイメージがある中、内野西が丘駅だけは駅前に停まらない。駅前に停まる事により利用が増えるのであれば、内野西が丘の駅前ロータリーにバス停を作ったらいと思う。</p> <p>内野西が丘駅前への乗り入れについては是非検討をお願いします。</p> <p>「区バス」と言うのであれば、区役所まで行けないと不便だと思います。内野駅まで行けたとしても、その先は電車で…と言うことでしょうか。</p> <p>今はまだ自家用車に乗っているのでバスはほとんど利用していませんが、何年後にはバスが交通手段になると思う。その時急には無理と思うので今から、ルートを確保しつつ増してほしいと思う。</p> <p>朝夕の小中学生の登下校は、第一番ですが、公共交通機関のないに等しい地域では、バス・電車は重要な足です。高齢者の免許返納促進のためにも内野駅から赤塚駅まで時間ごとの運行を願います。</p> <p>これから高齢化になって私の親も車の運転ができなくなればバスを使うと思うので、充実させて欲しい。</p> <p>お年寄が内野の医者へ行くバスがあればよいと思う。※午前 9:00 頃医者へ到着し、午後 1 時頃赤塚へ帰ってこれるような。</p> <p>赤塚駅始発の高速バス(～新潟駅まで)を走らせてほしい!</p> <p>バスの時間、ルートが合わず乗れないことが多い</p> <p>スーパーの近くに停まるバスがあれば活用したいです。</p> <p>内野駅までの電車が多いので、内野駅から赤塚駅のバスがあると便利だと思う。電車が天候で止まってしまうことも多いので、内野駅(赤塚から)までバスがあるととてもいいと思う。</p> <p>赤塚駅から内野駅までのバスがあるといいと思う。内野とまりの電車が多いので、学生が多く利用するのではと思う。</p> <p>自家用車を持っていない、もしくは運転できない、そういった人達を対象に、又その対象者がどのような経路を望んでいるかを主にルートを検討していった方が良いでしょう。</p> <p>内野駅まで行くようにしてもらいたい。</p> <p>中野小屋→笠木→高山→内野七番町→内野四ツ角→内野二番町→内野一番町→新潟行 お願いいたします。</p> <p>良く分かりませんが病院、SC、役所、学校など生活周遊ルート巡回はどうでしょうか。夜遅いバス、早朝バス</p>
運行ルート 運賃の改善	<p>内野の街中は区バスは走らないのでしょうか?まもなく車の運転も出来なくなります。バス代が高いです。</p> <p>多目的なルートがあったり、より低価格であれば利用する人が増えると思う。</p> <p>乗り換えの手間、それらによる運賃の高額化、また手間や運賃がその他公共交通機関に比べてかかるにも関わらず、時間通りに来ない、着かない等、あまり利用のメリットを感じられない。みじかいルートで安価に利用できる等なければ利用はあまりない。</p>
運行ルート 時間設定	<p>やがては車の運転ができなくなる事を考えると、バスは必要になる事もあると思うが、地域で家族や友人で助け合う事も必要ではないのか。又、学校通学の子供達は天気が悪いと親が送り迎えをしているが良いルートや時間があれば利用できるのではないか。(3km)</p> <p>近い将来、免許返納したいと思っています。利便性のある住民バスにお願いしたいです。時間帯、本数、ルート(内野駅前)が揃えばと思う。廃止しないで下さい。高齢者だから利用し</p>

	たいです。
運行ルート 乗り継ぎのしやすさ	今後増々高齢化が進む中で、現在運転で通院等している方も公的な交通機関の利用に頼らざるをえず、内野駅を経由した路線の確保を願いたい。内野駅から電車の併用利用、乗り替えなくバスだけ利用(乗り替えしなくても良い)とできるため、内野駅をもとに考えていただきたい。
運行ルート バス停整備	赤塚は高齢者の方も多く、また駅も遠いため普段の移動手段としてバス路線の見直しは早急であってほしい。またバス停留所の整備(囲い、防風)の検討も併せてお願いしたいと考えております。
運賃の改善	土・日の料金を下げてもらおうと利用しやすい JRと同等位の料金にならないと利用しなくても利用できない。 学生以下は1回100円で利用できると気軽に乗ると思う。学生定期券みたいなものがあると便利。小さい子どもがいる親の料金も安くすると乗りやすい。 もっと安くしてほしいです 家族が、冬バスを利用するのですが、運賃が高いため、困っています。安くしてほしいです。 新大西門から新大入口まで100円区間があり、使いやすいと思います。内野駅から文理高校、西校までバス区間を100円にすると学生も利用しやすいのではないかと思います。 どの年齢でも安い運賃で乗れるようなバスにして欲しい。 料金安く、本数多くしてほしい 区内一律料金にしてほしい。自転車の乗り入れをできるようにしてほしい。
運賃の改善 広報	バス路線の時刻表がほしいです。運賃を安くしてほしい。
時間設定	バスの数が少なく、乗りたい時間に、バスがないのはバスに乗る回数やら、まに合わないとの、せめて1時間に1本ずつは、あったら市内に買物にと行けるのでそうしていただきたいと思えます。とてもバスにと思っても用がたりませんね。 仕事が、シフト制なので、土、日の内野方面帰るバスなし。得に、4時～5時半！改善を望みます。 西区役所や西出張所に便利になると良いと思う。(電車の出発時間や到着時間に合わせると良いと思えます) 3ルートとも、土曜、日曜、は運行していないが、便数を減らしても良いので、運行願いたい。 病院等には定期的に区バスなどをだしてほしい 新潟交通、新大バスは多いのに内野行、内野から新潟に行くのに2時間もバス時間(ダイヤ)がないのはひどすぎる。済生会、信楽園行のバスも全くと言ってもいいほどバスがない。家族に頼れるうちはいいが、タクシー利用するにも費用がかかる。BRTによって住民は大変めいわくしている。区バスも一定期間内しか利用がないと思う。ミニバスでも良いし、区バスでもよいから内野のバスダイヤ見直してほしい。マイカーある人や金持ちはこのままでよいのかもしれないけどBRTに変更になってからバスの外出が不便になった。バス乗り場でもみんなそういつています。 コミュニティ佐潟バスに乗ってメイワサンピアに行き風呂に入ったりお茶飲みをやりたいが、9時頃のバスが無いので行けません。仲間4～5人で毎度送ってもらうのも大変です。歳を取ってくると家に毎日居るのも頭がおかしくなります。週3回でも良いのでバスがあれば残りの人生楽しく暮らせると思う。お願いします。 早朝時間に運行してほしい。 コミュニティ佐潟バスは赤塚中学校に通う子供達が利用できる様に土日にも運行して欲しいです。 中学生の部活終了後の下校に配慮したダイヤにしてほしい(コミュニティ佐潟バス) 中学生の子供がいますが、部活が終わる時間帯のバスがありません。車で毎日迎えに行っています。用事・仕事などで行けないと夜道を冬の中40分以上歩かなければいけません。どうかしてもらいたいです。 コミュニティ佐潟バスの運行時間に変更してほしい部分があります。夕方の便で小学校の6限終了後に乗れるように赤塚小前に16:30分頃着になってもらおうと、もっと利用できるの、現在の時間を変えて少し早めてほしいです。 中野小屋地区は導線が長いので、雨、冬場の寒い時期には家族の自家用車での送迎が必要となります。(特に小瀬小学校・中学校)最低でも通学と帰宅時間に両校の時間に合わせた時間帯に、バスの運行をお願いしたいと思えます。 必要とする時間帯に通ってくれない事と、駅までの連絡が悪いので利用できません。

	<p>・区バスを利用して載せて居ます。乗客が少ないので無理な事と存じますが、午前10時頃のバスがあったらと願いたい。</p> <p>・可能であれば内野経由のバスをお願いしたいと存じます。乗客が増す事望みます。</p>
時間設定 運行ルート	坂井輪コミュニティバスで済生会第二病院に行く場合、新潟大学正門あたりまでのぼしてただけだと大変助かります。一日に早朝と、午後1便でも考えていただきたく、お願いいたします。
時間設定 運賃の改善	もう少し余裕を持ったダイヤ(時間的に)を組んで欲しい。遅れて来る事が殆ど。(あてに無ならない。)料金が高すぎる。他県の状況と比較して！※少し歩いてでも、遠いJRに乗る。時間に正確だから。
時間設定 車内設備	・バスの座席をもう少し増やしてほしい。・夜間のバスがあればよい
車内設備	目が悪く前にある運賃表が見えづらいので(人が多い時はなお更、見えづらい)後ろにもバス料金を付けて欲しいです。(少し文字大きめだったらもっと良い)
車内設備 バス停整備	両替機を後側にも置いてほしい。2人がけ席で荷物を横においてすわっている学生には、注意してほしい。バス停で乗りたいバスが、もう通過しているかどうか分からない。
乗り継ぎのしやすさ	<p>乗りかえなしで、市街地行けると良いと思います。</p> <p>現在の職場が西蒲区で、バスを乗り次いでもたどりつけない場所のため、電車と徒歩・自転車を利用しています。故にバスに対する意見はほぼ書けません。バスは乗るとしたら直接目的地へ行くものではなく、駅までのつなぎと考えることが多いので、電車との乗り次ぎがよいダイヤがいいのでは、とは思いますが。まだ五体満足だからそんなこと言えるのでしょうか、乗り次ぎ悪くて長時待つのはつらいと考えます。</p> <p>内野駅～赤塚駅を結ぶルートで①中野小屋ルート②内野営業所ルート(上新町+佐潟の一本化)で乗り替え不要で利便性を向上する。中野小屋ルートが内野駅前まで延伸する事で他交通への乗り次ぎが向上する。</p> <p>青山での乗り継ぎがとっても不便です。前にもどしてほしいです。これは、お客様の要望です。古町へは、行かなくなったと言っています。</p> <p>青山での乗り換えが不便だと聞いている。</p> <p>メイフサンピア、アクアパークにいがた、イオン新潟西、(イオン青山)へJR内野駅から乗継ぎ無しで行けると良いと思う。西総合スポーツセンターも。</p> <p>電車着時間とバス通過時間が合わないほとんど昼間は合わない。</p> <p>青山での乗り継ぎがいやで変更になってから一度も利用していない。</p> <p>内野駅で電車を降りてから西高校前方面へ向きたいのに、20分以上待つことが大変。</p> <p>乗換えなしで新潟方面へのバス(西小針線)が少ない。</p> <p>今まで利用していませんでしたが、今年春から子供が通学のため駅を利用するので、駅までバスを使えたらと思っています。電車の時間に合わせてバスの時刻表を考えるとバスを使いやすいです。</p> <p>医者へ行くのに(うちの町へ行くのに)乗り換えるのは、大変不便。新潟方面へ行くのに青山で乗り換えは不便、年齢を重ねるごとに不便を感じる。</p> <p>乗り換えなしで市内に行ける様にしてほしい。</p>
遅延	一年ほど前にJRを併用して佐潟コミュニティバスを利用した際に5分ほどの電車の遅延だったにも関わらず、バスに乗れなかったことがあります。夜の最終便だったので、どうすることもできず、途方に暮れたことを覚えています。JRとの連携があつてこそそのコミュニティバスなのではないでしょうか？
遅延 運賃の改善	<p>バスの運賃が高いし、時間がかかる。そのうえ時間通りにこない。近くのバス停が営業所よりバス停が3つにもかかわらず15分も遅くなったりするので、その点を区バスには改善して欲しい。</p> <p>時間通りにきちんとくる事</p>
バス停整備	<p>白山駅で青山行きのバスを待った事があるのですが風が強く老体ではせつなかつたです。風よけがあると助かると思いました。</p> <p>・バスの本数が少なすぎる為、不便です。・バス停留時に待ち合い所がない為、ずっと立っている年配の方がいてかわいそうだ。夏はあつい、冬は寒い！！</p> <p>古くなったバス停をきれいにしてほしい。</p>
広報	区バス等の路線がある事すら知らない。周知不足だと思う

	<p>・このバスがあることを知りませんでした。</p> <p>・西区内に限っての交通手段と思われるが、もっと小廻りのきいた、ハード+ソフトの計画が必要と思われます。(例)・10~20乗り、or7~8人乗りの小形タクシーやバス・スマホ等 で対応するフレキシブルな運行システム・AIによる運行管理 あと地域バス等の交通手段の 宣伝が足りませんね。周知の方法を役所的(営業しない)でない方法を考えて下さい。当 家にも、障がい者(老人)がいますが、システムやバスのことを全て知りません。</p>
	時刻表もないし、乗り場もわからない。広報不足ではないか
	区バス、住民バスがあったことをくわしく知らなかったので、時刻表、料金表を、各世帯に配 布すれば、利用者が増えるのではないか。
	全く利用してない。説明が不明確、不足で質問に回答できない
	区バス・住民バスの運行があることを知らなかった。西区にもっと宣伝してほしいし、実状や 問題点も報道してほしい。
	区バスそのものの路線や停車場等全く解らない。又解ったとしてもその路線上に家が有る か、近くでないとなかなか利用しないと思う
	バスの時刻表(紙の)が配布されないのが困る。新潟交通のホームページの時刻表はとても 見づらいです。
	区バス・住民バスについて何もわからない。(バス停の場所もどんなバスを見た事もない)く わしく知れば利用するかもしれない。
その他	高い税金を使ってまで、希望があるとは思わない。
	この為に税金を使う事はないと思います。
	二連バスもいいけど、マイクロバスの小型バスを運行させれば、維持費も節約できるの では。
	利用する機会があまりないので特にありません。
	区バス、住民バスをまったく利用していないので、意見、要望は今のところ具体的にはない が、もしも免許を返納した時はどうなるか心配だ
	①老後に向けて(病院をめぐるバス、買物(スーパーなど)に便利なバス)など用途別のバス を希望する。②なるべく小型のバスに乗りたい。
	東区のバスの本数が減ったのでBRTを廃止して欲しい。
	BRTを廃止して欲しい。
	バスを廃止し、タクシー料金を一部、区が負担し、利用できると良いのでは。
	バス停迄行くのに大変なので病院へ通院の際は自家用車(娘の送迎)かタクシーを利用す る事が多い
	現在自家用車を利用しているので、意見、要望はありません
	今は、車に乗られるので、必要は、感じていませんが、車に乗られなくなった時、本当に、必 要にせまられると思うので、よろしく願います。
	西区(坂井輪、黒埼以西)内の交通は内野駅を中心に循環型とした方が良い。西区内の他 駅でロータリーになっていてバスが入られるのは内野駅しかない(もしありましたら失礼)。そ こを拠点にして佐潟、海岸部、内陸部の集落を結ぶ。その際、小型のバスにする。なるべく、 学校や病院の前に停留所を置く
	バスを利用する場合新潟交通路線を利用するので区バス・住民バスは利用することがない
	色々な路線があってわかりづらい。電車みたいにのりつぎアプリとかないんですか？金額と か時間を考えるが手間です。
	なかなか簡単に出来ることではないかもしれませんが、バスを小型のマイクロバスにして、 行く場所や本数を増やせば、利用しやすくなるのでは、ないかと思えます。
	バスを利用する方々のご意見を十分くみ取ってあげて下さい。
	バス停がわかりにくい。バス路線が不安で安心できない。待っていてもバスが来ない時、行 ったのか、どうか、わかるといいのでは、市内バスの様に。
	年をとって区バスは、ありがたいものだと思うが、利用しないかも。クソ田舎に住んでいると、 手取り早い車が、命のつなです。認知症になってヤバくなったら車をやめ→施設か？車は、 足だから、生活できない。死ぬまで、車に乗りたい
	余り乗らないと思います
	現況の市財政でアンケートを取って変更が可能なのか疑問です
	高齢者はバス乗り場までも遠いので小型バスを村内に走れる様にしてもらいたい。
	区バス・住民バスを利用していないのでどのルート変更がよいか聞かれてもこまりました。
	区バス・住民バスは利用したことがない。五十嵐3の町がバスも通らぬ所です。

免許返納したらバスを利用すると思います。
必要ないと思います。今まで通りでいいと思います。
余り、利用した事無ですが、お年寄りの方々が利用する。病院、買い物する店、駅、等のサポートを、細目に可能な区バスにしてほしい。小型の乗合いバスが良いですし、免許証返納の方は、無料にするとかにしては、どうでしょうか？
何故、内野～新潟まで一本でいけたのにBRTができてから乗り継ぎをしなくてはいけなくなったのか。不便になった。とおもうが…
車に対応しているのでJRが運休の時のみ利用する
利便性向上に取り組んで下さい。有難うございました。
(1)使用するバスの工夫。マイクロバス程度の小型化。障害者、高齢者等の使用を優先的に考え、低床にする(2)料金プランの設定。乗りつぎがあっても、目的地まで一貫料金。現行では乗りつぎは、非常に割高になる。(3)路線図、時刻表の配布
現在自家用車で用は済んでいます。運転出来なくなれば、バスを利用します、思います。我家は新大前西門と内野一番町で利用出来るのでどこへでも行けるので不満はありません。
五十嵐二の町の住民であるが、質問の“12”の回答はあまり意味がない。地理的に参考にならない。
区バスも住民バスも内野は入っていませんが。
私、個人の生活圏とは、あまり関係ない地域へのルートであり、利用頻度も少ないので、特に意見・要望はありません。
大型バスの利用ではなくテスト的にマイクロバスから実施をしていっては如何。コスト、利用等の面で長続きしないでは意味がなくなります。
設問内容を十分検討していただきたい。
もっと利用しやすく
足が悪いので、家の前迄送迎してもらえれば助かります。
バス停に立ててある時刻表って更新されていますか？
困難を感じている体力の弱った者、あるいは少数が対象になるかも知れぬバス運行が予測されるので、通院・買い物・通学の時間帯を考え、小廻りのきく小型バスを不便そうな所への配分(ルート)は考えられないでしょうか。福祉型バスと、通学通勤型と分けて、しかも、どちらも活用大になる工夫はないものかと。老人が無理に車運転しなくて良いように。
バス路線について良くわからなかった。今後は注目したい。
利用していないので答えようがない
勝手にいわしてもらえば自宅近くを通って貰えば一番良い。
今現在、車の運転が可能であるため、バス等の交通機関を利用しないが、将来的に車の運転が出来なくなった場合には、区内の区バス・住民バスに頼らざるを得ないと感じています。
BRTが運行されてから、乗りかえ有るということで、それ以来バスには一度しか乗っていない。
青山での乗りかえがあるようになり、なおさらバスに乗りたくなくなりました。
いつも自家用車を使っており要望が思いつきませんが、年々バス使用に近づいていると思いますので、住民の声をよく聞いて「便利になるバス」を宜しくお願い致します。
今はまだ車が乗れるのでバスを利用してませんが、いずれ運転できなくなる時がくるのでバスは必要です。でも今から利用する人が増えなければ運賃も安くないしバス路線の本数も増えません。車が乗れる間はバスの利用も難しいです。
10年以上前に通勤でバスを使っていた時、時間通りでない(遅いこともあるし、逆に早くきたのに時間まで待たずに行ってしまうこともある。)、時間がかかる、座れない、料金が安い、などあまり良いことがなく、車通勤に変えたことがあります。区バス・住民バスであろうが、そのあたりがまず良くならなければ意味はないと思います。
外出する時間にバスがない。新潟まで行くバスが少なすぎる、又時間がかかりすぎる。帰りのバス停があまりよくわからない。
西新町から下坂井まで行きたいけど寺尾線のバスがすくない
西高校前の信号は時差信号になっているが、内野駅方面からの右折車が直進にくる車のため、なかなか右折できず渋滞し、事故につながりやすい。悩み多い場所である。運転手マナーとして右折車を通せばいいのだが、実行されない事が多い。道路も狭くて車の数が多くなっている感じがする。
まだ区バス等に乗った事はないので要望は特にありませんが、今後必要となるでしょうから

<p>廃止にならない事を望みます。</p> <p>いつかは免許の返納を考えなければなりません。それを考えるといつかは「区バス」「住民バス」を利用させて頂くことになります。良い交通手段を是非考えて頂きたい。</p> <p>勤務地や目的地によってはバスが便利になるが、今現在の職場で考えると自家用車の手軽で便利である。飲酒をとまなう会へも徒歩とJRか、飲まずに自家用車で行くほうが多い。しかし災害時(地震・大雪・大停電)は、バスがとても助かった。</p> <p>区バス、住民バス共に利用していない為、全く分かりません。持続可能な運行をめざす為にも、現在の利用者に対して意見を聞くべきではないでしょうか？(バス車内にアンケート用紙配布・回収)ただ、今回のアンケートでは将来利用するであろう区バス、住民バスの存在を知ることができました。</p> <p>存在自体がわからない</p> <p>今は車があるので。車が運転できなかつたらバスに乗るつもりです。</p> <p>今のところバスに関して乗らないので分かりませんが、免許を返納したらバスに乗ると思いますので、バスをたよりにしています。</p> <p>人口の少ない地区程、考慮して置き去りにしないでいただきたいです。</p> <p>バスを小さいものに(買い替える時)すると良い。二連の大型バスは不用に思う。青山に乗りかえるのは不便です。だから電車に乗っている。</p> <p>たいへんよい事であるが、1人でも利用者が多くなる様に取り組む必要があると思う。高齢者も自分自身を認識する事も重要である。ただ何となくやる様では、やらない方がいいと思います。</p> <p>区バス・住民バスのアンケートについては、その住民にお尋ねになれば一番要望がはっきりとするとします。私も免許を持っていないので、自転車があれば自転車、無ければ徒歩+電車です。とても不便を感じています。以前からこの辺りを循環するようなバスがあればいいな…とっていました。高齢者がバスを利用するのは大体、買い物か病院ではないですか？一本のバスで(乗り継ぎしないで)買い物目的の目的地へ行って帰って来られるシステムになっているかどうか大切だと思います。コミュニティバスが、本当にもっと充実して、多くの要望が網羅出来たら利用者が増え、高齢者の免許返納も増え、地域の経済に多少なりとも活性化が計られるのではないのでしょうか？現在の区バス・住民バスは私は利用した事はありませんので何とも答えようがないですが、それでも「これで役に立ってえるのかな？」とは思ってしまいました。どれを取って見ても“尻切れトンボ”のようにしか感じられません。本当に便がいいものを作ってほしいです。これはあくまでも個人的なことですが、ゆくゆくは大型スーパーが徒歩圏で行けるアパートへわざわざ引っ越さなければならないのではないのか?!ということも想定しています。</p> <p>現時点では区バス・住民バス(路線バス)も含めて利用のイメージがわかりませんが将来的には免許の返納時の事も考慮して考えて見たいと思います。</p> <p>区バス・住民バスは利用した事が無い。免許返納すれば、乗る機会があるかも。</p> <p>・内野上新町バス減便・乗車率のデータをとってから再アンケートをした方がよい。</p> <p>普段全く利用しないので、意見・要望ができませんでした。</p> <p>・制限速度以下で走行するバスを見かけます。・バスの前はガラガラなのにバスの後ろは車の渋滞…といった事もよくあります。・バスが連なると追い越せないの、結果渋滞の原因になります。</p> <p>現状、利用している方の意見を十分に聞いた方がよい。</p> <p>区内、住民バスがあることも知らなかった。ただ、周りの知人からBRT導入により、乗り換えせずに目的地に着いていたのに、乗り換えがいちいち発生するようになって大変困った。免許と車を所有した。など話を聞いています。これからの時代、不便になる意味がわからない。益々渋滞発生、大変困る。ツライ。東京・大阪みたいに交通の便が発達していたら、車乗るのやめます。実際私も、子供が生まれてから車買いました。新潟、車ないと不便過ぎ、渋滞ひどすぎ。冬はこんなに寒いのに、バス乗り換え必要になったなんて…かわいそうすぎます。</p> <p>JRが近いのでバスは利用しないと思う。</p> <p>乗車率はどのようになっているのでしょうか？対費用効果。一方で交通弱者(お年寄、子どもなど)もいるわけです。行政の支援を期待します。</p> <p>収益は見込めないと思うが、今後益々高齢化がすすみ、若い世代と同居せず、車を手放す世代が多くなり、利用は多くなるのではないか。今後にむけて利用する意識を持ちたい。この地に住み続けられるように。</p> <p>赤塚駅までの電車の発車があると良い</p>

現時点ではわからない
大型のバスより、中型のバス(24名位)で運行しても良いのではないかと。
今後4、5年の要望であります。生身であるので先の事は見えないけど健康でいられれば、バスを利用したいと思います。高齢者に対して配慮願います様に。
現在、車を運転できるので、不便はありませんが、近い将来、移動をバスに頼ることになります。区バス、住民バスの充実をお願いしたい。
利便性を全く感じない為、興味すらない。何故、多くのバスが青山に向かっているのか？このアンケートのレビューはどこで行われるのか？検証内容はいつ、どこで公表されるのか？それが無いのでしょうから、このアンケートは意味があるのでしょうか。
区バス、住民バスが自己のニーズ(赤塚駅→新潟駅)と全く合致しない為、バスに対して全く関心がありません。むしろJRの本数活性化に力を入れていただきたい。
我が家では中学校へ通学するためにコミュニティ佐潟バスを冬期間のみ子が利用しています。こちらのバスは大変ありがたい。今後もこのままお願い致します。大人も利用したいですが、赤塚方面は買い物もできないし、医院に行く時は車でいきますし、「バスが必ず！！」という場面がなかなかないのが現状であります。
将来、自家用車を使えない、最寄り駅までの徒歩往復、電車の移動もきつくなった時、バス利用という手段が現状のままだと、外出もままならなくなる。改善に期待しています。
子どもが赤塚小学校に通学するようになったらコミュニティ佐潟バスを利用すると思うが、本数が少ないので利用しづらい
子どもが小学生になったら佐潟コミュニティバスで赤塚小学校まで利用すると思うが本数が少ないと利用しづらいので車を使うかもしれない。
イベント趣味等ででかける時は乗り物はほとんどなく、小さなバスで良いからタクシーに近い動きの出来る乗り物があれば、もう少し利用するのではないかと思います。
・車のない高齢者や学生の方が利用すると思うので、アンケート対象をその世代にしぼってみてはどうか？ ・区内で買い物などする場所も少なく、バスが増えても結局は行くところがない。車を利用するものは、区外に出てしまう。
小学校の子供達は何で雨ふりや雪の日に乗って通学してはダメなのですか？忙しいのに朝、親たちが自家用車で送っています！！区バスは赤字なんだからやめなさい
中野小屋・大友など越後線からはなれた地区の公共交通の維持をがんばってほしい。
高齢者が、5～10年後もっと多くなった時、現在あるバス停まで歩いて行くのも困難になる人が多くなると、それぞれの自治会にバス停を作って運行しなければ家族に車がない状態になった時、困る。
地域の足として存続を希望します。
利用できる、しやすい地区の住民の意見を優先してもらいたい。
中野小屋地区乗客の少ない部落はバスの必要ない。自宅からバス停留所まで遠いからバスは不要です。古町榎谷小路、新潟駅等に多く利用して下さい(新潟市外に多くすること)バスの通学ライン停留のたびに止まるので他の車の邪魔です。
バスの本数が少なすぎて、乗車することがまったくできません。一時は廃止されたので、中野小屋ルートが復活したのはよいのですが、内野町への医者にも使用がまったくできていません。これから、ますます高齢化になりバスは市民の足となります。
・内野駅前を經由して信楽園病院へ行く。 ・信楽園で乗り換えて行きたい路線を選ぶ。
お年寄りが通院に利用しやすい乗り合いバスがあると、とても助かると思います。
ワゴン車のような車を使い、ある程度、自由に乗り降りができるようにしたら良いと思う。ワンコイン100円で乗り降りなど。
運行車は小型車で良い。
今は必要性を感じていませんが、この先、自動車が運転出来なくなったときに、スーパーや病院など直通でいけるバス路線になっていると有難いと思っています。

2.2.1. クロス集計結果

(1) 地域ごとのバス利用状況

鉄道駅の位置や幹線道路網を考慮して、アンケート対象の自治会をA～Hの地区（図2-28）に分類し、地域ごとのバス利用状況を比較した。

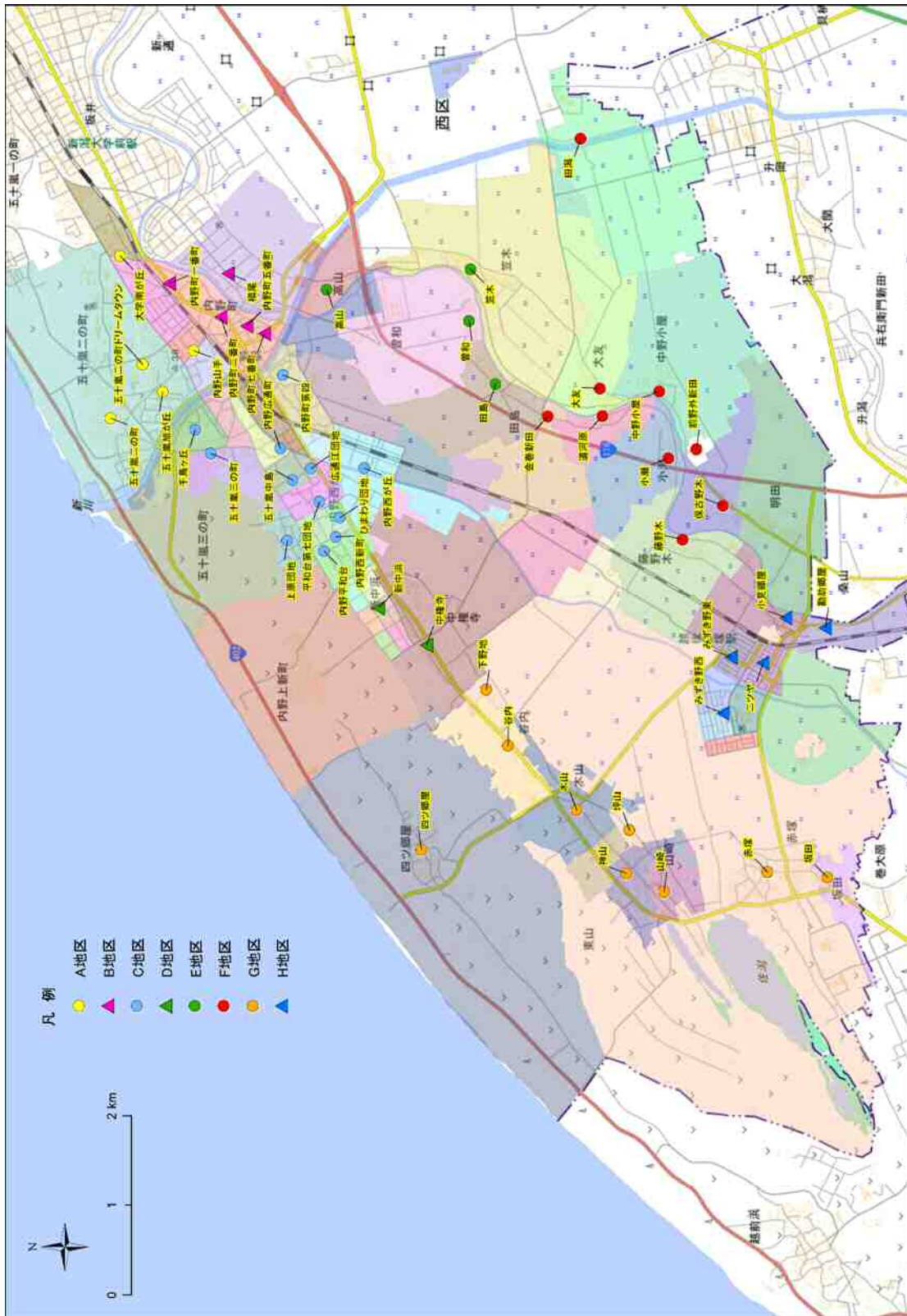


図 2-28 対象地域の自治会の所在地と地域区分

8 地区の鉄道、バスの利便性について以下に整理する。

A 地区:五十嵐2の町、大学南	B 地区:内野町、槇尾	C 地区:五十嵐中島、五十嵐3の町
D 地区:新中浜、上新町	E 地区:笠木、曾和	F 地区:小瀬、中野小屋
G地区:赤塚、山崎、木山、四ツ郷屋	H地区:みずき野、小見郷屋	

A～C地区は駅から近く、バス路線も多いことから、鉄道・バスのどちらも利用しやすい。

D地区は、駅までの距離は少し遠いが、バス路線は多いことから、バスを利用しやすい。

E～G地区については、駅からの距離が遠く、バス路線数も少ないことから公共交通の利便性が低い。

H地区は駅からの距離は近いが、バス路線が少ないことから、鉄道を利用しやすい。

表 2-22 各地区の特性（交通利便性）

	地区名	最寄り駅までの 平均経路距離	地区内を 通るバス路線数
公共交通 便利エリア	A地区	1.0 km	4 路線
	B地区	0.9 km	5 路線
	C地区	1.0 km	5 路線
バス便利エリア	D地区	1.6 km	5 路線
公共交通 不便エリア	E地区	1.9 km	1 路線
	F地区	2.5 km	1 路線
	G地区	2.6 km	1 路線
鉄道便利エリア	H地区	0.6 km	2 路線

1) 外出目的別の交通手段

ア) 通勤・通学

【出発地（地区別）による交通手段の違い】

- ・ 地区ごとに通勤・通学での交通手段をみると、いずれの地域においても自家用車・バイクの占める割合が高い。特にD地区、E地区、F地区で、自家用車・バイクの割合は高く、この地区では電車の利用が少ない。
- ・ これ以外の交通手段として、バスの利用はD地区で割合が高い。

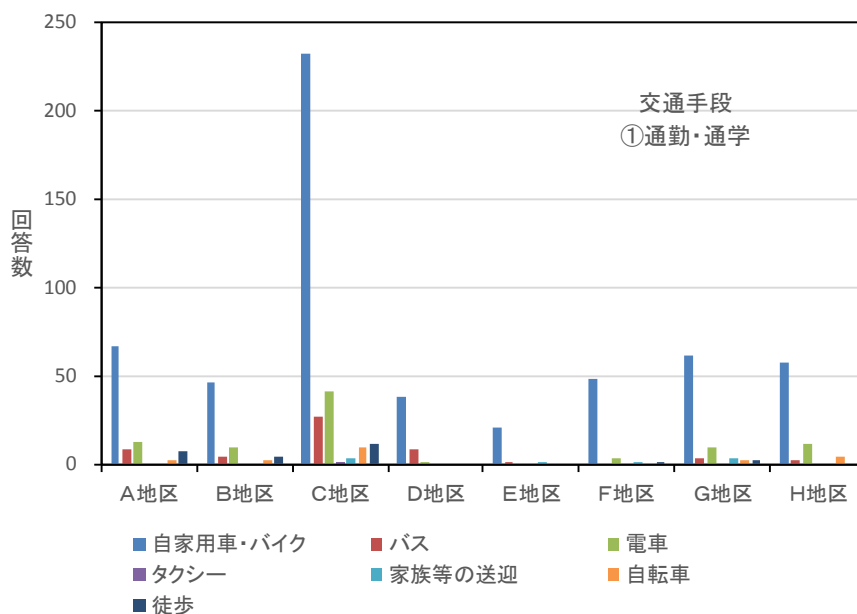


図 2-29 地区ごとの通勤・通学の交通手段の回答数の比較

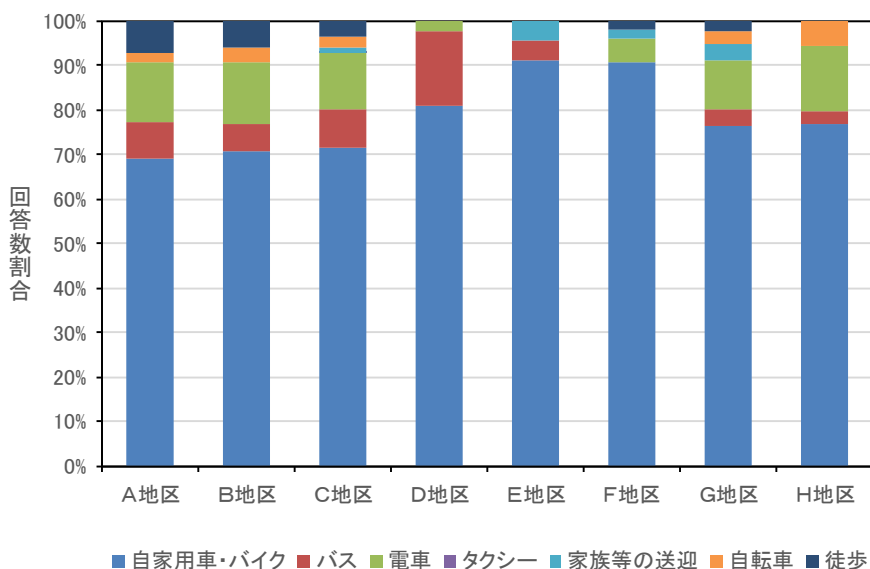


図 2-30 地区ごとの通勤・通学の交通手段の割合の比較

【目的地による交通手段の違い】

- ・ 目的地が「東区」、「南区」、「新通」、「赤塚」、「小新」、「流通センター」の場合は、公共交通の利用がみられない。
- ・ 目的地が「中央区」、「新潟駅」、「新潟大学」の場合は、公共交通の利用が比較的多い。

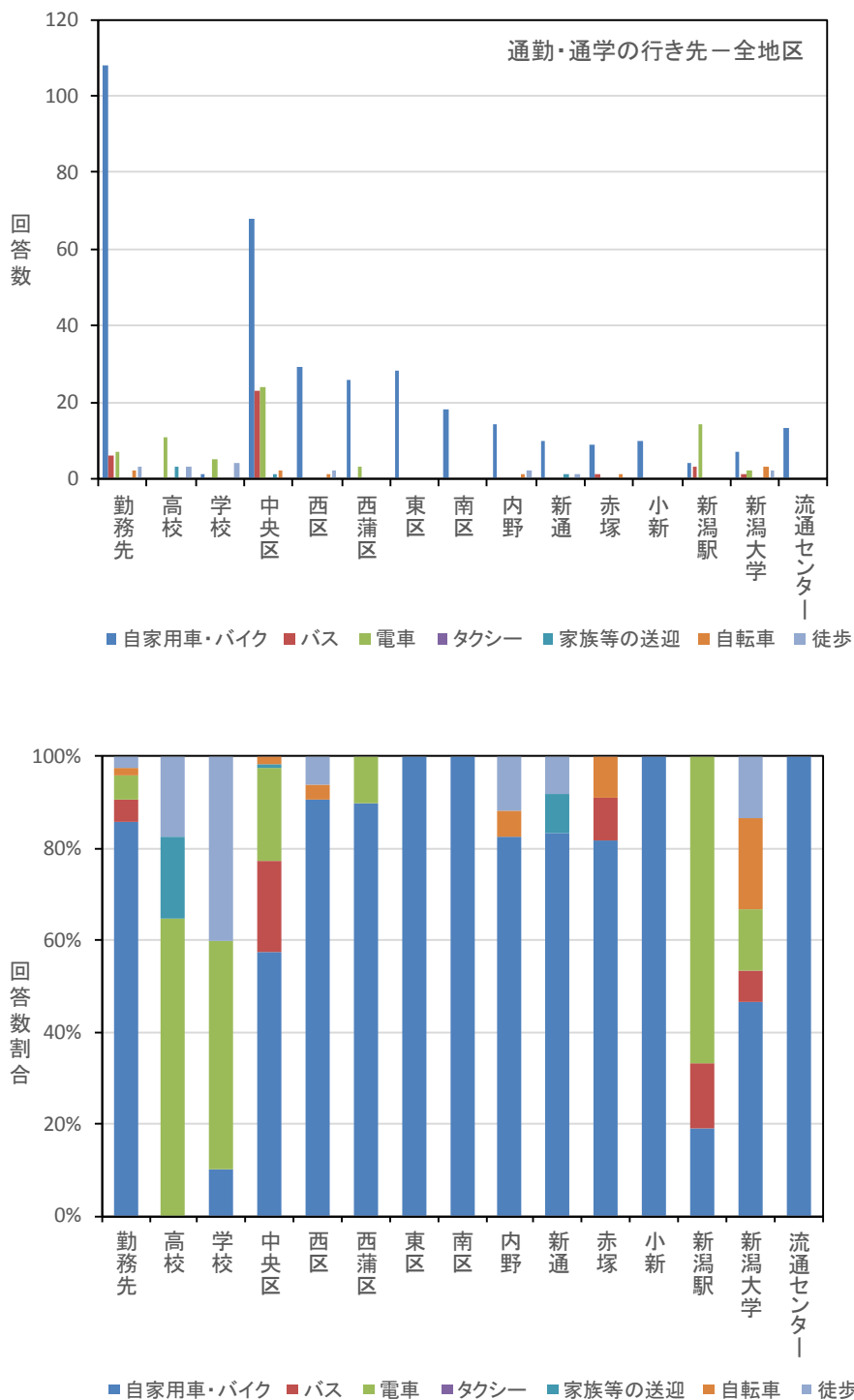


図 2-31 目的地別の交通手段

イ) 買い物

【出発地（地区別）による交通手段の違い】

- ・ 地区ごとに買い物での交通手段をみると、いずれの地域においても自家用車・バイクの占める割合が高い。特にE～H地区で、自家用車・バイクの割合は高い。
- ・ これ以外の交通手段として、バスの利用はD地区で割合が高い。徒歩はA～D地区で多い。電車は通勤・通学に比べると各地区での利用者の割合は低下している。

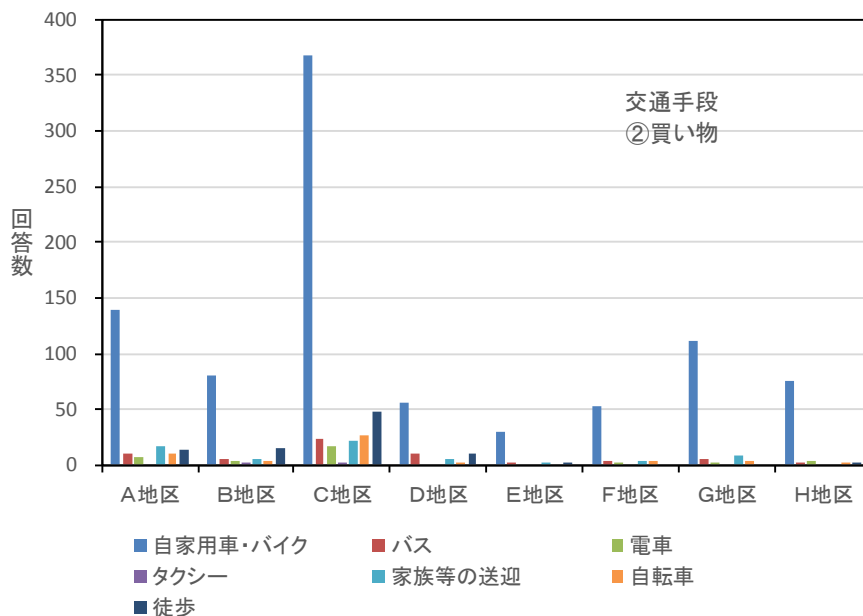


図 2-32 地区ごとの買い物の交通手段の回答数の比較

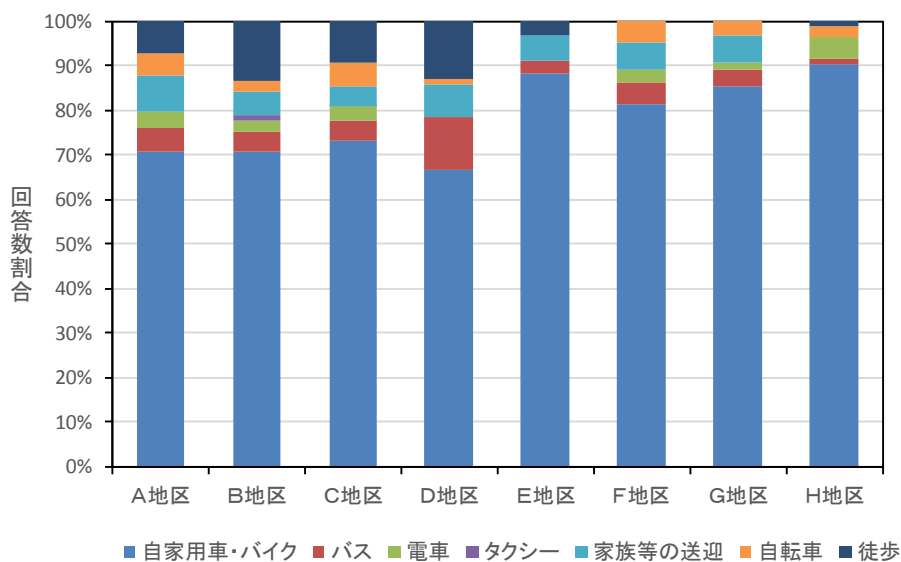


図 2-33 地区ごとの買い物の交通手段の割合の比較

【目的地による交通手段の違い】

- ・ 回答数の多い目的地のうち、「いちまん」を除き、ほとんどが自家用車・バイクを利用。
- ・ 電車利用は、「イオン青山店」以外ではほとんどみられない。
- ・ バス利用は、「ウオロク大学前店」、「ウオロク内野店」、「イオン青山店」等のバス路線上の店舗でみられる。
- ・ 西地区内の店舗は徒歩で行く人もみられるが、西地区外の店舗へはバスや自家用車を利用している。

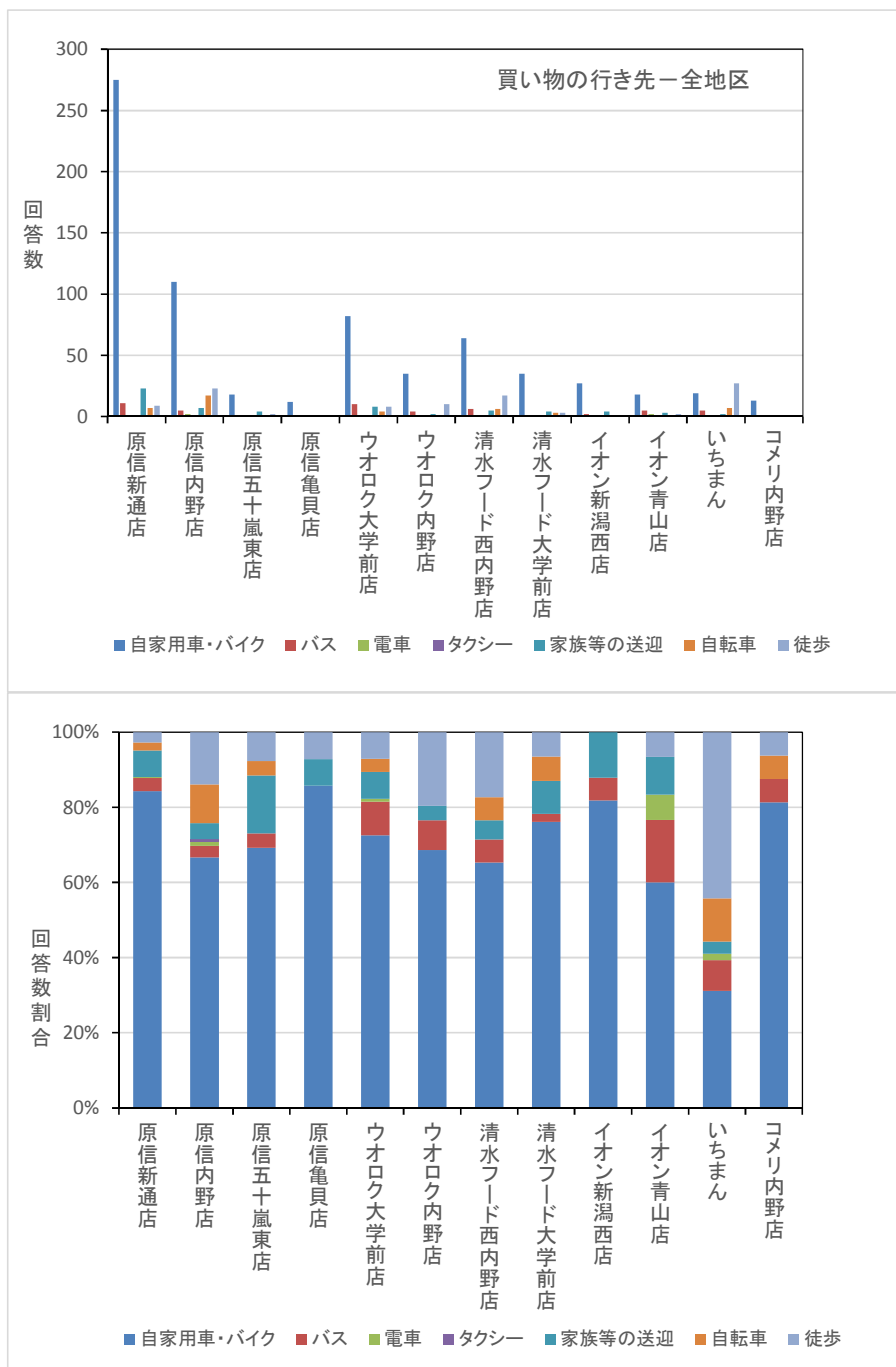


図 2-34 主な目的地別の交通手段

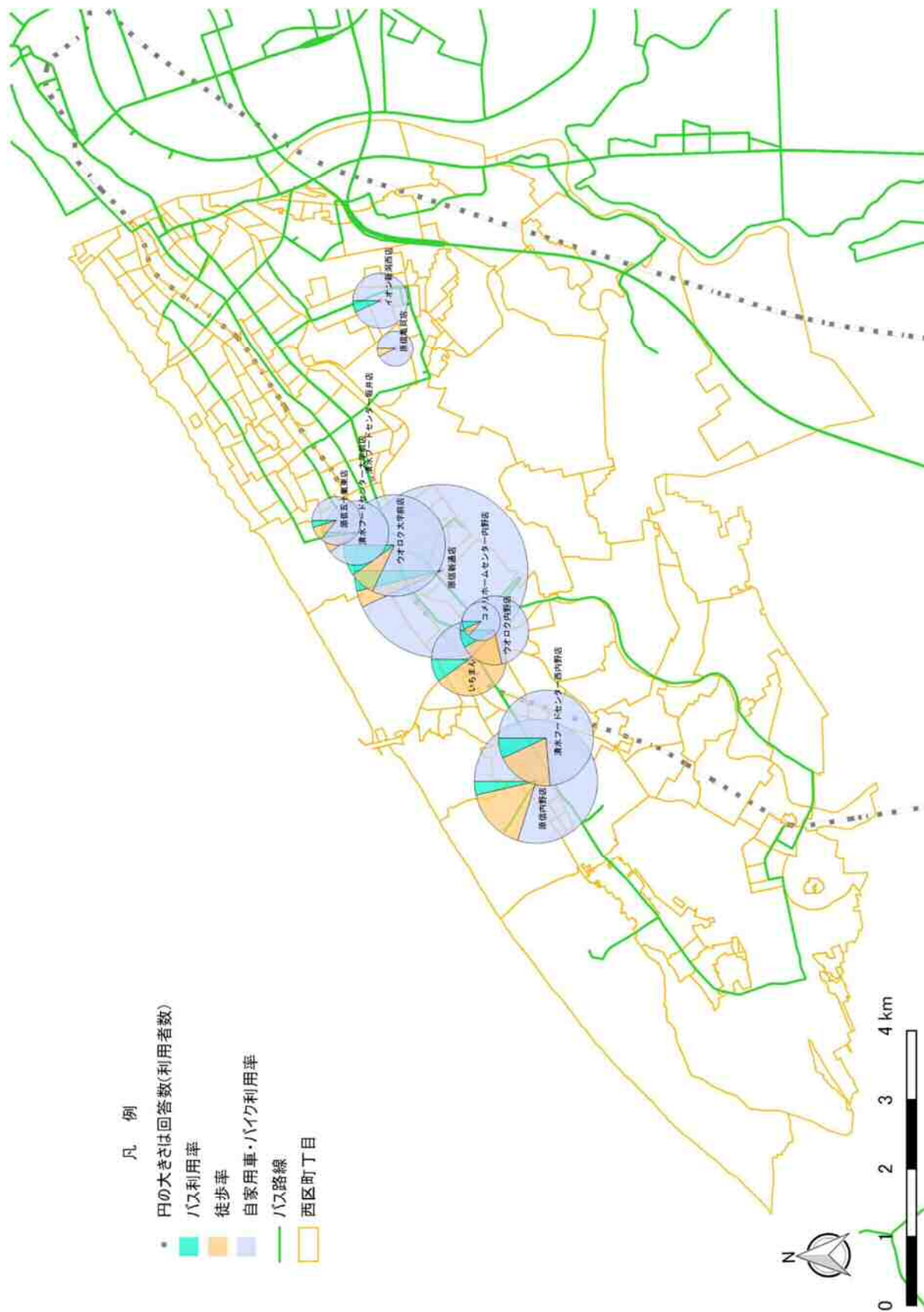


図 2-35 主な目的地別の交通手段（構成比）

ウ)通院

【出発地（地区別）による交通手段の違い】

- ・ 地区ごとに通院での交通手段をみると、いずれの地域においても自家用車・バイクの占める割合が高いが、特にH地区で極めて高い
- ・ これ以外の交通手段として、バスの利用はB～E地区でやや割合が高い。徒歩はA～C地区である程度見られるが、他の地区では少ない。電車は通勤・通学に比べると各地区での利用者の割合は少ない。

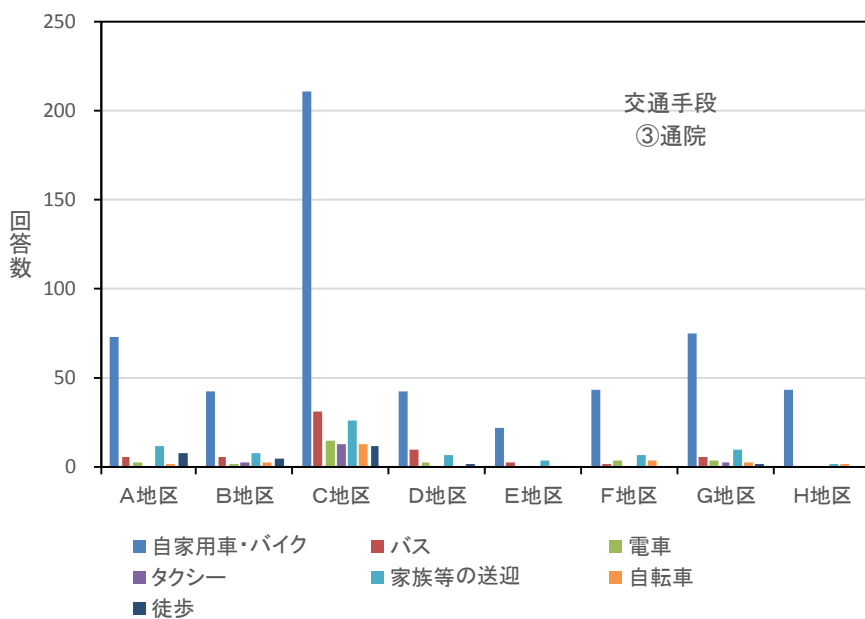


図 2-36 地区ごとの通院の交通手段の回答数の比較

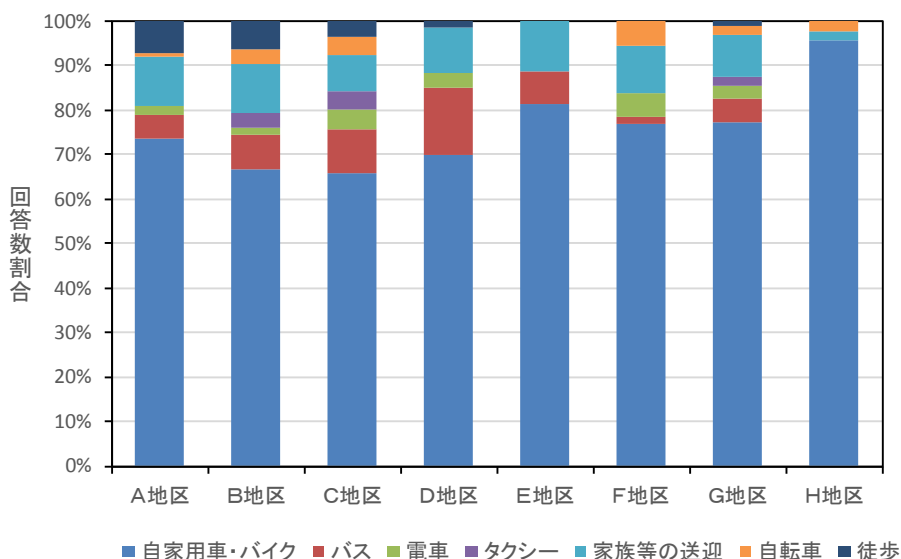


図 2-37 地区ごとの通院の交通手段の割合の比較

【目的地による交通手段の違い】

- ・「済生会新潟病院」、「新潟大学病院」、「新潟医療センター」、「県立がんセンター」、「中村外科胃腸科」、「内野おがわ眼科」はバス利用が多い。
- ・西地区内の病院については、徒歩や自転車で行く人もみられる。
- ・西地区内の病院であっても、バスの利便性が高いところとそうでないところで交通手段としてバスを利用する割合が異なる。

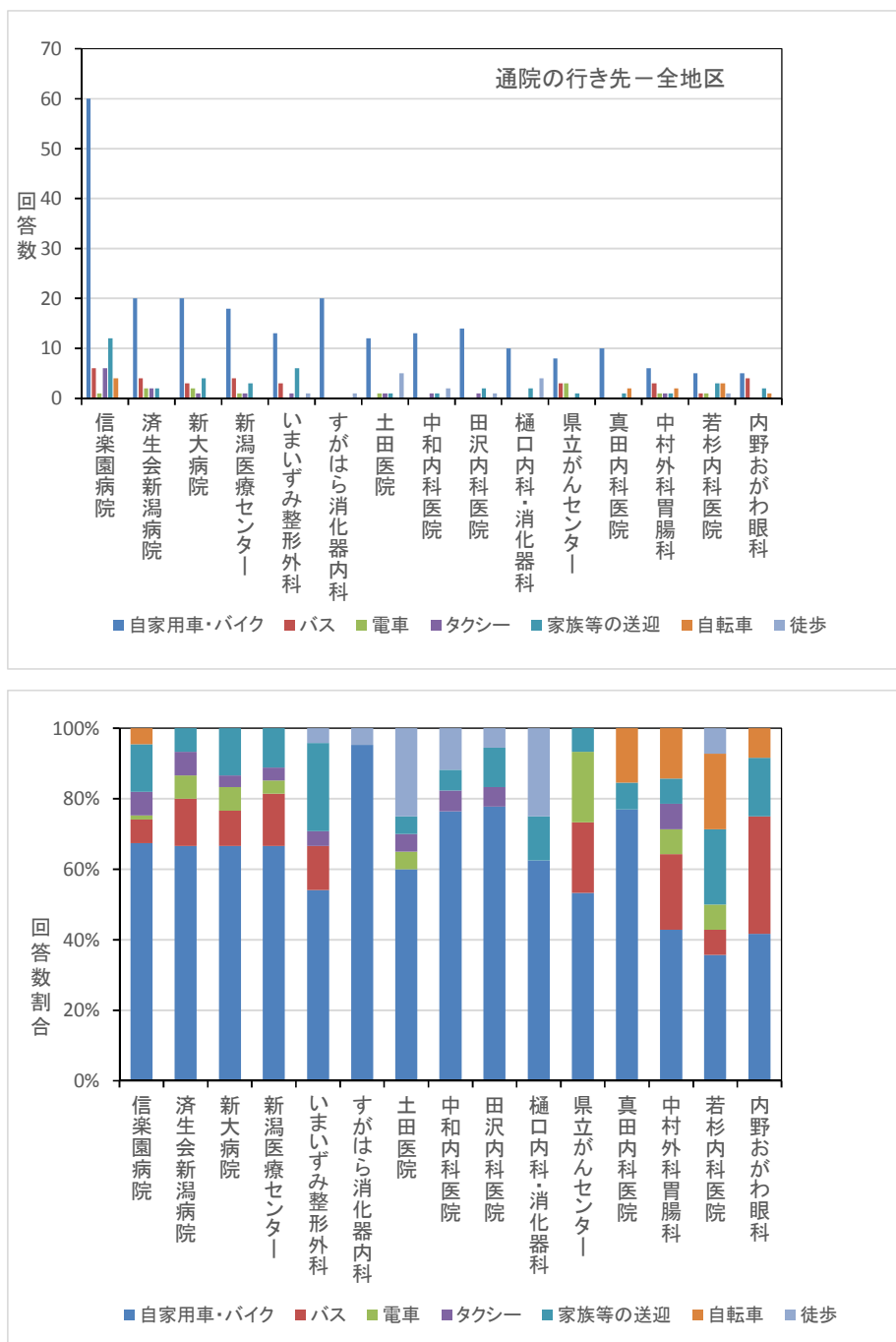


図 2-38 目的地別の交通手段の違い

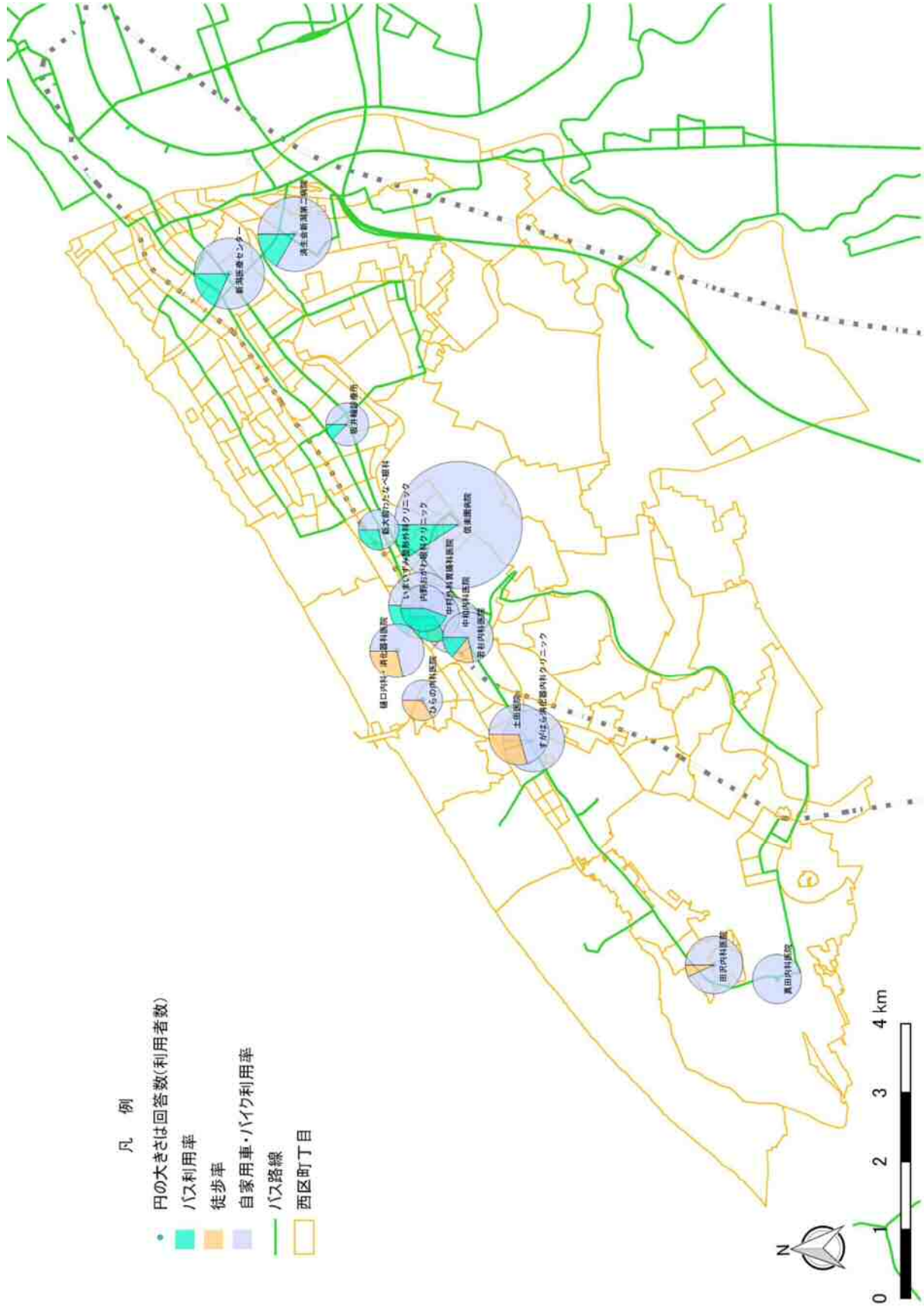


図 2-39 主な目的地別の交通手段（構成比）

2) 最寄り駅までの交通手段

- ・ 地区ごとに最寄り駅までの交通手段をみると、A～C地区とH地区では徒歩が大半を占める。
- ・ これ以外の地区では自家用車・バイクの割合がやや高いが、D地区ではバス利用の割合が他の地区に比べて明確に高く、E～G地区では家族の送迎が高い。

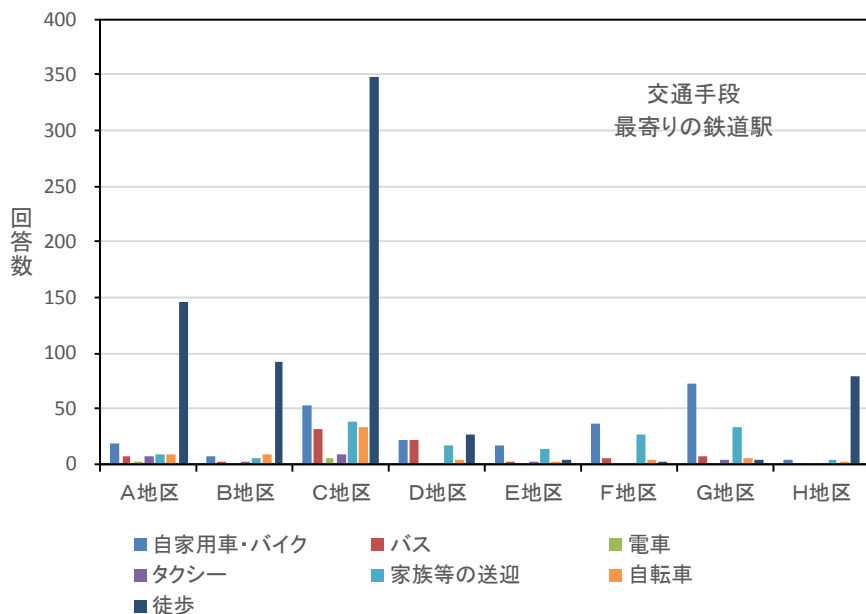


図 2-40 最寄りの鉄道駅までの交通手段の回答数の比較

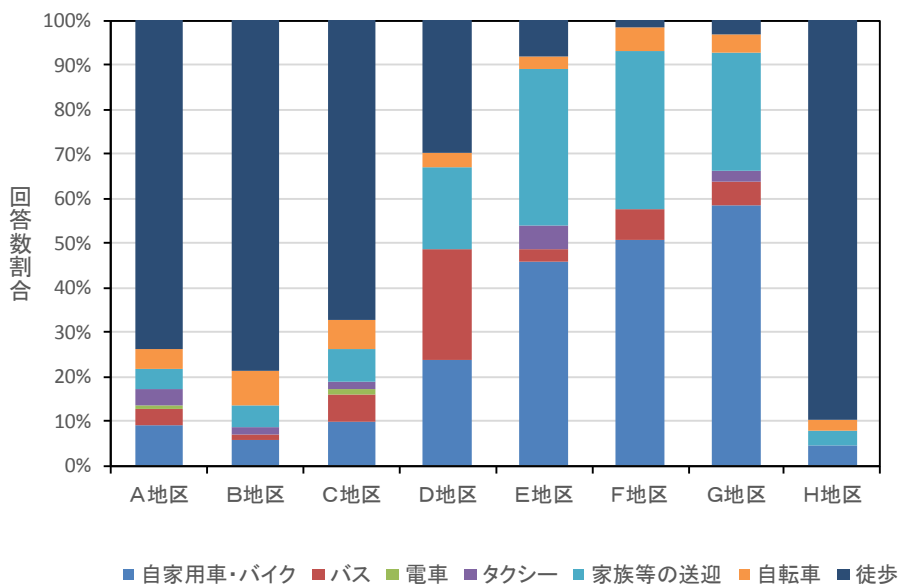


図 2-41 最寄りの鉄道駅までの交通手段の割合の比較

3) バスの利用頻度

- ・ 地区ごとにバスの利用頻度をみると、A～D地区で高く、E～H地区で低い傾向がみられる。
- ・ A～D地区の中では、毎週利用するような高頻度の利用者はD地区で高く、B地区はやや低い。
- ・ E～H地区はバスを利用しないまたはほとんど利用しないと回答した人が非常に多いが、E地区には週5日以上利用するような高頻度の利用者もみられる。

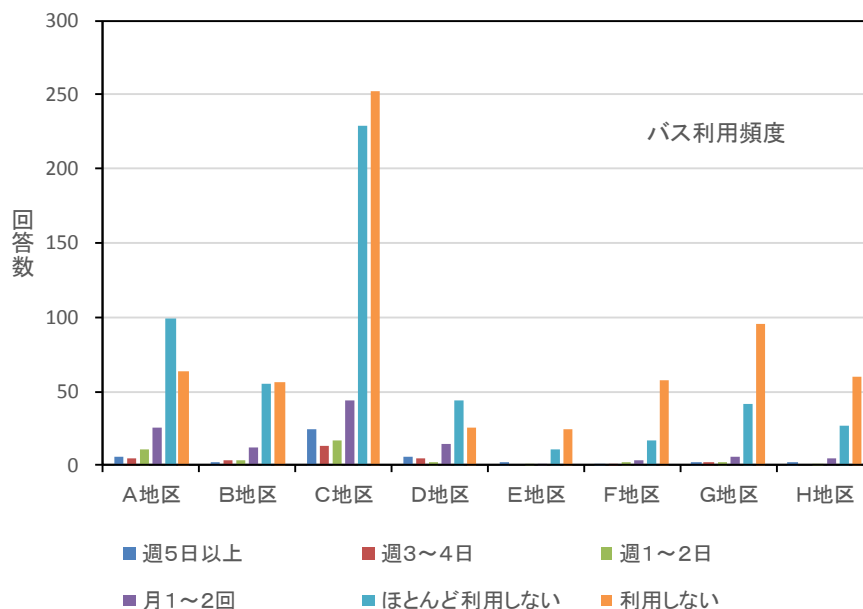


図 2-42 バスの利用頻度の回答数の比較

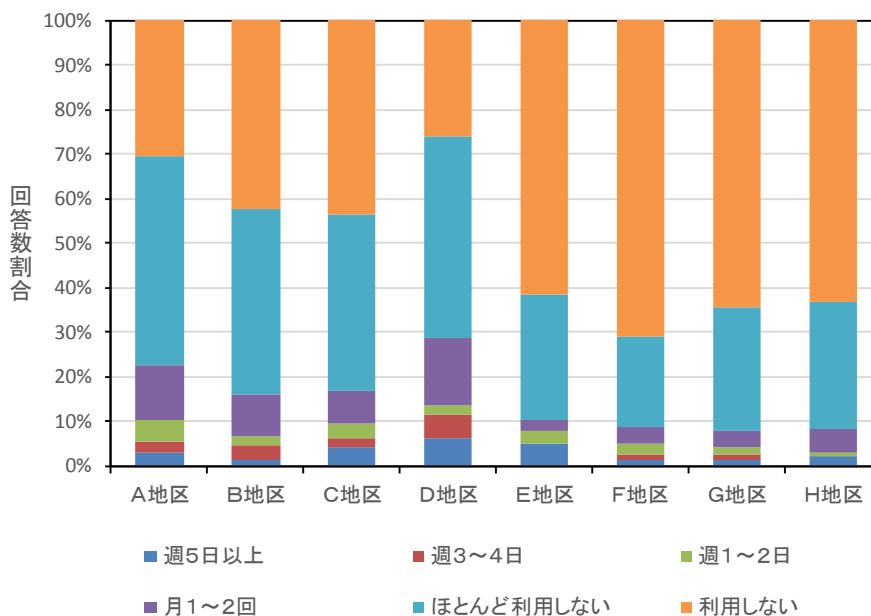


図 2-43 バス利用頻度の割合の比較

4) 利用するバス路線

- ・ 利用するバス路線は、居住地がその路線の沿線であるかが影響し、地区ごとに異なる結果となっている。
- ・ 区バス（中野小屋ルート）はE～H地区での利用が高く、住民バスのコミュニティ佐潟バスはG地区、内野上新町バスはA～C地区で利用者がみられる。

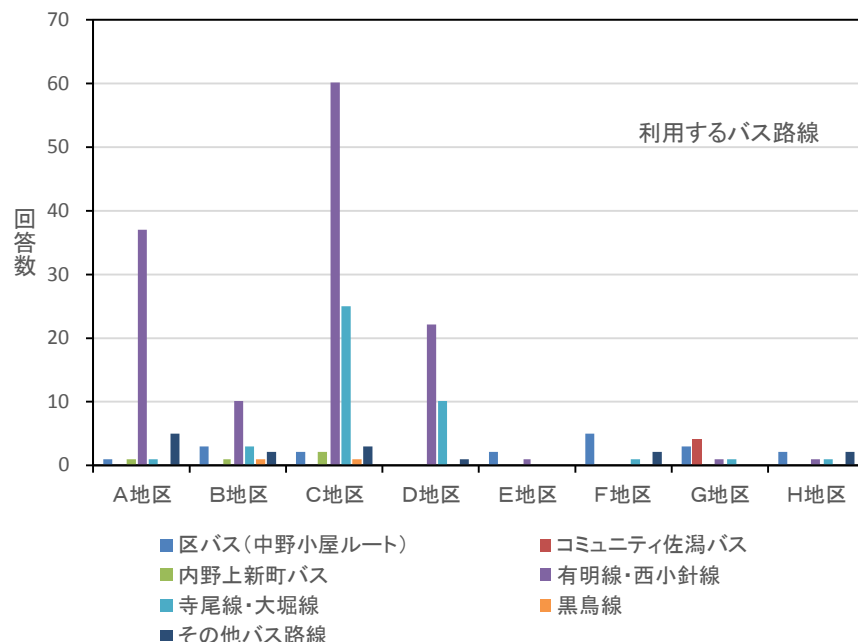


図 2-44 利用するバス路線の回答数の比較

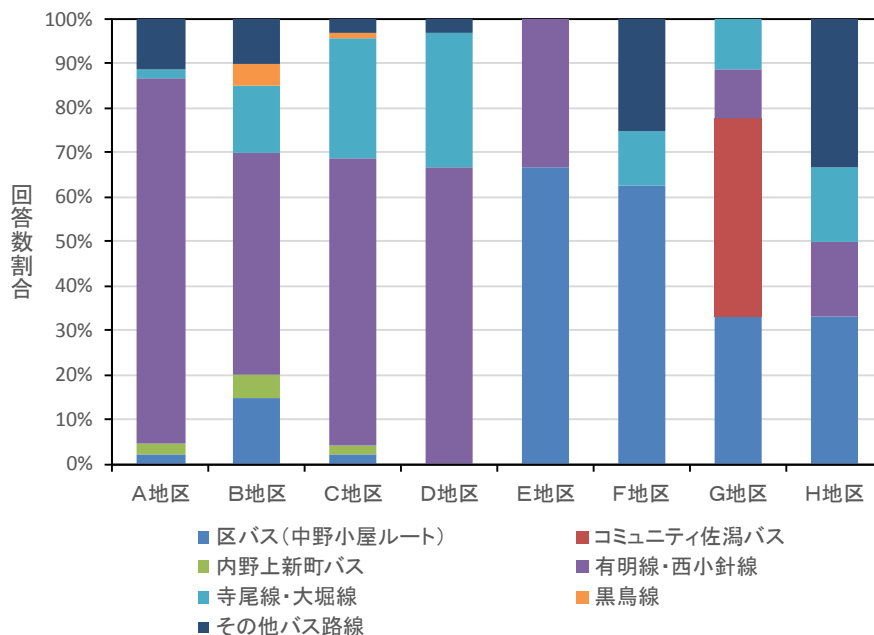


図 2-45 利用するバス路線の割合の比較

5) バス利用の潜在需要

バスを利用しない理由と、理由が解決した場合の利用希望を地区別に整理した。

ア) バスを利用しない理由

- ・ A～D地区は、「運賃が高い」、「時間がかかる」という理由が多い。
- ・ E～H地区は、「バスの本数が少ない」が多い。
- ・ 公共交通の不便なE～G地区をみると、「利用したい時間にバスが来ない」、「目的地に停まらない」という理由も多い。

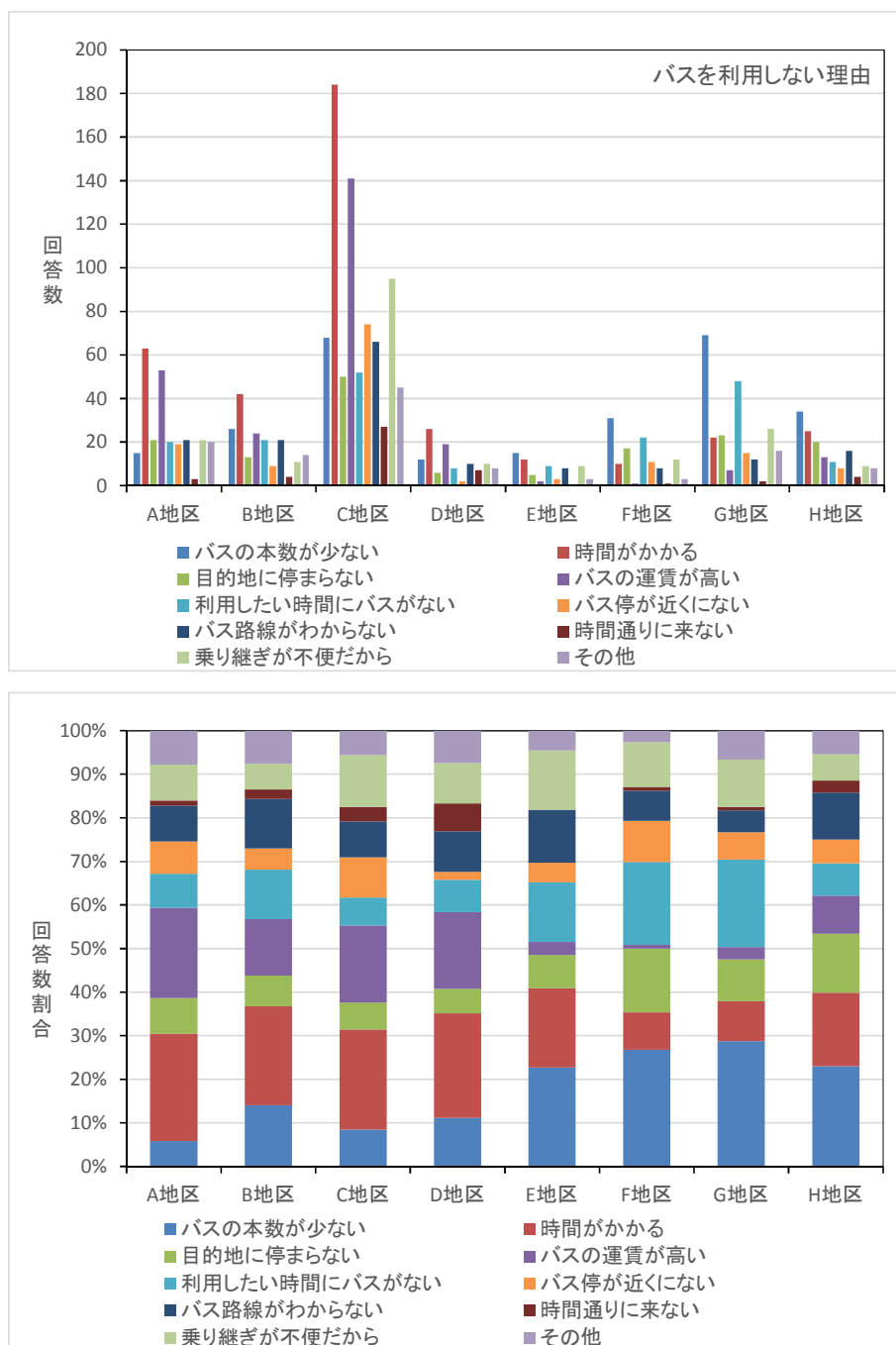


図 2-46 バスを利用しない理由（地区別）

イ) 利用しない理由が解決した場合の利用希望

- ・ A、D、F、G地区で「利用する」という回答が30%を超える。
- ・ E地区は、「利用しない」という回答が最も多く50%を超える。

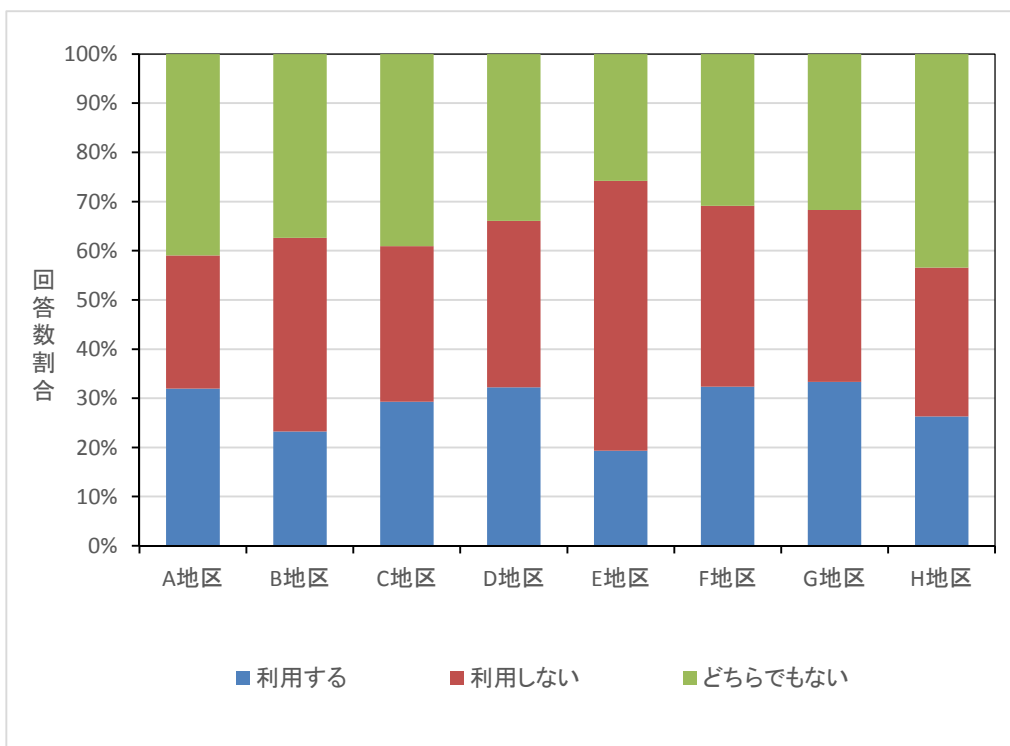
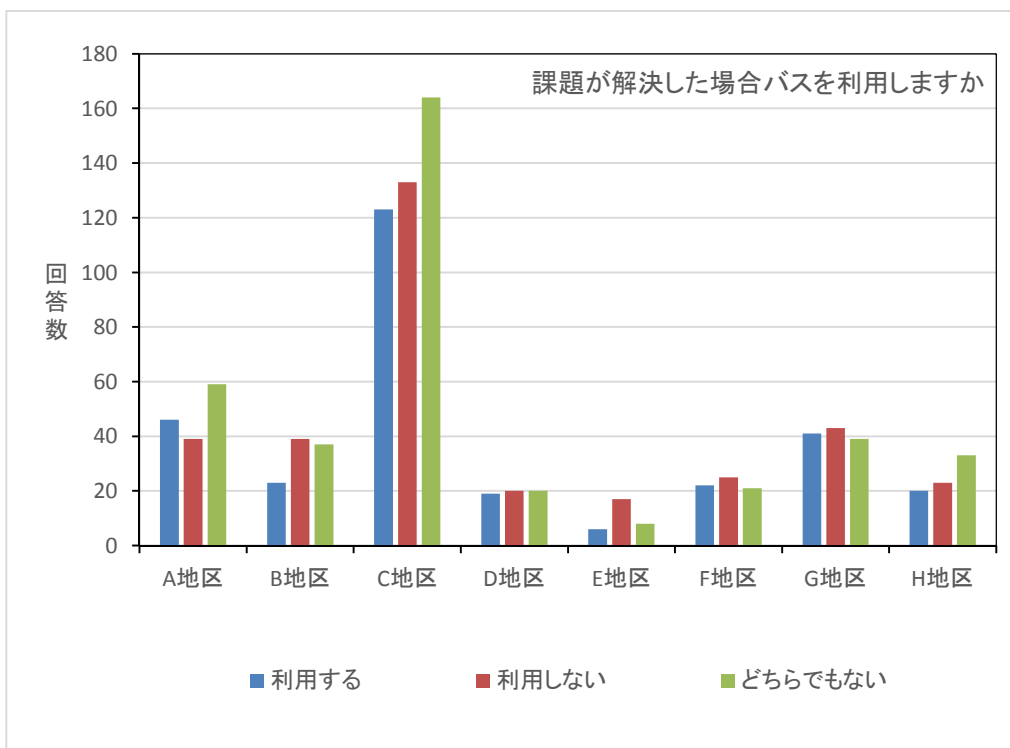


図 2-47 利用しない理由が解決した場合の利用希望（地区別）

6) 希望する運行ルート

各バスのルート見直し案に対するニーズを、沿線地区に絞りこんで整理した。

ア) 区バス（中野小屋ルート）の沿線におけるニーズ

- ・ E地区は内野駅経由で青山まで行くルートの回答が多い。
- ・ F地区は内野駅発着のルートの回答が多い。
- ・ H地区は赤塚駅と内野駅を通る循環ルートの回答が多い。

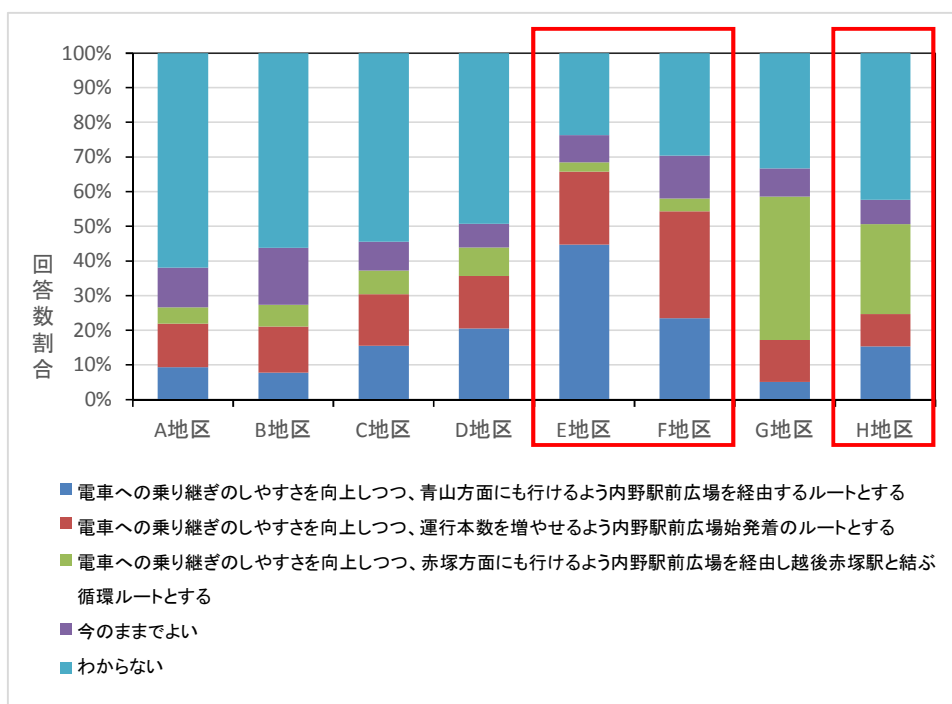
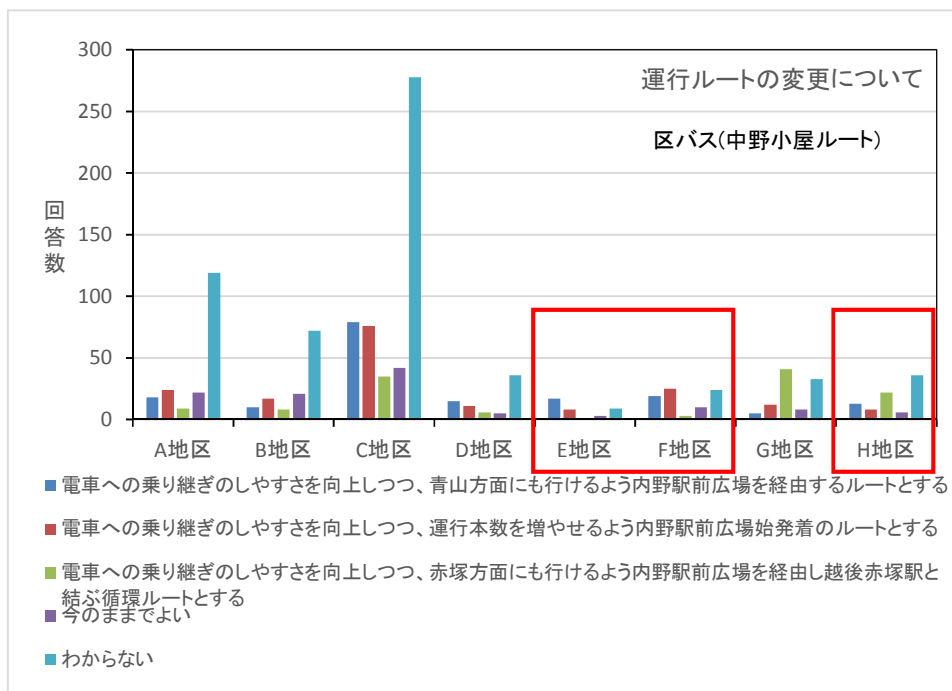
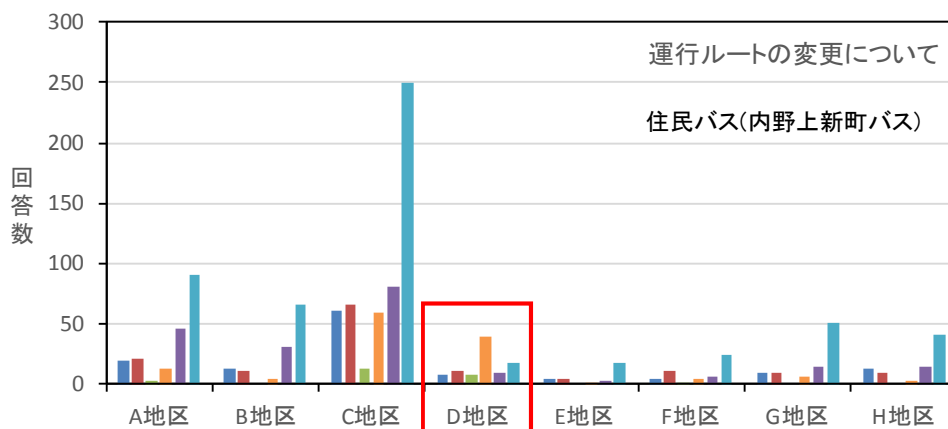


図 2-48 区バス（中野小屋ルート）における運行ルートの要望

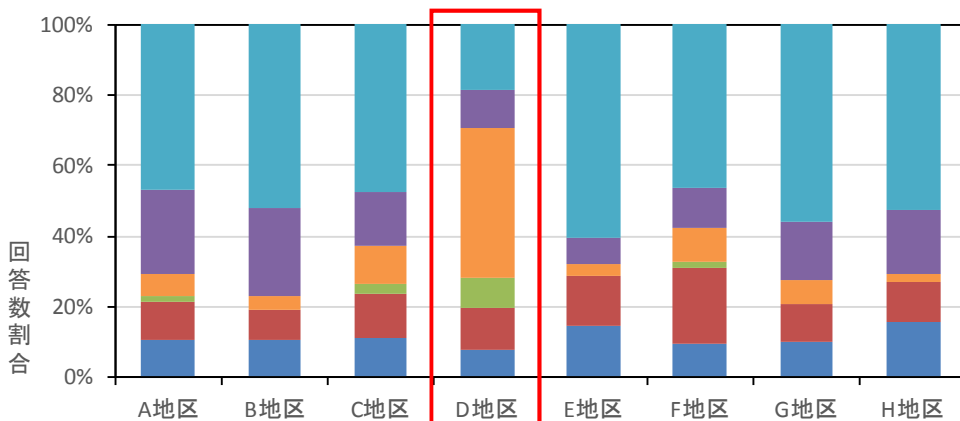
※赤枠はバス路線の沿線地区

イ) 住民バス（内野上新町バス）の沿線におけるニーズ

- ・ D地区は内野営業所発着で中浜団地、上新町公民館前、内野駅前広場経由で青山方面に向かうルートの回答が多い。



- 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、青山方面にも行けるよう内野駅前広場を経由するルートとする
- 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、運行本数を増やせるよう内野駅前広場始発着のルートとする
- 内野営業所を始発着として中浜団地内を経由し、上新町公民館前を通るルートとする
- 内野営業所を始発着として中浜団地内を経由し、上新町公民館前を通りかつ内野駅前広場も経由して青山方面に向かうルートとする
- 今のままでよい
- わからない



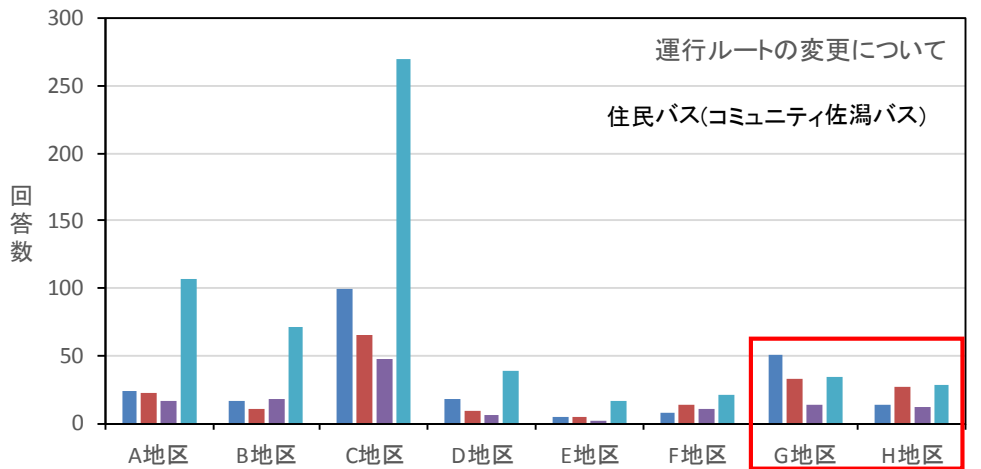
- 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、青山方面にも行けるよう内野駅前広場を経由するルートとする
- 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、運行本数を増やせるよう内野駅前広場始発着のルートとする
- 内野営業所を始発着として中浜団地内を経由し、上新町公民館前を通るルートとする
- 内野営業所を始発着として中浜団地内を経由し、上新町公民館前を通りかつ内野駅前広場も経由して青山方面に向かうルートとする
- 今のままでよい
- わからない

図 2-49 住民バス（内野上新町バス）における運行ルートの要望

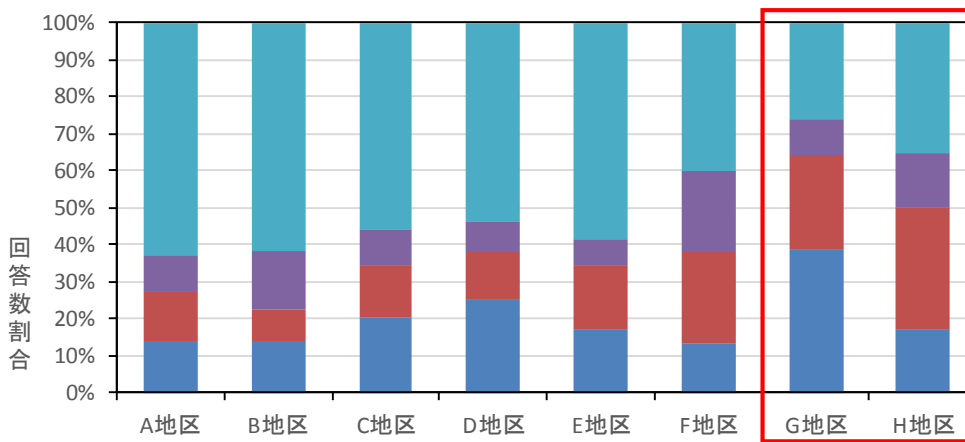
※赤枠はバス路線の沿線地区

ウ) 住民バス（佐潟バス）の沿線におけるニーズ

- ・ G地区は内野駅発着のルートへの回答が多い。
- ・ H地区は内野駅と赤塚駅を通る循環ルートへの回答が多い。



- 電車への乗り継ぎのしやすさ向上等のため、内野駅前広場始発着のルートとする
- 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、中野小屋方面にも行けるよう内野駅前広場を經由し越後赤塚駅と結ぶ循環ルートとする
- 今のままでよい
- わからない



- 電車への乗り継ぎのしやすさ向上等のため、内野駅前広場始発着のルートとする
- 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、中野小屋方面にも行けるよう内野駅前広場を經由し越後赤塚駅と結ぶ循環ルートとする
- 今のままでよい
- わからない

図 2-50 住民バス（佐潟バス）における運行ルートの要望

※赤枠はバス路線の沿線地区

(2) 年齢別のバス利用状況

1) 外出目的別の交通手段

ア) 通勤・通学

- ・ 電車の利用割合は、若い人ほど高く、30歳代以上では約1割程度であるが、70歳以上ではほとんどみられない。
- ・ 19歳以上では、自家用車・バイクの割合が高い。特に30歳代から60歳代で顕著である。
- ・ バス利用は各年齢でみられるが、70歳代以上で特に多い。

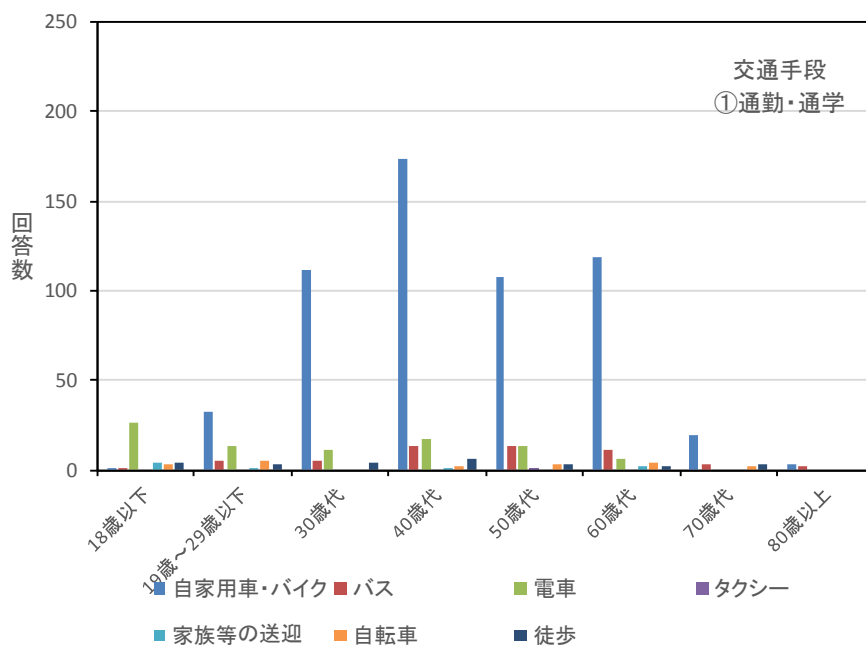


図 2-51 年齢ごとの通勤・通学の交通手段の回答数の比較

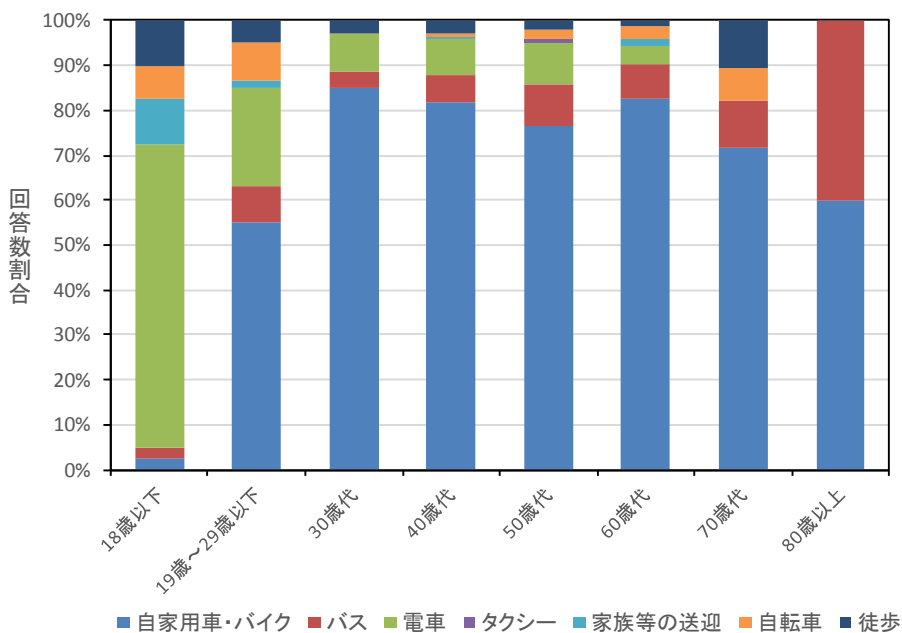


図 2-52 年齢ごとの通勤・通学の交通手段の割合の比較

イ) 買い物

- ・ 買い物についてみると、全体的な傾向は通勤・通学と同じであるが、自家用車・バイクの利用割合はより大きい。
- ・ バスの利用は29歳以下と60歳以上で大きく、特に60歳以上では年齢とともに利用割合が大きくなっている。
- ・ 家族の送迎、自転車、徒歩は30歳代では非常に少ないがそれ以上の年齢では、年齢とともに割合が大きくなっている。

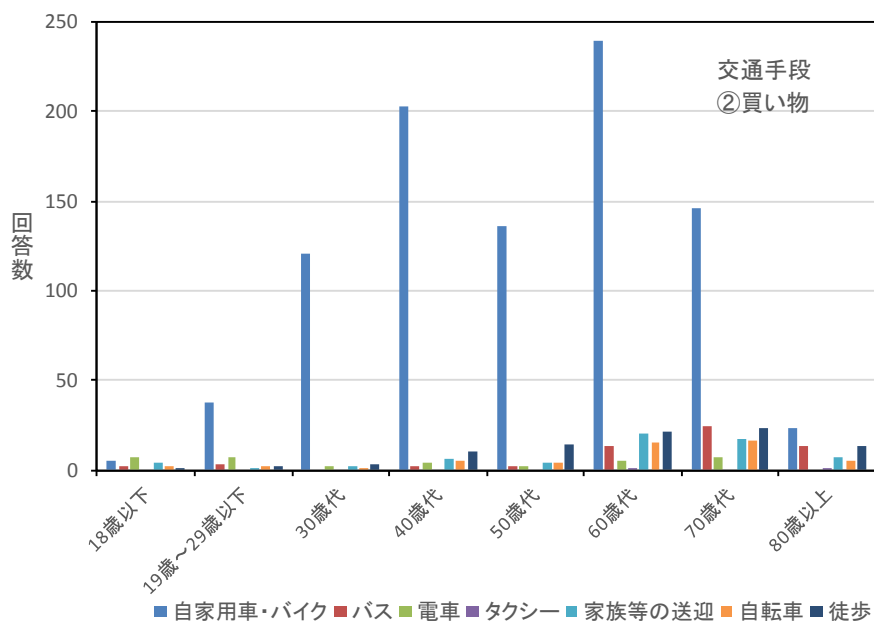


図 2-53 年齢ごとの買い物の交通手段の回答数の比較

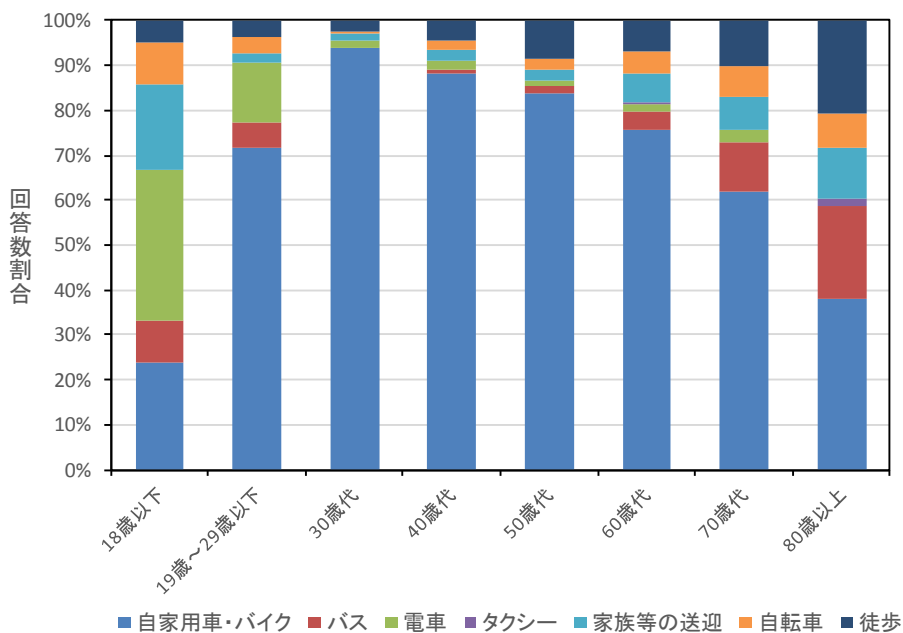


図 2-54 年齢ごとの買い物の交通手段の割合の比較

ウ)通院

- ・ 通院についての傾向は買い物とほぼ同様であるが、19歳以下で家族の送迎が非常に大きいことや70歳代以上ではタクシーの利用が大きくなっているなどの特徴もみられる。

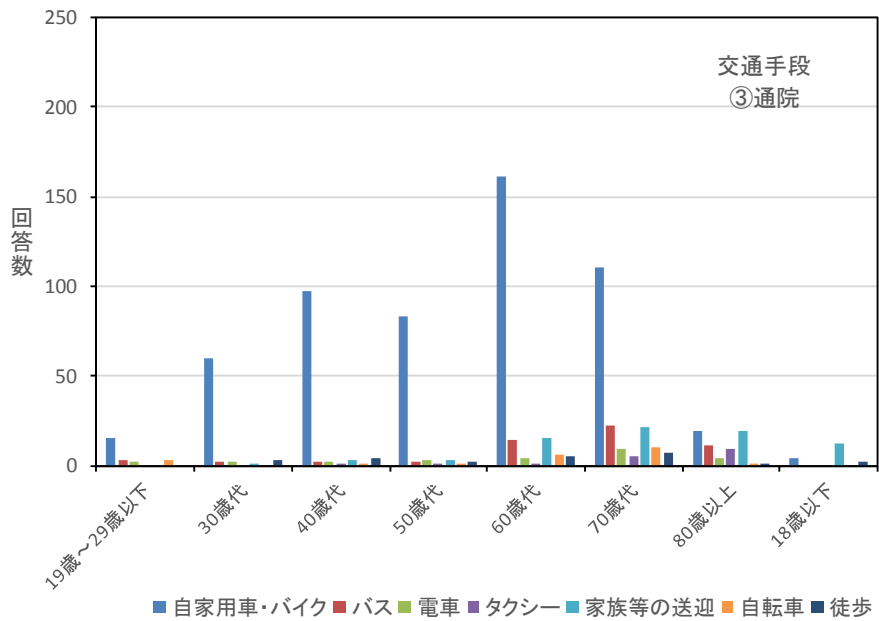


図 2-55 年齢ごとの通院の交通手段の回答数の比較

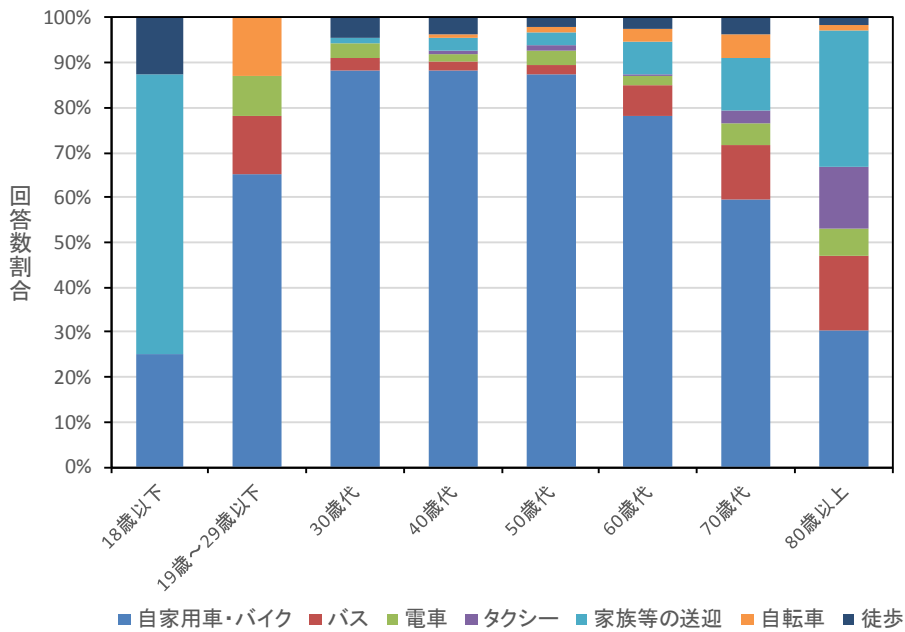


図 2-56 年齢ごとの通院の交通手段の割合の比較

2) バス利用の潜在需要

バスを利用しない理由と、理由が解決した場合の利用希望を地区別に整理した。

ア) バスを利用しない理由

- ・ 18 歳以下は運賃の高さとバスの本数の少なさを理由として挙げている。
- ・ 19 歳～79 歳は、時間がかかることを理由として挙げている。
- ・ 50～60 歳代は他の世代に比べ、乗り継ぎの不便さを挙げている。

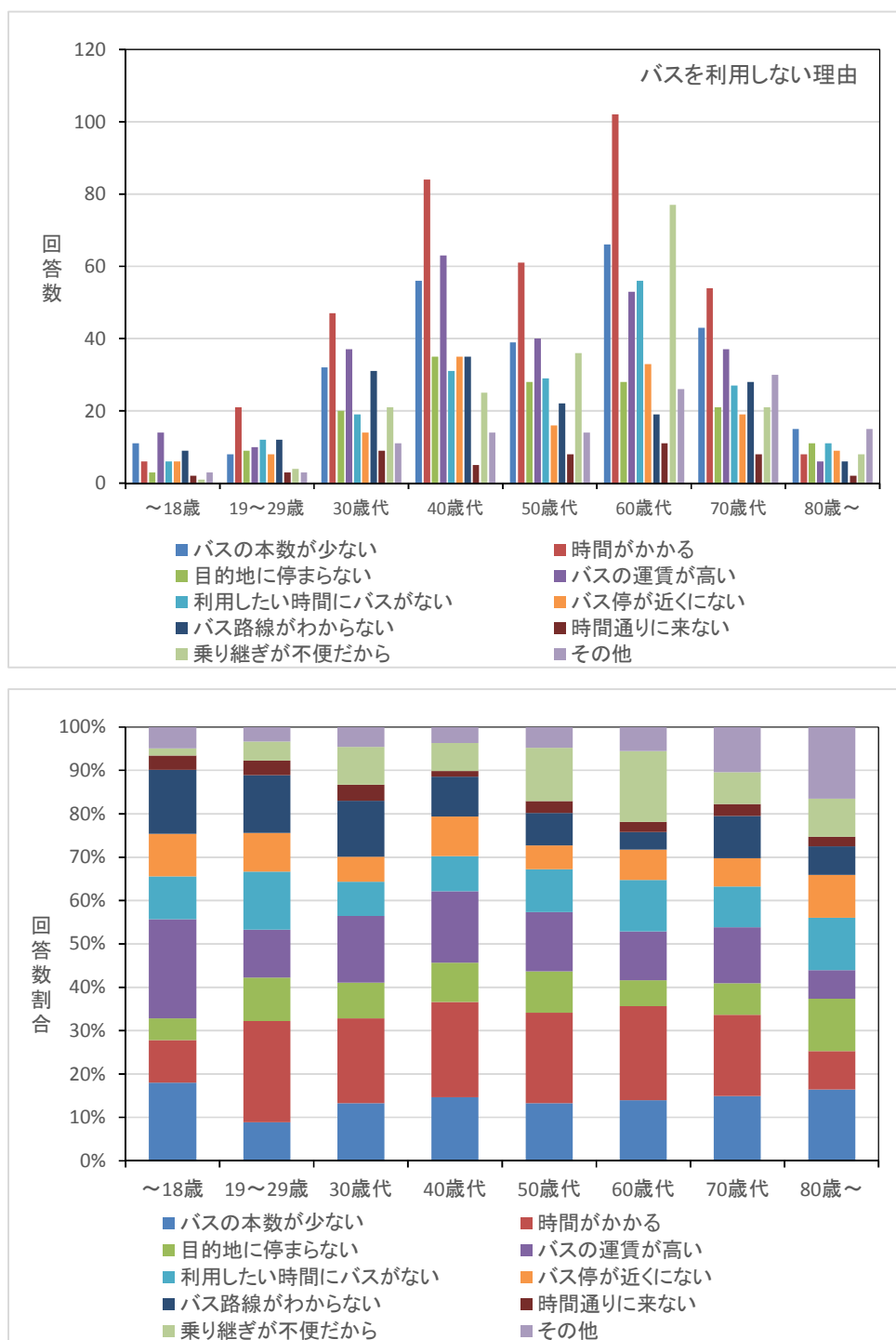


図 2-57 バスを利用しない理由（年齢別）

イ) 利用しない理由が解決した場合の利用希望

- ・ 80歳代は利用すると答えた人が50%を超える。
- ・ 19～39歳は、利用しないと答えた人が多く、40～50%程度みられる。

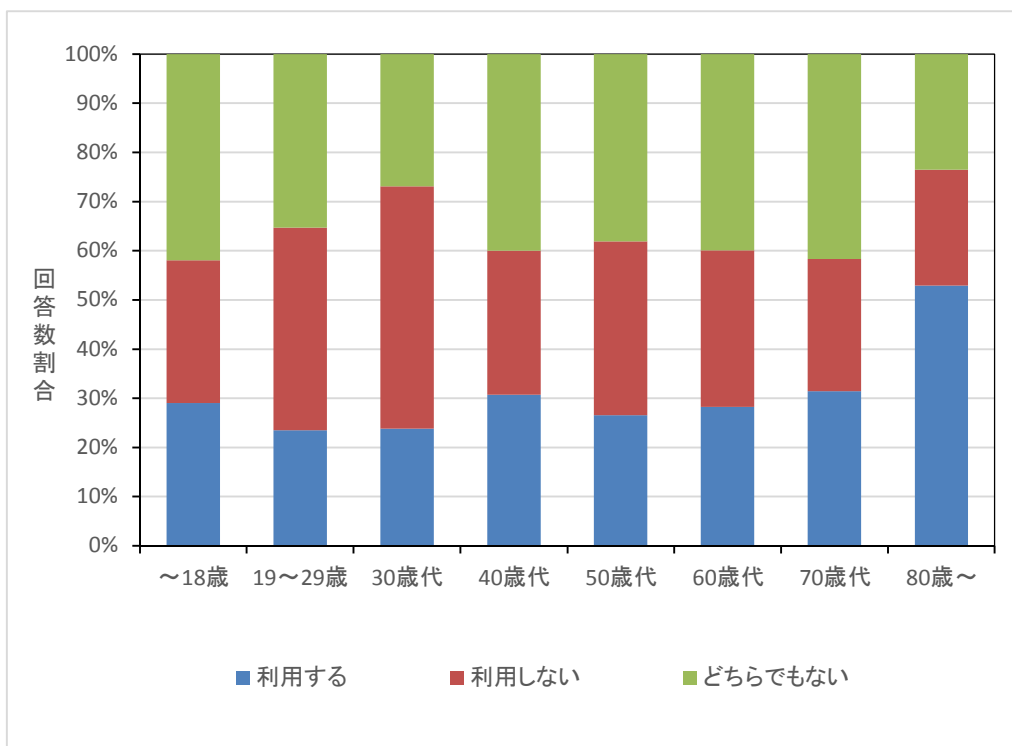
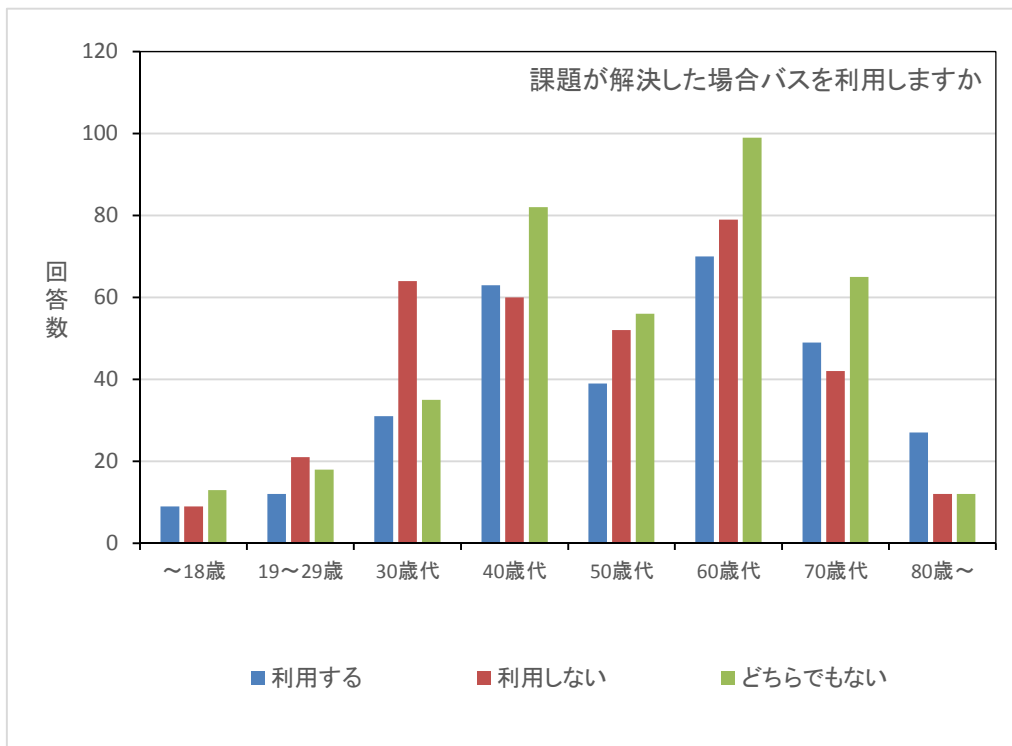


図 2-58 利用しない理由が解決した場合の利用希望（年齢別）

3. 利用者ニーズ調査

3.1. 調査実施について

3.1.1. アンケート調査票

利用者ニーズ調査については、対象バス路線に合わせて3種類のアンケート調査票を用いた。使用したアンケート調査票を区バス（中野小屋ルート）について図 3-1～図 3-3 に、住民バス（コミュニティ佐潟バス）について図 3-4～図 3-6 に、住民バス（内野上新町バス）について図 3-7～図 3-9 に示す。

3.1.2. アンケート調査の実施状況

表 3-1 利用者ニーズ調査のアンケート調査実施状況

対象バス	調査者	想定回収数	回収数	調査日(平日)
区バス(中野小屋ルート)	株式会社グリーニングマ	50 枚	16 枚	1/29(月)、1/30(火)、1/31(水)、2/1(木)、2/2(金)
住民バス(コミュニティ佐潟バス)	コミュニティ佐潟バス運営委員会	100 枚	147 枚	2/19(月)、2/20(火)、2/21(水)、2/22(木)、2/23(金)
住民バス(内野上新町バス)	内野上新町バス運営委員会	50 枚	13 枚	2/7(水)、2/13(火)、2/14(水)、2/15(木)、2/16(金)、2/19(月)

区バス(中野小屋ルート)利用者アンケート調査票

人口減少と少子・超高齢社会が進行する中、西区では「西区生活交通改善プラン」に基づき、持続可能で便利な区バス・住民バスを目指して、本バス利用の皆さまを対象に、アンケート調査を実施することとしました。

お伺いした内容はプライバシーに配慮し、コンピューターで統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。また、回収した調査票及びその情報は本目的以外には使用しません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力くださるようお願い申し上げます。

平成30年1月24日 新潟市西区地域課

ご記入にあたってのお願い

1. 無記名式ですので、氏名を記入する必要はありません。
2. 回答は、**あてはまる数字に○をつける**か、**必要事項のご記入**をお願いします。
3. ご記入後の調査票は、同乗している調査員にご提出ください。
4. 調査内容で不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。
新潟市西区役所地域課企画係 担当:佐藤、堀(電話:025-264-7161 FAX:025-269-1650)

あなた自身についておうかがいします。

質問1 年代を以下から選んでください。

1. 18歳以下 2. 19歳～29歳以下 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代
6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上

質問2 性別を以下から選んでください。

1. 男 2. 女

質問3 職業等を以下から選んでください。

1. 会社員・公務員・団体職員 2. 自営業 3. 小学生以下 4. 中学生 5. 高校生
6. 大学・短大・専門学生 7. 主夫・主婦 8. パート・アルバイト 9. 無職

質問4 お住まいの地区を記入してください。 ※町丁名までご記入ください

例)西区みずき野2丁目、西区内野町
中央区〇〇町、西蒲区〇〇 など

質問4

区

区バス(中野小屋ルート)の利用状況についておうかがいします。

質問5 区バス(中野小屋ルート)をどのくらい利用しますか。以下から選んでください。

1. 週5日 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月1～2回 5. 半年に1～2回 6. 年1～2回
7. その他(具体的に)

質問6 区バス(中野小屋ルート)の主な利用目的を以下から選んでください。

1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. その他(具体的に)

図 3-1 区バス(中野小屋ルート)を対象としたアンケート調査票 1/2

質問7 区バス(中野小屋ルート)を利用するときに、よく乗車するバス停名、降車するバス停名、目的地をご記入ください。また、乗車するバス停までの移動手段・所要時間をご記入ください。
 ※目的地は、具体的な店名や所在地の町名などをご記入ください。

例)	乗車バス停	赤塚駅前	質問7	乗車バス停	
	降車バス停	信楽園病院		降車バス停	
	目的地	信楽園病院		目的地	
	移動手段	徒歩		移動手段	
	所要時間	5分		所要時間	

区バス(中野小屋ルート)の今後についておうかがいします。

質問8 区バス(中野小屋ルート)について、今後どのような改善がされれば、より利用しやすくなると思いますか。あてはまるもの2つを以下から選び、具体的な内容があればご記入ください。

1. 時間設定 2. 増便 3. 運行ルート 4. 乗降のしやすさ 5. 乗り継ぎのしやすさ 6. 運賃の改善

具体的な内容

質問9 区バス(中野小屋ルート)の利用者増、利便性向上を図るため、運行ルートを変更する場合、どのようなルートなら利用したいと思いますか。最もあなたの希望に近いもの1つを選んでください。また、その具体的な理由があればご記入ください。(別紙バス路線変更案図参照)
 ※運行距離が増加するため、運賃の増額や所要時間の増加が想定されます。

1. 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、青山方面にも行けるよう内野駅前広場を経由するルートとする
2. 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、運行本数を増やせるよう内野駅前広場始発着のルートとする
3. 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、赤塚方面にも行けるよう内野駅前広場を経由し越後赤塚駅と結ぶ循環ルートとする
4. 今のままでよい
5. わからない

質問9	具体的な理由
-----	--------

区バス(中野小屋ルート)に関するご意見・ご要望についておうかがいします。

質問10 区バス(中野小屋ルート)に関してご意見、ご要望があれば、具体的にご記入ください。

質問10	
------	--

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
 アンケート調査の結果は、今後の区内の区バス・住民バスの検討に活用させていただきます。

図 3-2 区バス(中野小屋ルート)を対象としたアンケート調査票 2/2

(質問9) バス路線変更案図

別紙

区バス(中野小屋ルート)

種別	路線名
	区バス 中野小屋ルート
	住民バス コミュニティ佐潟バス



本路線図は、新潟交通株式会社バス路線図西新潟方面(平成29年3月)及び測量法第29条に基づく承認「平27情複、第620号」を得て、国土地理院発行の数値地図50000(地図画像)を複製し一部転載したものを使用しています。

図 3-3 区バス(中野小屋ルート)を対象としたアンケート調査票 別紙

住民バス(コミュニティ佐潟バス)利用者アンケート調査票

人口減少と少子・超高齢社会が進行する中、西区では「西区生活交通改善プラン」に基づき、持続可能で便利な区バス・住民バスを目指して、本バス利用の皆さまを対象に、アンケート調査を実施することとしました。

お伺いした内容はプライバシーに配慮し、コンピューターで統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。また、回収した調査票及びその情報は本目的以外には使用しません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力くださるようお願い申し上げます。

平成30年1月24日 新潟市西区地域課
協力 コミュニティ佐潟バス運営委員会

ご記入にあたってのお願い

1. 無記名式ですので、氏名を記入する必要はありません。
2. 回答は、**あてはまる数字に○をつける**か、**必要事項のご記入**をお願いします。
3. ご記入後の調査票は、同乗している調査員にご提出ください。
4. 調査内容で不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。
新潟市西区役所地域課企画係 担当：佐藤、堀(電話：025-264-7161 FAX:025-269-1650)

あなた自身についておうかがいします。

質問1 年代を以下から選んでください。

1. 18歳以下
2. 19歳～29歳以下
3. 30歳代
4. 40歳代
5. 50歳代
6. 60歳代
7. 70歳代
8. 80歳以上

質問2 性別を以下から選んでください。

1. 男
2. 女

質問3 職業等を以下から選んでください。

1. 会社員・公務員・団体職員
2. 自営業
3. 小学生以下
4. 中学生
5. 高校生
6. 大学・短大・専門学生
7. 主夫・主婦
8. パート・アルバイト
9. 無職

質問4 お住まいの地区を記入してください。 ※町丁名までご記入ください

例)西区みずき野2丁目、区内野町
西蒲区〇〇 など

質問4

区

住民バス(コミュニティ佐潟バス)の利用状況についておうかがいします。

質問5 住民バス(コミュニティ佐潟バス)をどのくらい利用しますか。以下から選んでください。

1. 週5日
2. 週3～4日
3. 週1～2日
4. 月1～2回
5. 半年に1～2回
6. 年1～2回
7. その他(具体的に)

質問6 住民バス(コミュニティ佐潟バス)の主な利用目的を以下から選んでください。

1. 通勤
2. 通学
3. 買い物
4. 通院
5. その他(具体的に)

図 3-4 住民バス(コミュニティ佐潟バス)を対象としたアンケート調査票 1/2

質問7 住民バス(コミュニティ佐潟バス)を利用するときに、よく乗車するバス停名、降車するバス停名、目的地をご記入ください。また、乗車するバス停までの移動手段・所要時間をご記入ください。
 ※目的地は、具体的な店名や所在地の町名などをご記入ください。

例)	乗車バス停	赤塚駅前	質問7	乗車バス停	
	降車バス停	赤塚連絡所前		降車バス停	
	目的地	赤塚中学校		目的地	
	移動手段	徒歩		移動手段	
	所要時間	5分		所要時間	

住民バス(コミュニティ佐潟バス)の今後についておうかがいします。

質問8 住民バス(コミュニティ佐潟バス)について、今後どのような改善がされれば、より利用しやすくなると思いますか。あてはまるもの2つを以下から選び、具体的な内容があればご記入ください。

1. 時間設定 2. 増便 3. 運行ルート 4. 乗降のしやすさ 5. 乗り継ぎのしやすさ 6. 運賃の改善

具体的な内容

質問9 住民バス(コミュニティ佐潟バス)の利用者増、利便性向上を図るため、運行ルートを変更する場合、どのようなルートなら利用したいと思いますか。最もあなたの希望に近いもの1つを選んでください。また、その具体的な理由があればご記入ください。(別紙バス路線変更案図参照)

※運行距離が増加するため、運賃の増額や所要時間の増加が想定されます。

1. 電車への乗り継ぎのしやすさ向上等のため、内野駅前広場始発着のルートとする
2. 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、中野小屋方面にも行けるよう内野駅前広場を経由し越後赤塚駅と結ぶ循環ルートとする
3. 今のままでよい
4. わからない

質問9 具体的な理由

住民バス(コミュニティ佐潟バス)に関するご意見・ご要望についておうかがいします。

質問10 住民バス(コミュニティ佐潟バス)に関してご意見、ご要望があれば、具体的にご記入ください。

質問10

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
 アンケート調査の結果は、今後の区内の区バス・住民バスの検討に活用させていただきます。

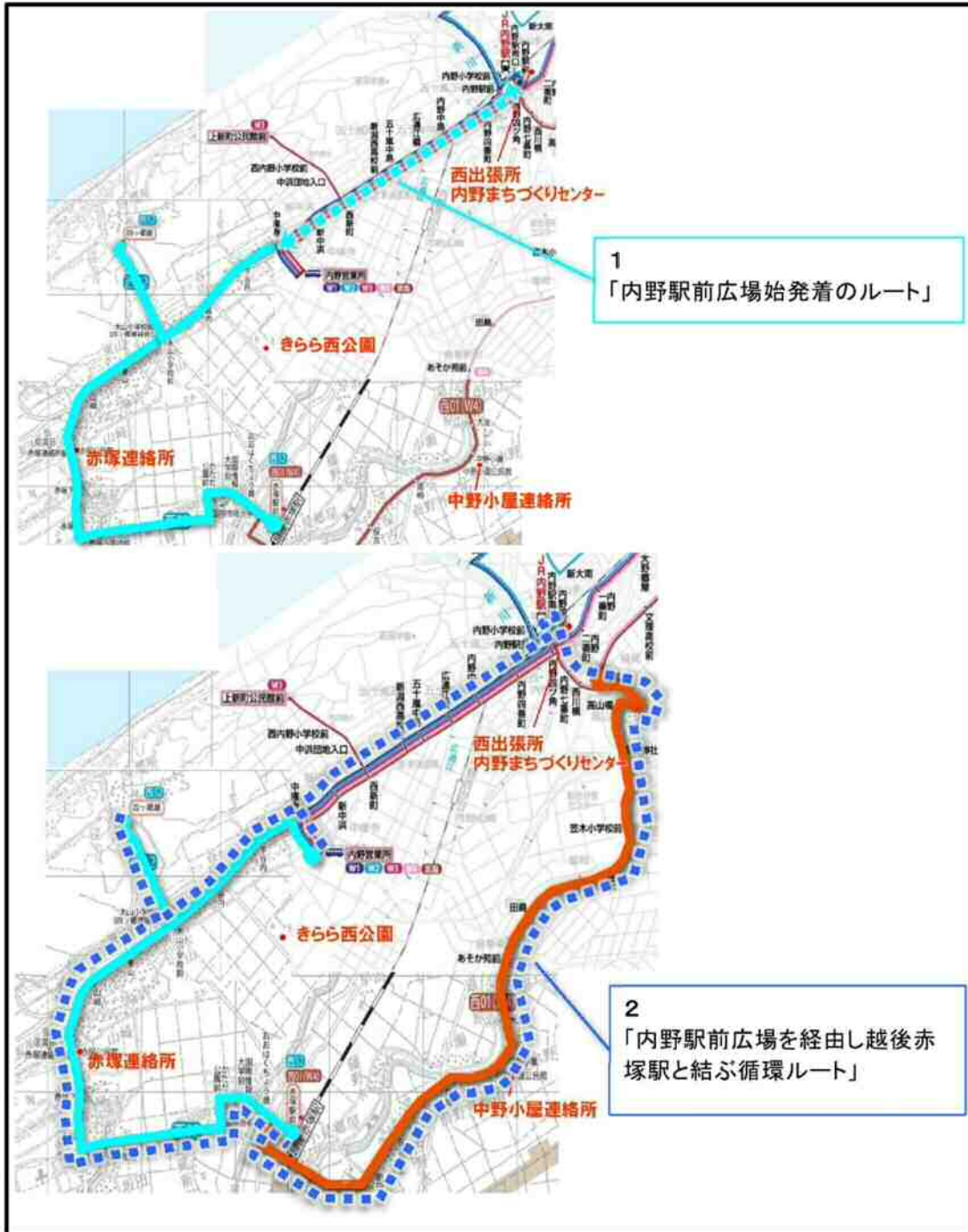
図 3-5 住民バス(コミュニティ佐潟バス)を対象としたアンケート調査票 2/2

(質問9) バス路線変更案図

別紙

住民バス (コミュニティ佐潟バス)

種別	路線名
	住民バス
	コミュニティ佐潟バス



本路線図は、新潟交通株式会社のバス路線図西新潟方面(平成29年3月)及び測量法第29条に基づく承認「平27情複、第620号」を得て、国土地理院発行の数値地図50000(地図画像)を複製し一部転載したものを使用しています。

図 3-6 住民バス (コミュニティ佐潟バス) を対象としたアンケート調査票 別紙

住民バス(内野上新町バス)利用者アンケート調査票

人口減少と少子・超高齢社会が進行する中、西区では「西区生活交通改善プラン」に基づき、持続可能で便利な区バス・住民バスを目指して、本バス利用の皆さまを対象に、アンケート調査を実施することとしました。

お伺いした内容はプライバシーに配慮し、コンピューターで統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。また、回収した調査票及びその情報は本目的以外には使用しません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力くださるようお願い申し上げます。

平成30年1月24日 新潟市西区地域課
協力 西内野コミ協・内野上新町バス運営委員会

ご記入にあたってのお願い

1. 無記名式ですので、氏名を記入する必要はありません。
2. 回答は、**あてはまる数字に○をつける**か、**必要事項のご記入**をお願いします。
3. ご記入後の調査票は、同乗している調査員にご提出ください。
4. 調査内容で不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。
新潟市西区役所地域課企画係 担当:佐藤、堀(電話:025-264-7161 FAX:025-269-1650)

あなた自身についておうかがいします。

質問1 年代を以下から選んでください。

1. 18歳以下 2. 19歳～29歳以下 3. 30歳代 4. 40歳代 5. 50歳代
6. 60歳代 7. 70歳代 8. 80歳以上

質問2 性別を以下から選んでください。

1. 男 2. 女

質問3 職業等を以下から選んでください。

1. 会社員・公務員・団体職員 2. 自営業 3. 小学生以下 4. 中学生 5. 高校生
6. 大学・短大・専門学生 7. 主夫・主婦 8. パート・アルバイト 9. 無職

質問4 お住まいの地区を記入してください。 ※町丁名までご記入ください

例)西区内野上新町、西区内野町

質問4

区

住民バス(内野上新町バス)の利用状況についておうかがいします。

質問5 住民バス(内野上新町バス)をどのくらい利用しますか。以下から選んでください。

1. 週5日 2. 週3～4日 3. 週1～2日 4. 月1～2回 5. 半年に1～2回 6. 年1～2回
7. その他(具体的に)

質問6 住民バス(内野上新町バス)の主な利用目的を以下から選んでください。

1. 通勤 2. 通学 3. 買い物 4. 通院 5. その他(具体的に)

図 3-7 住民バス(内野上新町バス)を対象としたアンケート調査票 1/2

質問7 住民バス(内野上新町バス)を利用するとき、よく乗車するバス停名、降車するバス停名、目的地をご記入ください。また、乗車するバス停までの移動手段・所要時間をご記入ください。
 ※目的地は、具体的な店名や所在地の町名などをご記入ください。

例)	乗車バス停	上新町公民館前	質問7	乗車バス停	
	降車バス停	内野四ツ角		降車バス停	
	目的地	JR内野駅から新潟方面		目的地	
	移動手段	徒歩		移動手段	
	所要時間	5分		所要時間	

住民バス(内野上新町バス)の今後についておうかがいします。

質問8 住民バス(内野上新町バス)について、今後どのような改善がされれば、より利用しやすくなると思いますか。あてはまるもの2つを以下から選び、具体的な内容があればご記入ください。

1. 時間設定 2. 増便 3. 運行ルート 4. 乗降のしやすさ 5. 乗り継ぎのしやすさ 6. 運賃の改善

具体的な内容

質問9 住民バス(内野上新町バス)の利用者増、利便性向上を図るため、運行ルートを変更する場合、どのようなルートなら利用したいと思いますか。最もあなたの希望に近いもの1つを選んでください。また、その具体的な理由があればご記入ください。(別紙バス路線変更案図参照)

※運行距離が増加するため、運賃の増額や所要時間の増加が想定されます。

1. 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、青山方面にも行けるよう内野駅前広場を経由するルートとする
2. 電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、運行本数を増やせるよう内野駅前広場始発着のルートとする
3. 内野営業所を始発着として中浜団地内を経由し、上新町公民館前を通るルートとする
4. 内野営業所を始発着として中浜団地内を経由し、上新町公民館前を通りかつ内野駅前広場も経由して青山方面に向かうルートとする
5. 今のままでよい
6. わからない

質問9 具体的な理由

住民バス(内野上新町バス)に関するご意見・ご要望についておうかがいします。

質問10 住民バス(内野上新町バス)に関してご意見、ご要望があれば、具体的にご記入ください。

質問10

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。
 アンケート調査の結果は、今後の区内の区バス・住民バスの検討に活用させていただきます。

図 3-8 住民バス(内野上新町バス)を対象としたアンケート調査票 2/2

(質問9) バス路線変更案図

別紙

住民バス (内野上新町バス)

種別	路線名
	住民バス 内野上新町バス



本路線図は、新潟交通株式会社のバス路線図西新潟方面(平成29年3月)及び測量法第29条に基づく承認「平27情複、第620号」を得て、国土地理院発行の数値地図50000(地図画像)を複製し一部転載したものを使用しています。

図 3-9 住民バス (内野上新町バス) を対象としたアンケート調査票 別紙

3.2. 調査結果

3.2.1. 単純集計結果

(1) 回答者の属性

1) 年齢

- ・ アンケート調査回答者の年齢構成は区バス（中野小屋ルート）では60歳代と70歳代が計10人と多い。
- ・ 住民バス（コミュニティ佐潟バス）は18歳以下の小学生と中学学生の割合が圧倒的に多く、割合としてはわずかであるが、40歳代も9人含まれている。
- ・ 住民バス（内野上新町バス）は、佐潟バスと同じような傾向で60歳台以上の占める割合が高い。

表 3-2 アンケート回答者の年齢構成

年齢	回答者数(人)			回答数の割合(%)		
	中野小屋	佐潟バス	上新町バス	中野小屋	佐潟バス	上新町バス
18歳以下	2	126	4	12.5	86.3	30.8
19～29歳以下	2	1	0	12.5	0.7	0.0
30歳代	0	2	1	0.0	1.4	7.7
40歳代	1	9	0	6.3	6.2	0.0
50歳代	1	3	0	6.3	2.1	0.0
60歳代	6	4	3	37.5	2.7	23.1
70歳代	4	1	4	25.0	0.7	30.8
80歳以上	0	0	1	0.0	0.0	7.7
合計	16	146	13	100	100	100

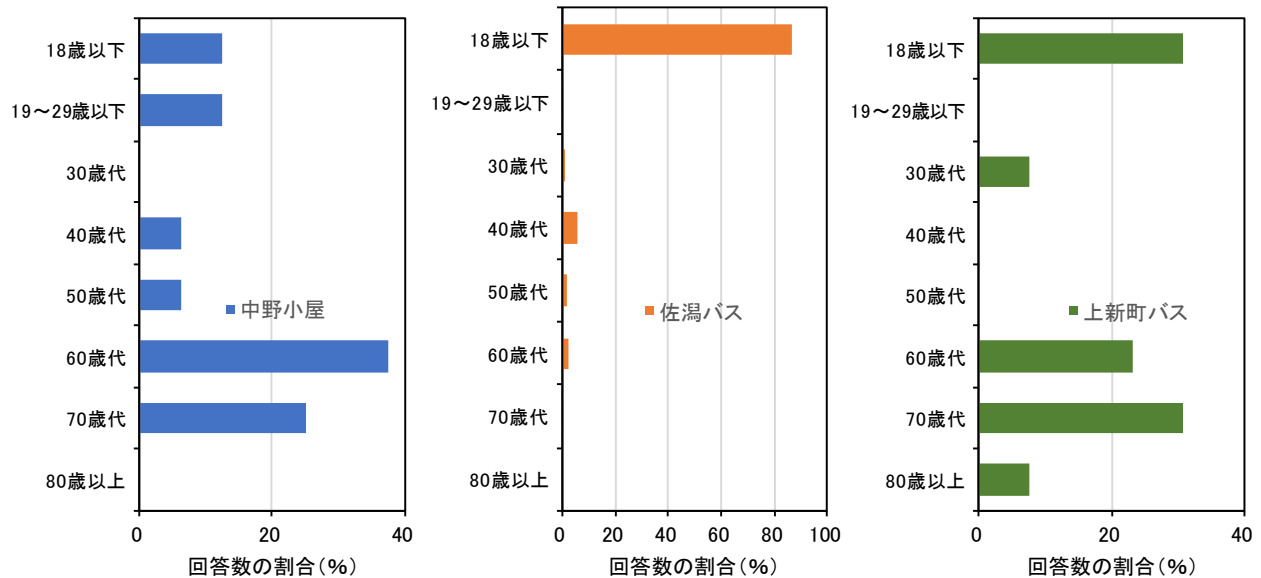


図 3-10 年齢構成

2) 性別

- ・ 3つの路線ともに、アンケート回答者は女性の割合が高かった。とくに区バス（中野小屋ルート）では2倍以上が女性である。

表 3-3 アンケート回答者の性別

性別	回答者数(人)			回答数の割合(%)		
	中野小屋	佐潟バス	上新町バス	中野小屋	佐潟バス	上新町バス
男性	5	53	5	31.3	36.8	41.7
女性	11	91	7	68.8	63.2	58.3
合計	16	144	12	100	100	100

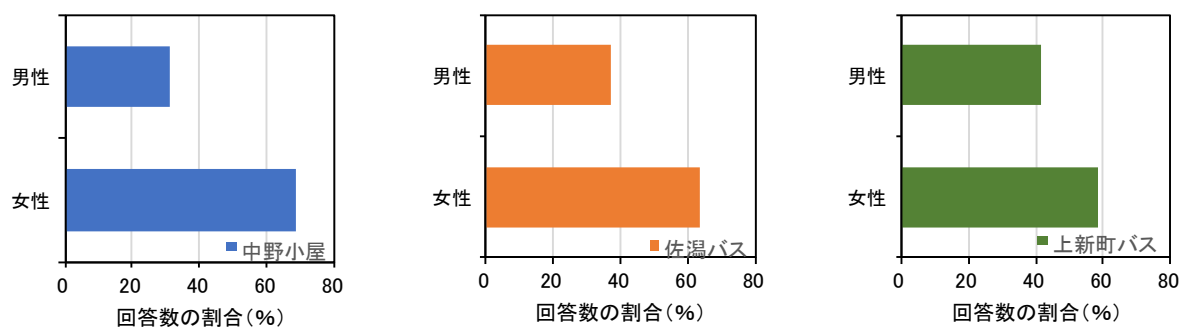


図 3-11 性別

3) 職業等

- ・ 区バス（中野小屋ルート）と住民バス（内野上新町バス）では無職と主夫・主婦の割合が非常に高い。但し、上新町バスでは中学生の回答もあるが、中野小屋では大学生・短大・専門学校1人の回答があったのみである。
- ・ 住民バス（コミュニティ佐潟バス）は小学生と中学生が中心であり、これを除くと他の2路線同様に無職が多いが、パート・アルバイトや会社員・公務員・団体職員、自営業の方の回答がみられる点で他の2路線とはやや異なっている。

表 3-4 アンケート回答者の職業

職業	回答者数(人)			回答数の割合(%)		
	中野小屋	佐潟バス	上新町バス	中野小屋	佐潟バス	上新町バス
会社員・公務員・団体職員	1	5	0	6.3	3.4	0.0
自営業	0	2	0	0.0	1.4	0.0
小学生以下	0	57	0	0.0	39.0	0.0
中学生	0	65	3	0.0	44.5	25.0
高校生	2	2	0	12.5	1.4	0.0
大学・短大・専門学生	1	1	0	6.3	0.7	0.0
主夫・主婦	5	2	5	31.3	1.4	41.7
パート・アルバイト	0	5	0	0.0	3.4	0.0
無職	7	7	4	43.8	4.8	33.3
合計	16	146	12	100	100	100

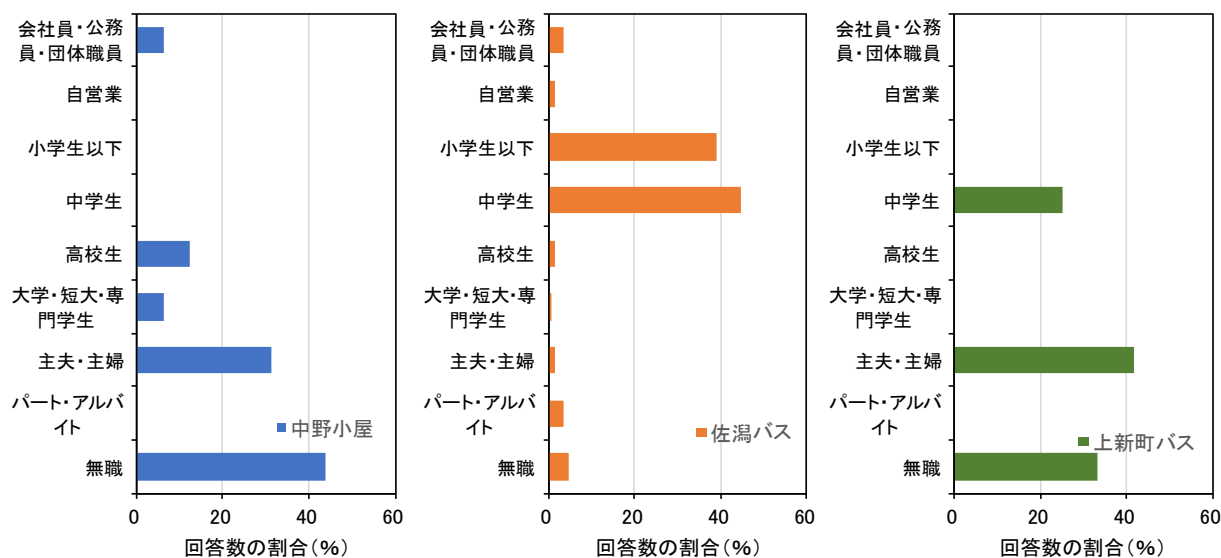


図 3-12 職業

4) 回答者の住居地

- ・ 区バス（中野小屋ルート）では、中野小屋や笠木などもみられたが、全体的にばらついている。
- ・ 住民バス（コミュニティ佐潟バス）は西区みずき野 1、2 丁目、4～6 丁目が多い。回答者の多くが小学生と中学生であり、通学区となっているためであると考えられる。このほかでは四ツ郷屋や赤塚がやや多い。
- ・ 住民バス（内野上新町バス）は新中浜と内野上新町が多い。

表 3-5 アンケート回答者の住居地

住居地	中野小屋		住居地	佐潟バス		住居地	上新町バス	
	回答者数 (人)	回答数の 割合(%)		回答者数 (人)	回答数の 割合(%)		回答者数 (人)	回答数の 割合(%)
西区みずき野	2	12.5	西区みずき野1丁目	32	21.9	西区新中浜	5	45.5
西区中野小屋	2	12.5	西区みずき野2丁目	26	17.8	西区内野上新町	4	36.4
西区笠木	2	12.5	西区みずき野4丁目	23	15.8	西区五十嵐中島	1	9.1
西区田島	1	6.3	西区みずき野5丁目	18	12.3	西区内野西が丘	1	9.1
西区保古野木	1	6.3	西区みずき野6丁目	16	11.0			
西区曾和	1	6.3	西区四ツ郷屋	12	8.2			
西区五十嵐2の町	1	6.3	西区赤塚	7	4.8			
西区赤塚	1	6.3	西区みずき野	4	2.7			
西区小見郷屋	1	6.3	西区新中浜	2	1.4			
西区黒崎	1	6.3	西区みずき野東	2	1.4			
西区大友	1	6.3	西区神山	1	0.7			
西区600一子	1	6.3	西区東山	1	0.7			
中央区白山浦	1	6.3	西区みずき野3丁目	1	0.7			
			西区山崎	1	0.7			
合計	16	100	合計	146	100	合計	11	100

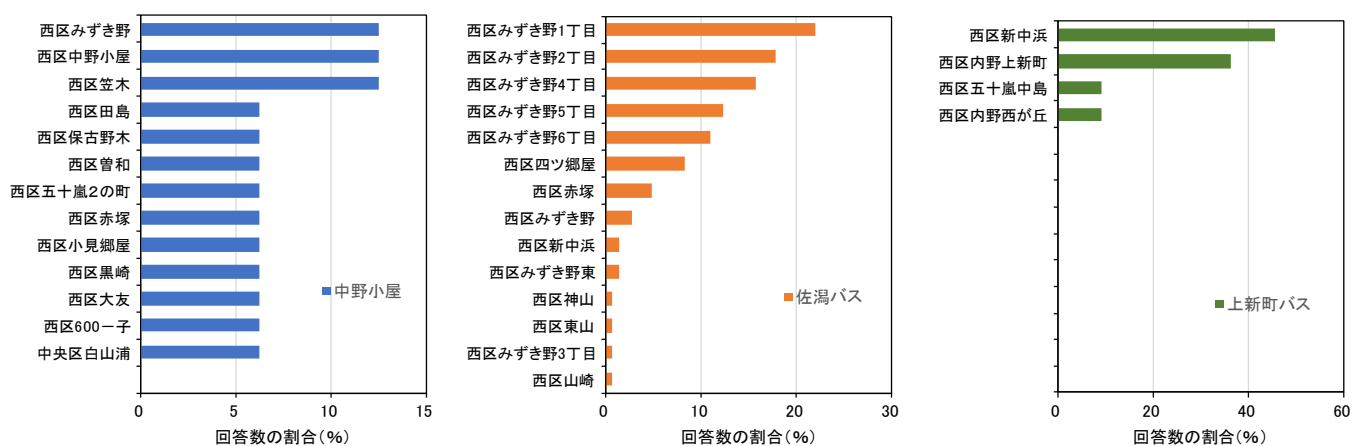


図 3-13 住居地

(2) 利用頻度

- ・ 区バス（中野小屋ルート）では、週 1～2 日と半年に 1～2 日の頻度が最も高く、週 3 日以上利用すると回答した人は 2 人と少ない。全体的に利用頻度の低い回答者が多い。
- ・ 住民バス（コミュニティ佐潟バス）は週 5 日など利用頻度の高い利用者の割合が非常に高い。
- ・ 住民バス（内野上新町バス）は週 1～2 日の利用頻度と回答した人が多いが、週 5 日との回答もあり、中野小屋ルートに比べるとやや利用頻度は高い。

表 3-6 区バス及び住民バスの利用頻度

利用頻度	回答者数(人)			回答数の割合(%)		
	中野小屋	佐潟バス	上新町バス	中野小屋	佐潟バス	上新町バス
週5日	1	41	2	5.9	27.5	15.4
週3～4日	1	23	1	5.9	15.4	7.7
週1～2日	5	22	4	29.4	14.8	30.8
月1～2回	2	25	3	11.8	16.8	23.1
半年に1～2回	5	6	1	29.4	4.0	7.7
年1～2回	2	9	0	11.8	6.0	0.0
その他	1	23	2	5.9	15.4	15.4
合計	17	149	13	100	100	100

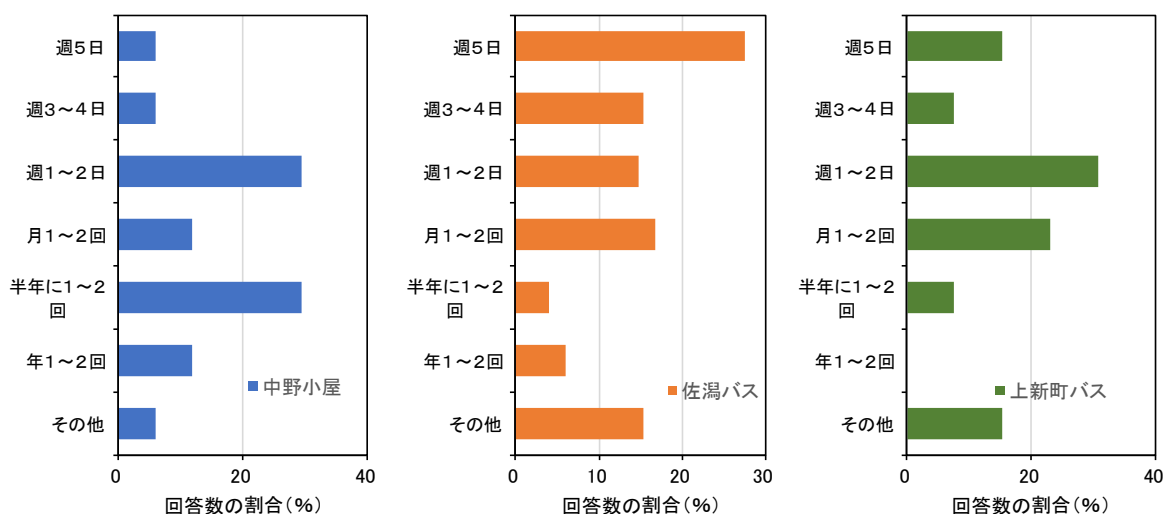


図 3-14 利用頻度

(3) 利用目的

- ・ 区バス（中野小屋ルート）と住民バス（内野上新町バス）の利用目的の傾向は類似しており、通院が最も多く、次いで買い物、通学、通勤の順である。
- ・ 住民バス（コミュニティ佐潟バス）は通学が133人、割合では89%と大半を占めている。他の2路線で多い通院は3人と少ない。

表 3-7 区バス及び住民バスの利用目的

利用目的	回答者数(人)			回答数の割合(%)		
	中野小屋	佐潟バス	上新町バス	中野小屋	佐潟バス	上新町バス
通勤	1	3	1	5.3	2.0	6.7
通学	2	133	3	10.5	89.3	20.0
買い物	6	5	3	31.6	3.4	20.0
通院	8	3	5	42.1	2.0	33.3
その他	2	5	3	10.5	3.4	20.0
合計	19	149	15	100	100	100

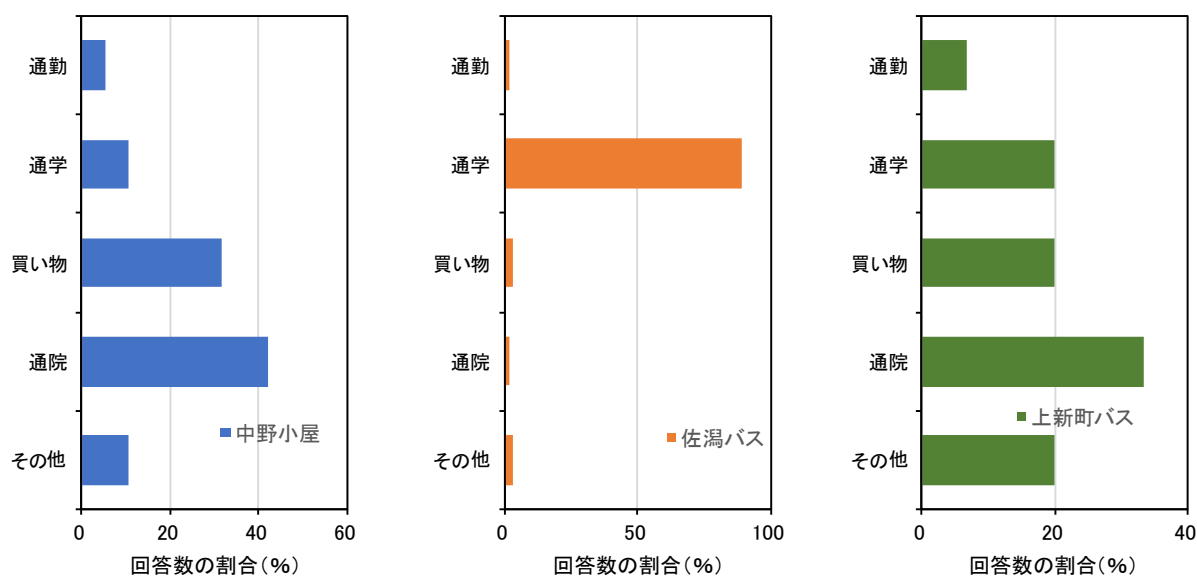


図 3-15 利用目的

(4) 乗車バス停

- ・ 区バス（中野小屋ルート）は赤塚駅前と笠木が各 3 人、信楽園病院と中野小屋が各 2 人である。このほかは 7 箇所が各 1 人とばらついている。
- ・ 住民バス（コミュニティ佐潟バス）は、赤塚駅前と赤塚小学校前、おおはくちょう橋前、国際情報大学前が 18～28 人と多い。小学生や中学生の利用者が多いため、通学先や自宅に近いバス停で乗車しているためと思われる。
- ・ 住民バス（内野上新町バス）は中浜団地と上新町公民館前が多く、ほぼ住居地と一致することから、自宅に近いバス停で集中的に乗車していることがうかがえる。

表 3-8 区バス及び住民バスの乗車バス停

乗車バス停	中野小屋		乗車バス停	佐潟バス		乗車バス停	上新町バス	
	回答者数 (人)	回答数の 割合(%)		回答者数 (人)	回答数の 割合(%)		回答者数 (人)	回答数の 割合(%)
赤塚駅前	3	17.6	赤塚駅前	28	21.1	中浜団地	5	38.5
笠木	3	17.6	赤塚小学校前	25	18.8	上新町公民館前	4	30.8
信楽園病院	2	11.8	おおはくちょう橋前	22	16.5	新中浜団地	2	15.4
中野小屋	2	11.8	国際情報大学前	18	13.5	西内野小学校前	1	7.7
青山	1	5.9	かただ公園前	13	9.8	西新町	1	7.7
あそか苑前	1	5.9	四ツ郷屋	11	8.3			
大友	1	5.9	赤塚連絡所前	10	7.5			
小見郷屋	1	5.9	木山小学校前	3	2.3			
笠木小学校前	1	5.9	東山	1	0.8			
坂井東小学校入口	1	5.9	まないた橋公園前	1	0.8			
田島	1	5.9	西区神山	1	0.8			
合計	17	100	合計	133	100	合計	13	100

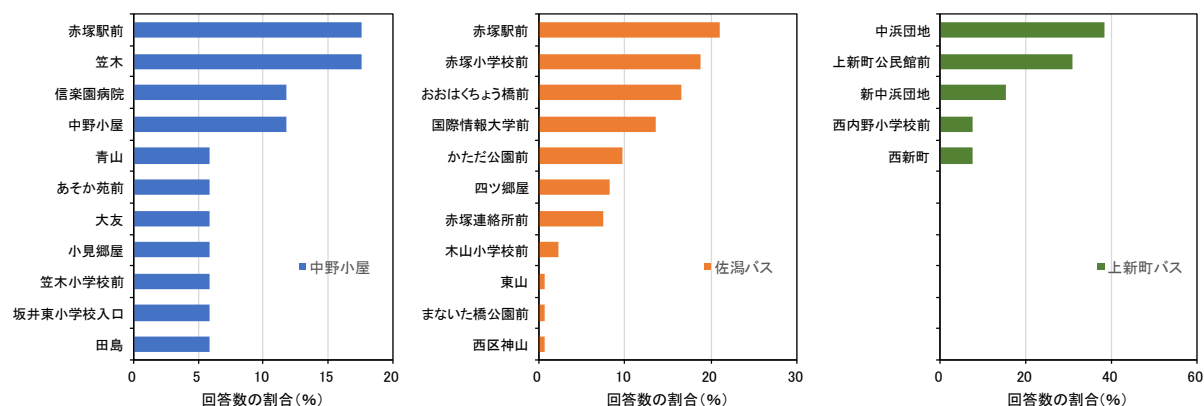


図 3-16 乗車バス停

(5) 降車バス停

- ・ 区バス（中野小屋ルート）は、赤塚駅前と信楽園病院前及びその近隣の坂井、文理高校前が主な降車バス停である。このほかは8箇所が各1人とばらついている。
- ・ 住民バス（コミュニティ佐潟バス）は小学生と中学生が多いため、それぞれの学校の前である赤塚連絡所前と赤塚小学校前の利用者が非常に多い。
- ・ 住民バス（内野上新町バス）は住居地近くのほかは、青山や内野町周辺が多くなっている。

表 3-9 区バス及び住民バスの降車バス停

降車バス停	中野小屋		降車バス停	佐潟バス		降車バス停	上新町バス	
	回答者数 (人)	回答数の 割合(%)		回答者数 (人)	回答数の 割合(%)		回答者数 (人)	回答数の 割合(%)
赤塚駅前	3	15	赤塚連絡所前	42	31	中浜団地	3	23
坂井	3	15	赤塚小学校前	32	24	青山	2	15
信楽園病院	3	15	おおはくちょう橋前	16	12	上新町公民館前	2	15
文理高校前	3	15	かただ公園前	11	8	内野一番町	1	8
青山	1	5	赤塚駅前	8	6	内野中学校	1	8
大野	1	5	国際情報大学前	7	5	内野四ツ角	1	8
尾崎	1	5	木山小学校前	7	5	内野四番町	1	8
坂井東小学校入口	1	5	赤塚商工会前	4	3	新中浜団地	1	8
坂井村上	1	5	中権寺	2	1	西内野小学校前	1	8
新通橋	1	5	赤塚中学校前	2	1			
高山橋	1	5	四ツ郷屋前	1	1			
保古野木	1	5	赤塚坂下	1	1			
			赤塚上	1	1			
合計	20	100	合計	134	100	合計	13	100

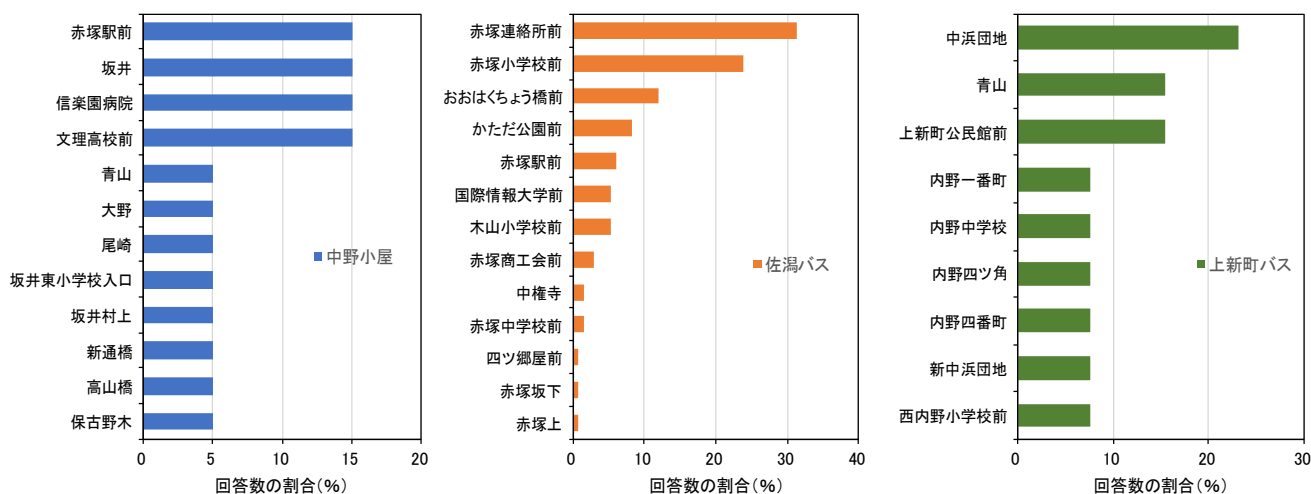


図 3-17 降車バス停

(6) バス利用の目的地

- ・ 区バス（中野小屋ルート）は通院が多いため、目的地も病院が多い。
- ・ 住民バス（コミュニティ佐潟バス）は通学が多いため、目的地は学校が多い。
- ・ 住民バス（内野上新町バス）は内野中学校が3人と多く、利用目的で通院が多かったものの具体的に病院名が挙げられたのは信楽園病院の1人のみである。

表 3-10 区バス及び住民バス利用の目的地

目的地	中野小屋		目的地	佐潟バス		目的地	上新町バス	
	回答者数 (人)	回答数の 割合(%)		回答者数 (人)	回答数の 割合(%)		回答者数 (人)	回答数の 割合(%)
信楽園病院	3	19	赤塚中学校	52	39	内野中学校	3	25
家	2	13	赤塚小学校	35	26	中央区	2	17
文理高校	2	13	自宅	27	20	青山	1	8
赤塚	1	6	木山小学校	10	7	内野駅	1	8
医院	1	6	新潟駅	4	3	内野方面	1	8
ウオロク	1	6	赤塚駅	2	1	信楽園病院	1	8
小瀬小学校	1	6	イオン青山店	1	1	西コミセン	1	8
眼科医院	1	6	真田医院	1	1	新潟駅	1	8
業務	1	6	白山	1	1	新潟方面	1	8
通院	1	6	みずき野4丁目	1	1			
もぐら工房	1	6	みずき野5丁目	1	1			
幸村医院	1	6						
合計	16	100	合計	135	100	合計	12	100

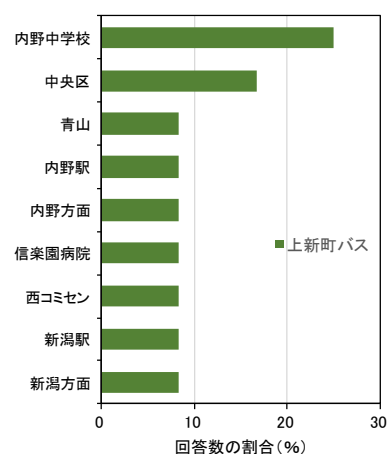
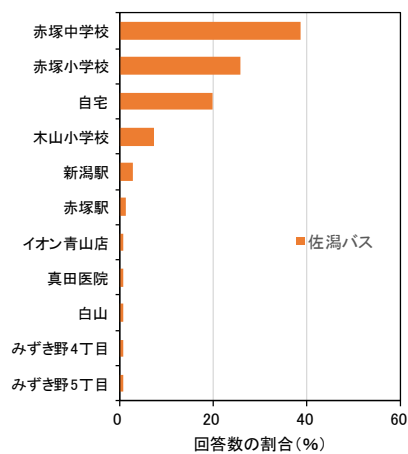
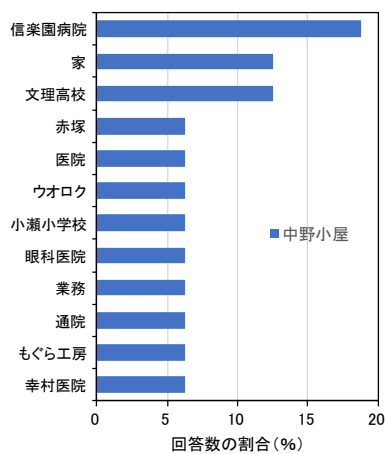


図 3-18 区バス及び住民バス利用の目的地

(7) 利用バス停までの移動手段

- ・ 区バス（中野小屋ルート）と住民バス（コミュニティ佐潟バス）、住民バス（内野上新町バス）の3路線ともに、利用バス停までの移動手段は徒歩がほとんどである。

表 3-11 区バス及び住民バスの利用バス停までの移動手段

移動手段	回答者数(人)			回答数の割合(%)		
	中野小屋	佐潟バス	上新町バス	中野小屋	佐潟バス	上新町バス
徒歩	15	131	11	93.8	98.5	100.0
バス	1	2		6.3	1.5	0.0
合計	16	133	11	100	100	100

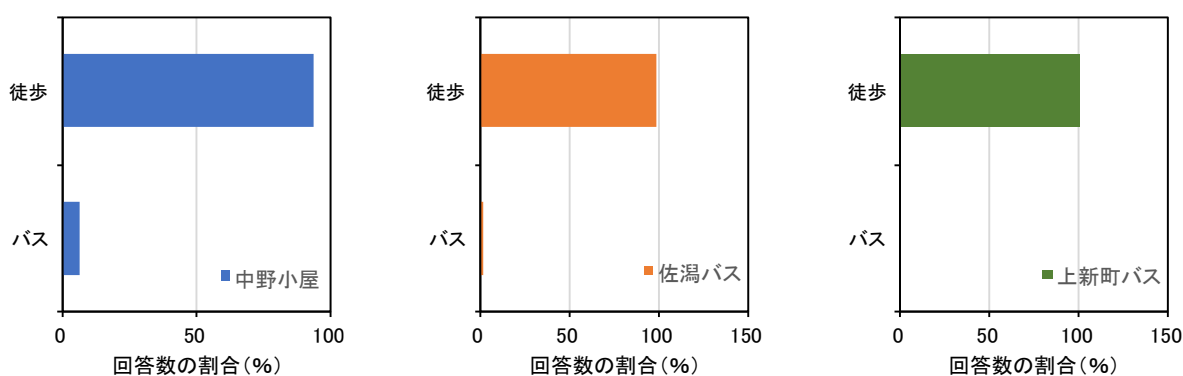


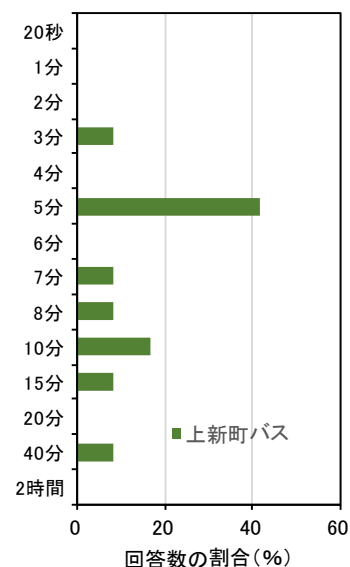
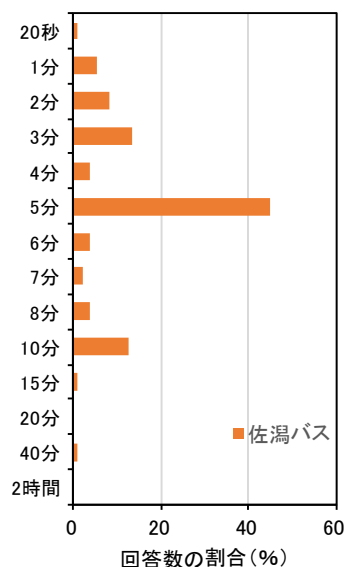
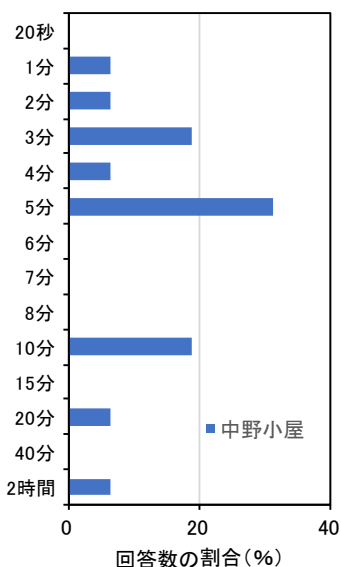
図 3-19 利用バス停までの移動手段

(8) 利用バス停までの所要時間

- ・ 利用バス停までの所要時間は3路線ともに5分と回答した人が最も多い。これに次いで3分や10分が多い。
- ・ 区バス（中野小屋ルート）と住民バス（コミュニティ佐潟バス）は比較的傾向が類似しており、10分と回答した人も一定数いるが、5分やこれ以内の人が多く。
- ・ 住民バス（内野上新町バス）は5分が最も多いものの、7分から15分の間の時間を回答した人も多い。

表 3-12 区バス及び住民バスの利用バス停までの所要時間

所要時間	回答者数(人)			回答数の割合(%)		
	中野小屋	佐潟バス	上新町バス	中野小屋	佐潟バス	上新町バス
20秒		1		0.0	0.7	0.0
1分	1	7		6.3	5.2	0.0
2分	1	11		6.3	8.2	0.0
3分	3	18	1	18.8	13.4	8.3
4分	1	5		6.3	3.7	0.0
5分	5	60	5	31.3	44.8	41.7
6分		5		0.0	3.7	0.0
7分		3	1	0.0	2.2	8.3
8分		5	1	0.0	3.7	8.3
10分	3	17	2	18.8	12.7	16.7
15分		1	1	0.0	0.7	8.3
20分	1			6.3	0.0	0.0
40分		1	1	0.0	0.7	8.3
2時間	1			6.3	0.0	0.0
合計	16	134	12	69	80	50



(9) 区バスの今後の改善

- ・ 区バス（中野小屋ルート）と住民バス（コミュニティ佐潟バス）の回答の傾向は類似しており、今後の改善の内容として増便と時間設定についての改善希望が多い。
- ・ 住民バス（内野上新町バス）については、増便についての希望も多いが、他の2路線に比べ、時間設定はやや少なく、運行ルートや乗り継ぎのしやすさを希望する人が多くなっている。

表 3-13 区バス及び住民バスの今後の改善内容

今後の改善希望	回答者数(人)			回答数の割合(%)		
	中野小屋	佐潟バス	上新町バス	中野小屋	佐潟バス	上新町バス
時間設定	5	87	3	27.8	38.7	15.8
増便	10	99	8	55.6	44.0	42.1
運行ルート	1	10	5	5.6	4.4	26.3
乗降のしやすさ	0	11	1	0.0	4.9	5.3
乗り継ぎのしやすさ	1	6	2	5.6	2.7	10.5
運賃の改善	1	12	0	5.6	5.3	0.0
合計	18	225	19	100	100	100

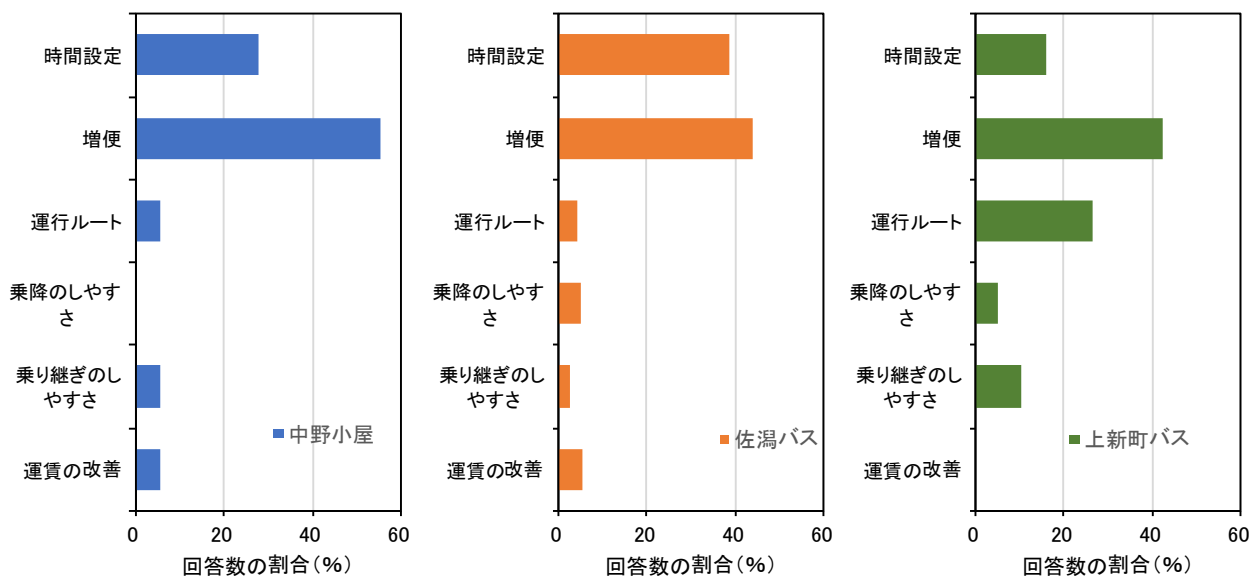


図 3-21 今後の改善について

表 3-14 今後の改善の具体的内容（中野小屋ルート）

今後の改善	具体的内容
増便	もっと遅い時間のバスが欲しい。
時間設定 増便	朝の10時。 夜の便がなくて困った。 赤塚駅前行4便と5便の間に欲しい。 通院後ちょっとした買い物も出来ない。
時間設定 乗り継ぎのしやすさ	乗り継ぎのしやすさのため、この後の4便との間にもう1本。

表 3-15 今後の改善の具体的内容（佐潟バス）

今後の改善	具体的内容
増便	もう少し便があると利用しやすい。 日中も走らせてほしい。 お昼の時間帯の便をつくらせてほしい。 土日のバスを増やしてほしい。 12時半くらいに増便してほしいです。学校がお昼に終わったり、部活が午前中にあると、帰りにバスがあると楽なので、増便してほしいと思います。 人が多い。便数を増やしてほしい。 四ツ郷屋行きがふえてほしい。 たくさんあったほうがいい。 春から中学生になりますが、中学生の保護者の話で部活帰りにちょうどいい時間のバスが無いと聞いたので、学校の行き帰りに合った時間のバスがあれば利用したいと思います。 冬季、子供達の利用が増え、情報大前から乗る子供達が乗車できないことがあると聞きました。 「午後5時を冬だけ」というのをやめていただきたい。ずっとやってほしい。 バスの便が少なくて、乗れない時があったから。
増便 運行ルート	例えば、今後高校生になり、電車が運休の場合、青山行までのバスが増便なら、より便利だから。 増便：昼の時間、早帰りしてくると、バスがなくて寒くても我慢して歩いてくることもある。運行ルート：とうぞうしんでんでも降ろしてあげて下さい!!運転手さんたちがいつも大変なのは承知の上です…。
増便 乗り継ぎのしやすさ	みずき野地域の小学生は赤塚小まで徒歩だと時間を要するため、保護者が悪天候時に自家用車で送迎することが多いように思います。利便性が改善され、周知されればバスの利用者がもっと増えると思います。
乗降のしやすさ	足が悪いので乗降のしやすいバスにしてほしい 乗降のしやすさは、混みすぎて自分の降りたい所で降りられないときがあったので、もう少し停車時間を延ばしてほしい。
時間設定	本当に来るのか来ないのか、どのくらいで来るのかなど、分かると乗りやすい。「どこトレ」のように、運休しているのか、どのくらい遅れているのかが分かるとありがたいです。 もうちょっと早くしてほしい。 8時頃に学校に到着すれば良いのですが、現在の時間だと早すぎてしまう。
時間設定 増便	登下校に合わせてもう1~2本あると良い。 4時台のバスを4:30にしてほしい。 12:00ぐらいの便があるといい。 6時間目の終りの4時15分くらいにバスがほしい。 増便は、7時ぐらいの便があると良い。 土、日も仕事している人いるのに、バスがないと困ります。 10時ぐらいのバス運行、土日運行

	土、日、祝休日も利用するのであった方が便利だと思います。
	テストの日の午前下校の日に、バスを増やしてほしい。
	もう少し、30分に1回など、頻度をふやしてほしい
	5時過ぎのバスを、11月くらいから出してほしい
	午後の授業が無い時、お昼のバスが無く、帰るのが大変だから。
	休日の12時の便を増やしてほしい
	早下校のために昼の便が復活させてほしいです
	学校が3限で終わる時など、バスがないので1時間以上歩くので、もっと便を増やしてほしいです。
	雨や台風もあり、通学するのが(帰り6:00頃)大変なので、6:00くらいにつくってほしいです
	12時くらいの便をまたお願いします。
	18:00ごろのバスがあるといいです。
	たまに30分など遅れるときがある。
	お昼くらいの便を増やして欲しい。
	16:10～16:15くらいで赤塚駅行きをつくって下さい
	時間を、もっと昼や夕方などに増やしてほしい
	早がえりのときに乗れる12時台の便をつくってほしい。
	増便は、昼の時間があつたほうがいい。
	乗りおけると、ずっと待っていないといけないから。
	6限(16:00下校)終了後に1本ほしいです。16:15頃のバス(16時45分では待てられない)
	16:30に赤塚小学校前に来てほしい。もう少し早めにおおはくちょう橋に7:40に)来てほしい。
	4時間のときに、天気が悪いときに乗れるように。
	中学生など、部活のある人などが土・日と乗れるように。
	朝、通学時間、もう1本早い時間があると良いです。
	16時前半に赤塚小前発のバスがあると利用しやすいです。(15:55下校の日に乗りやすいバスがあると良いです)
	時間設定:4:45→4:30頃に。増便:赤塚小の4時間授業の場合の運行。
	赤塚連絡所前を4:20(中学生の娘が利用希望)→赤塚小学校前を4:30までに(6限までの小2～小6が利用)
	授業5限の日は利用することがあるが、6限の日は30分以上待つので、暗いし、乗りたいが歩いて帰ってしまうため。
	バスの都合もあると思いますが、バスが来る時間が予定より5分遅れているから、もう少しちょうどいい時間で!!
	下校時刻、朝、増便されると便利。
	夕方(4時～)増便希望
	小学校の下校の時間に合わせて、時間の設定をしてほしい。6限終了後だと利用しづらいので。
	夕方の便は中学生も利用できるように4～6時台の時間運行してもらいたい。
	お昼のバスを復活させてほしい。
	午前中の時間帯のバスがほしい。
時間設定 乗降のしやすさ	時間設定:乗りおけると待つから。乗降のしやすさ:おお白鳥橋前と大学前が近い。
時間設定 乗降のしやすさ	冬の間は利用者が多く、乗り降りがとてもしにくいです。
時間設定 運賃の改善	子どもがもっと気軽にバスを利用し行動範囲を広げるためにも、時間設定と運賃が改善されたら嬉しい。
運賃の改善	運賃を安くしてほしい
	小学生料金がほしい

表 3-16 今後の改善の具体的内容（上新町バス）

今後の改善	具体的内容
増便 運行ルート	8～9 時頃の時間帯を考えてほしい
増便 乗り継ぎのしやすさ	現状は便が少なく利用しにくい
運行ルート	直接、病院まで
運行ルート 乗降のしやすさ	新中浜団地内発着を希望
時間設定 運行ルート	もっと速くしてほしい
時間設定 増便	冬は特に部活の時間が短くなるので、終わってから上新町行きのバス時間がないので大通りで下車して歩くしかないので、増便であう時間のバスがあったら利用できると思う。

(10) 運行ルートの変更について

- ・ 区バス（中野小屋ルート）と住民バス（コミュニティ佐潟バス）では、今のままでよいとの回答が多かった。中野小屋ルートの変更 3 案の中では①青山方面にも行けるよう内野駅前広場を経由するルートとする案への希望が多かったものの他の案とともに希望者は少なかった。佐潟バスでは①内野駅前広場始発着のルートとする案に 23 人 17%の回答があったが、わからないとの回答も 43 人 32%と高い割合となっている。
- ・ 住民バス（内野上新町バス）については、改善を希望する人が多く、改善の中では④内野営業所を始発着として中浜団地内を経由し、上新町公民館前を通りかつ内野駅前広場も経由して青山方面に向かうルートとする案を希望する人が 4 人 40%と多かった。

表 3-17 運行ルートの変更に関する意見

番号	運行ルートの変更	中野小屋	
		回答者数 (人)	回答数の 割合(%)
①	電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、青山方面にも行けるよう内野駅前広場を経由するルートとする	3	20
②	電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、運行本数を増やせるよう内野駅前広場始発着のルートとする	1	7
③	電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、赤塚方面にも行けるよう内野駅前広場を経由し越後赤塚駅と結ぶ循環ルートとする	2	13
	今のままでよい	8	53
	わからない	1	7
	合計	15	100

番号	運行ルートの変更	佐潟バス	
		回答者数 (人)	回答数の 割合(%)
①	電車への乗り継ぎのしやすさと向上等のため、内野駅前広場始発着のルートとする	23	17
②	電車への乗り継ぎのしやすさと向上しつつ、中野小屋方面にも行けるよう、内野駅前広場を経由し越後赤塚駅と結ぶ循環ルートとする	11	8
	今のままでよい	59	43
	わからない	43	32
	合計	136	100

番号	運行ルートの変更	上新町バス	
		回答者数 (人)	回答数の 割合(%)
①	電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、青山方面にも行けるよう内野駅前広場を経由するルートとする	1	10
②	電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、運行本数を増やせるよう内野駅前広場始発着のルートとする	2	20
③	内野営業所を始発着として中浜団地内を経由し、上新町公民館前を通るルートとする	1	10
④	内野営業所を始発着として中浜団地内を経由し、上新町公民館前を通りかつ内野駅前広場も経由して青山方面に向かうルートとする	4	40
	今のままでよい	2	20
	わからない	0	0
	合計	10	100

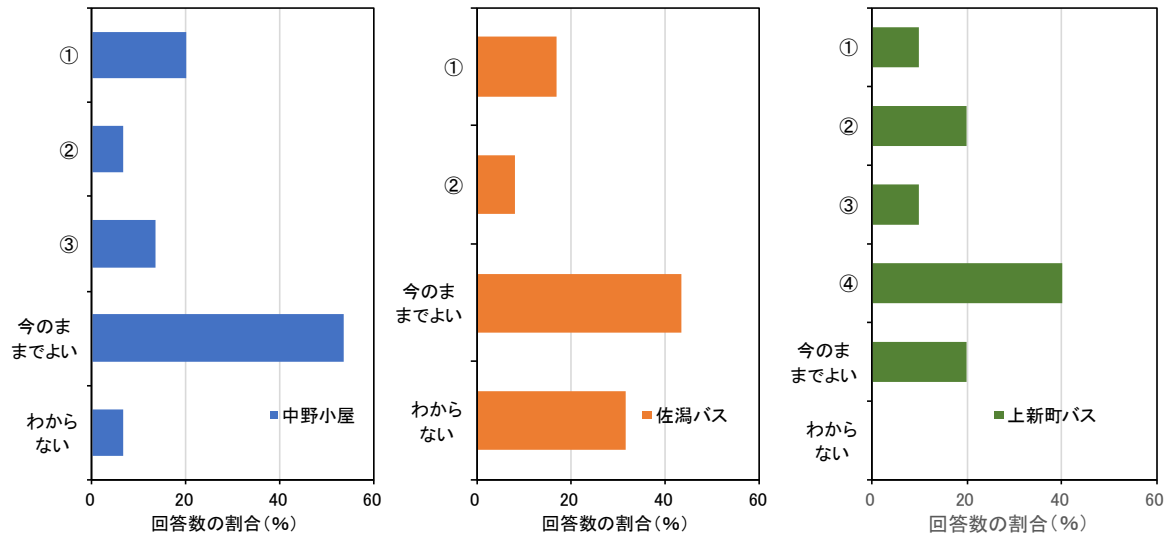


図 3-22 運行ルートの変更についての意見

表 3-18 運行ルートの変更の希望の具体的理由（中野小屋ルート）

運行ルートの変更案	希望する具体的理由
電車への乗り継ぎのしやすさを向上しつつ、赤塚方面にも行けるよう内野駅前広場を経由し越後赤塚駅と結ぶ循環ルートとする	反時計回りのルート

表 3-19 運行ルートの変更の希望の具体的理由（佐潟バス）

運行ルートの変更案	希望する具体的理由
<p>電車への乗り継ぎのしやすさと向上等のため、内野駅前広場始発着のルートとする</p>	<p>よく電車が冬の間、運休や大幅な遅れがあり、内野駅より先の吉田行きが不便になるので、内野駅～赤塚駅間が、バスがあると大変うれしく思います。みんなそう感じていると思います。</p>
	<p>営業所発着よりも乗り継ぎがしやすいので、通学・通勤だけでなく利用が増えると思う。</p>
	<p>子どもだけでも、近隣の祭りやイベントに積極的に参加したり、その分保護者など周りの送迎負担が減ると同時に、公共機関を利用するという経験がより多くの機会をもつことができるから。</p>
	<p>新潟駅から赤塚駅までの電車本数が少なく、内野停まりの電車は多いから</p>
	<p>電車運休(遅れ)など多いので、内野駅までだとバスもあるので朝も帰りも安心できる。赤塚はとても不便なのでなんとかして下さい。 コミュニティバスってなんなんですか？</p>
	<p>冬など、駅で待つ人は寒いから。</p>
	<p>内野へ、越後赤塚が運休になったときのために、代行バスになるような路線がいいと思うからです。</p>
	<p>内野駅までであると利用しやすい。</p>
<p>電車への乗り継ぎのしやすさと向上しつつ、中野小屋方面にも行けるよう、内野駅前広場を経由し越後赤塚駅と結ぶ循環ルートとする</p>	<p>信楽園病院へも行きたいので。</p>
<p>今のままでよい</p>	<p>このままの方がぜんぜんいいから。</p>
	<p>そこしか使わないから。</p>
	<p>バスは月に1～2回ほどしか乗らないから、ルートを変更するとバス会社が大変になるし、時間が変わるかもしれないから、そうすると逆に困ってしまうから今のままでいいと思う。</p>
	<p>ルートが今のままでも不便ではないから。</p>
	<p>ルートの的には良いと思う。</p>
	<p>今のままが一番いいです。</p>
	<p>今のままでも不便ではないから。</p>
	<p>今のルートで困っていないから。</p>
<p>わからない</p>	<p>赤塚小から家まで帰るのに使いやすいから。</p>
	<p>内野営業所から赤塚駅前のルートでいいので、中学生がテスト期間や早帰り(12:00 下校とか)でも利用できる便をつくってほしい。(せめて冬場だけでも)</p>
	<p>別に困ったこととかないから。</p>
<p>わからない</p>	<p>小学校の登下校にしか利用していないので分からない。</p>
	<p>内野に用がないため、みずき野をとおてくればいい。</p>

表 3-20 運行ルートの変更の希望の具体的理由（上新町バス）

運行ルートの変更案	希望する具体的理由
内野営業所を始発着として中浜団地内を經由し、上新町公民館前を通りかつ内野駅前広場も經由して青山方面に向かうルートとする	内野駅利用も考えています。
その他	内野営業所始発着で上新町回り増便

(11) 意見・要望等

表 3-21 意見・要望等（中野小屋ルート）

項目	意見・要望等
増便	ファミリーマート付近にバス停を作って欲しい。
増便 運行ルート	新潟駅までの直通便が欲しい。青山での乗り換えが面倒。
運行ルート	新潟駅までの運行。休日の運行。
その他	減らされても1日に最低の本数あるといい。とにかく廃止にはならない事。バスのサイズを小さくして欲しい。

表 3-22 意見・要望等（佐潟バス）

項目	意見・要望等
増便	増便してほしい。 運行本数は減らさないで下さい。 時間帯をもっと増やしてほしい。 バスを増やしてくれるとありがたいです。 通学に利用が多いので、混雑を避けるため増便をお願いします。 冬季限定でもいいので、スクールバスがあると安心です。
増便 運行ルート	冬場は積雪量が多い1・2月は、徒歩では行けないので、朝の増便と下校時間に合わせて夕方の小学校前から赤塚駅行が何便かあると有難いです。
増便 乗り継ぎのしやすさ	増便(電車にあわせてほしい)。
時間設定	赤塚小学校前のバス停での時間設定の変更を望みます。16時30分着くらいになると利用しやすいです。
時間設定 増便	朝の便をもう1本くらい増便してほしい。冬は特に混む様子。夕方、15:30～16:00、16:30～17:00の間、1本ずつ増便あると、下校に良い。(冬場だけでも) 時間の間隔をもう少し縮めて、増便してほしいです。 学校行事がある時は土日でも運行してほしい。 午後の便を増やしてください。 夏の6時20分頃のバスをつくってほしいです。 9:00、10:00発など、午前中便もあるといい。 16:10～16:15くらいの赤塚駅行きバスをつくってほしいです。 日中の時間帯にもバスがあるといいです。13:30下校とかがある時、乗って帰りたいです。 天気が悪いとバス1台ですごく混むとのこと。やはり増便してほしい。朝、夕方も15:30～16:00の間にもう1便あると…。朝、夕は、30分に1便くらい通っているとありがたい。(朝:7:30～7:50の間に2便あるのが理想。夕:15:20～16:45の間、30分に1本あると…。) テスト1日目の日や、早帰りの日など、帰りがなくて困ってます。12:30のバスを出してほしいです。 通学で子どもが利用していますが、人数が多く乗れないことがあるので、バス利用を考えてしまいます。冬場だけでも、朝7時台がもう1本あるといいです。冬場、17時台、赤塚中学→赤塚駅を12月からにして欲しい。
車内対応	バスを降りるさいに「ありがとうございました」と言って降りるんですが、運転手さんが言葉を返してくださらないときがあり、少し寂しいときがあります。
車内対応 車内設備	夜、バス半分しか電気ついてなく発車し、こわいです!!時々、夜19:35のバスの運転手、コワイ人いる。(感じ悪い)
車内設備	座椅子増加。座椅子の幅広く。日本人は高齢者が増えてきたから、高齢者優先席の増加。
乗り継ぎのしやすさ	19:30着(赤塚駅)の電車、けっこう遅れます。バス19:35発(赤塚駅)、ぜんぜん5分も待たず、電車が着いたと同時に発車してしまう。なんのためのバスなのか?ムカツク!!そこまで来ているのに(バス停)ぜんぜん乗せてくれない、夜19:35のバス(いつもではないけど)。
乗車のしやすさ	逆にルートを増やすと人が増え、乗りにくくなるのでは?

遅延	朝 7:42 発の(赤塚小学校前)はいつも遅れてくる。
	バスが20分以上おくれることがあるので、雪があって大変なのは分かりますが、もう少し早く来てほしいです。
遅延 増便	時間がすぎてもバスがこないで、時間通りに来てほしい。あと、できれば本数を増やして欲しい。(午後 15 時くらい…)バスがないと毎日歩かないといけないのでお願いします。
バス停改善	バス停の待ち合いの所、カギがかかっている入れない事あります。なんとかして下さい。
	バス停の所、雪が山のようになっていて、バスが来ても乗るのに大変。内野営業所に言ったら「申し訳ありません」とは言うけど、ぜんぜん改善してくれない。
	各バス停に雨・風・雪をしのげるようなちよとした待合所を作ってほしい。小学生の子供はバスが来るまで何も無い場所で待つのは辛いです。
その他	利用者が少ないので小型のバスでもいいのでは？
	短いルートなので、大幅に時間がズレることもないので、乗りやすいです。雪が降った時など、いちばん乗りたいときに運休になるときがあるので残念です。仕方ないのかもしれませんが。
	毎日、通学にありがたく使わせて頂いております。これからはずっとずっとこのコミュニティバスを利用したいのでよろしくお願いします。
	バスのおかげで 7:10 に出発する子が 7:40 まで家ですごせます。とにかく無くさないで、走りつけてください。
	何も無いのですが、感謝状です。 運転手さんへ いつもご苦労様です。前、バスに乗ったときに、人がいなくて、いろいろな学校のお話をしたのを覚えています。乗客と仲良くできるみなさんがとても大好きです。これからもよろしくお願いします。
	いつもありがとうございます。 通学のみ利用になっているが、これからは子ども達が安全・安心の中、バス利用ができるよう見守ってほしい。
何とかけばよいのかわからない。	

表 3-23 意見・要望等（上新町バス）

項目	意見・要望等
運行ルート	青山で乗り換えとなると時間もかかるし、料金もふえるので、新潟駅まで行ってもらいたいです。足が悪いのでお願いします。
時間設定	利用しやすいように、時間設定を工夫してほしい。
時間設定 増便	土曜・日曜も運行してほしい。
運賃の改善	運賃を安くしてほしい。
広報	広報活動をお願いしたい。
	住民バスを知らなかった。

4. 結果のまとめと考察

4.1. 潜在ニーズ調査

4.1.1. 地区別の傾向

(1) 地区別・目的別の公共交通の利用

地区別・目的別に、鉄道及びバスの利用の傾向について整理した。

1) 通勤・通学利用

	出発地	目的地
電車利用	【電車利用の多い地区】 A、B、C、G、H地区	【電車利用の多い目的地】 中央区、新潟駅
バス利用	【バス利用の多い地区】 A、B、C、D地区	【バス利用の多い目的地】 中央区、赤塚、新潟駅、新潟大

2) 買い物利用

	出発地	目的地
電車利用	【電車利用の多い地区】 特になし	【電車利用の多い目的地】 イオン青山店
バス利用	【バス利用の多い地区】 D地区	【バス利用の多い目的地】 ウオロク大学前、ウオロク内野、イオン青山、いちまん

3) 通院利用

	出発地	目的地
電車利用	【電車利用の多い地区】 C、F地区	【電車利用の多い目的地】 県立がんセンター
バス利用	【バス利用の多い地区】 B、C、D地区	【バス利用の多い目的地】 県立がんセンター、中村外科胃腸科、内野おがわ眼科

(2) 地区別の潜在ニーズ

地区別に利用しない理由とその理由の解決後にバスを利用する割合を以下に整理する。

	地区名	利用しない理由(上位2位)	解決後の利用割合
公共交通 便利エリア	A地区	時間がかかる、運賃が高い	31.9%
	B地区	時間がかかる、バスの本数が少ない	23.2%
	C地区	時間がかかる、運賃が高い	29.3%
バス便利エリア	D地区	時間がかかる、運賃が高い	32.2%
公共交通 不便エリア	E地区	時間がかかる、バスの本数が少ない	19.4%
	F地区	利用したい時間にバスがない、バスの本数が少ない	32.4%
	G地区	利用したい時間にバスがない、バスの本数が少ない	33.3%
鉄道便利エリア	H地区	時間がかかる、バスの本数が少ない	26.3%

(3) 地区別の考察

以上の結果から、地区別の潜在ニーズ等について考察する。

- ・ A、B地区は鉄道駅に近く、通勤・通学には電車やバスの利用もみられるが、買い物や通院ではあまり公共交通は利用されていない。
- ・ C地区は、通勤・通学と通院でバスの利用がみられる。
- ・ A～C地区は、バスを利用しない理由として、「時間がかかる」、「バスの本数が少ない」、「運賃が高い」が上位に挙げられているが、この地区では電車の利便性が高く、これと比較した際のバスのデメリットを挙げていると推測される。
- ・ D地区は、いずれの目的においても、他地区に比べバス利用の割合が高い。
- ・ D地区では、他の公共交通に比べてバスの利便性が高いことから、潜在ニーズの掘り起こしによる効果が期待できるが、バスを利用しない理由としては「時間がかかる」、「運賃が高い」が挙げられており、この改善が求められる。
- ・ E地区は、あまり公共交通機関を利用しない地区であり、バスを利用しない理由を解決しても利用する人は少ない。
- ・ F、G地区も、あまり公共交通機関を利用しない地区であるが、F地区は通院における電車利用、G地区は通勤・通学における電車利用がみられる。
- ・ F、G地区は、バスを利用しない理由として「利用したい時間にバスがない」、「本数が少ない」が上位に挙げられており、理由解決後の利用割合が高い（潜在ニーズが高い）ことから、この改善が求められる。

4.1.2. 年齢別の傾向

(1) 年齢別の傾向

年齢区分	利用しない理由(上位2位)	解決後の利用割合
～18歳	バスの本数が少ない、運賃が高い	29.0%
19～29歳	時間がかかる、バス路線がわからない	23.5%
30～39歳	時間がかかる、運賃が高い	23.8%
40～49歳	時間がかかる、運賃が高い	30.7%
50～59歳	時間がかかる、バスの本数が少ない	26.5%
60～69歳	時間がかかる、乗り継ぎが不便	28.2%
70～79歳	時間がかかる、本数が少ない	31.4%
80歳～	本数が少ない、利用したい時間にバスが来ない	52.9%

(2) 年齢別の考察

- ・ 18歳以下では、バスを利用しない理由として、「運賃が高い」という回答が多い。
- ・ 19～79歳は、バスを利用しない理由として、「時間がかかる」という回答が多い。
- ・ 80歳以上は、バスを利用しない理由として、「本数が少ない」、「利用したい時間にバスが来ない」という回答が多い。80歳以上は理由が解決された場合に50%以上が「利用する」と回答しているが、利用しない理由が分散していることから、この潜在ニーズを確保することは難しい。
- ・ 将来的に高齢者となる50～60代については、現状では理由が解決された場合に「利用する」割合は30%を切る。

4.2. 運行ルートの見直しに関する考察（潜在ニーズ・利用者ニーズ）

潜在ニーズ調査、利用者ニーズ調査の両調査の結果から、希望の多いルートを整理するとともに、利用しない理由として挙げられた課題との整合についても考察する。

ルートによっては、Q10の利用しない理由と矛盾が発生する場合がある。

各ルートにした場合に、解決できない問題点を以下に整理する。

4.2.1. 区バス（中野小屋ルート）

(1) 各ルートの特性

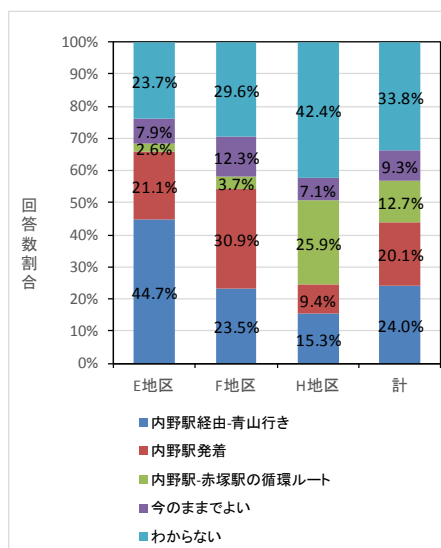
中野小屋ルートで選択肢として挙げたルートについて、そのルートに変更することで解消される課題と、新たに発生する課題を整理する。

ルート案	概要	解消される課題	新たに発生する課題
内野駅経由-青山行き	内野駅を経由して青山行きの路線バスに接続するルート。電車への接続は向上するが、運行距離が延びることで、所要時間、運賃、時刻表等に影響が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り継ぎが不便 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間がかかる ・運賃が高くなる ・時間通りに来ない ・バスの本数が少ない
内野駅発着ルート	内野駅発着のコンパクトなルート。電車接続は向上し、運行ルートも短くなることから、時刻表の設定が容易で運行の遅れも少ない。	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り継ぎが不便 ・時間がかかる ・運賃が高くなる ・時間通りに来ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的地に停まらない
内野駅と赤塚駅を通る循環ルート	内野駅と赤塚駅を通る循環バス。2つの駅に停まるため電車の上下線との接続が向上する。また循環ルートとなることで、これまで停まらなかったバス停を経由できるが、運行距離が延びることで上記のような影響が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り継ぎが不便 ・目的地に停まらない 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間がかかる ・運賃が高くなる ・時間通りに来ない ・バスの本数が少ない

(2) 当該バス路線のニーズ

潜在ニーズ調査および利用者ニーズ調査のうち、特に路線の影響を受けるとされる沿線地区と利用者のニーズを再掲する。

【沿線住民のニーズ】



【バス利用者のニーズ】

番号	運行ルートの変更	中野小屋	
		回答者数 (人)	回答数の割合 (%)
①	内野駅経由-青山行き	3	20
②	内野駅発着	1	7
③	内野駅-赤塚駅循環ルート	2	13
	今のままでよい	8	53
	わからない	1	7
	合計	15	100

(3) 見直し案の検討

- 沿線住民のニーズは「内野駅経由-青山行き」が最も多く 24%であった。ただし、地区によって上位に挙がるルートは異なり、F地区では「内野駅発着」、H地区では「内野駅-赤塚駅の循環ルート」が上位に挙げられている。
- バス利用者のニーズは「今のままでよい」が最も多く 53%であった。
- 「内野駅経由-青山行き」は、現在より運行距離が延びるため、バスに乗らない理由の上位にある「時間がかかる」、「運賃が高い」などの課題は解消できない。
- 「内野駅経由-青山行き」の割合が最も高いE地区は、現在の公共交通の利用が少なく、問題が解決した場合にバスを利用する割合が 19.8%と他地区に比べ少ない。

以上から、今後のルートについては、現在のバス利用者の 53%が選ぶ「今のまま」のルートか、沿線住民の 20.1%が選ぶ「内野駅発着ルート」が考えられる。

「内野駅発着ルート」は、短い運行距離で電車に乗り継ぐことで、遠距離の移動についてはバス移動より時間が読め、運賃も抑えられる。そのため「時間がかかる」、「運賃が高い」、「時間通りに来ない」という課題について解決できる。一方で、電車はバスに比べ停車間隔が長いため、「目的地に停まらない」という課題は残る。

4.2.2. 住民バス（佐潟バス）

(1) 各ルートの特徴

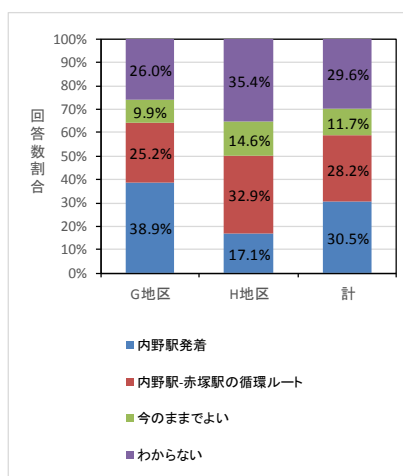
佐潟バスで選択肢として挙げたルートについて、そのルートに変更することで解消される課題と、新たに発生する課題を整理する。

ルート案	概要	解消される課題	新たに発生する課題
内野駅発着ルート	内野営業所発着を内野駅発着に変更したルート。新潟方面の電車接続は向上するが、運行距離が延びることで、所要時間、運賃、時刻表等に影響が出る。	<ul style="list-style-type: none"> 乗り継ぎが不便 目的地に停まらない 	<ul style="list-style-type: none"> 時間がかかる 運賃が高くなる 時間通りに来ない
内野駅と赤塚駅を通る循環ルート	内野駅と赤塚駅を通る循環バス。2つの駅に停まるため電車の上下線との接続が向上する。また循環ルートとなることで、これまで停まらなかったバス停を経由できるが、運行距離が延びることで上記のような影響が出る。	<ul style="list-style-type: none"> 乗り継ぎが不便 目的地に停まらない 	<ul style="list-style-type: none"> 時間がかかる 運賃が高くなる 時間通りに来ない バスの本数が少ない

(2) 当該バス路線のニーズ

潜在ニーズ調査および利用者ニーズ調査のうち、特に路線の影響を受けるとと思われる沿線地区と利用者のニーズを再掲する。

【沿線住民のニーズ】



【バス利用者のニーズ】

番号	運行ルートの変更	佐潟バス	
		回答者数 (人)	回答数の割合 (%)
①	内野駅発着	23	17
②	内野駅-赤塚駅循環ルート	11	8
	今のままでよい	59	43
	わからない	43	32
	合計	136	100

(3) 見直し案の検討

- ・ 沿線住民のニーズは「内野駅発着」が最も多く 31%。ただし、地区によって上位に挙がるルートは異なり、G地区では「内野駅発着」、H地区では「内野駅-赤塚駅の循環ルート」が上位に挙げられている。
- ・ バス利用者のニーズは「今のままでよい」が最も多く 43%であった。
- ・ 「内野駅発着」は、現在より運行距離が延びるため、バスに乗らない理由の上位にある「時間がかかる」、「運賃が高い」などの課題は解消できない。
- ・ 沿線地区のG地区、H地区ともにバスを利用しない理由として「バスの本数が少ない」を挙げており、これを解決するためには、運行ルートがコンパクトであることが望ましい。

以上から、今後のルートについては、現在のバス利用者の43%が選ぶ「今のまま」のルートか、沿線住民の31%が選ぶ「内野駅発着ルート」が考えられる。

「内野駅発着ルート」は、新潟方面への電車利用は利便性が向上するが、運行距離が延びることでの運賃や所要時間の増加が課題として残る。

4.2.3. 住民バス（内野上新町バス）

(1) 各ルートの特徴

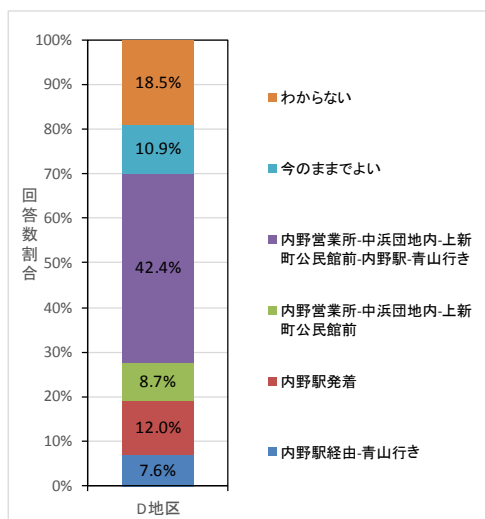
内野上新町バスで選択肢として挙げたルートについて、そのルートに変更することで解消される課題と、新たに発生する課題を整理する。

ルート案	概要	解消される課題	新たに発生する課題
内野駅経由-青山行き	内野駅を経由して青山行きの路線バスに切り替わるルート。西新町での乗り換えが不要で、電車への接続は向上するが、運行距離が延びることで、所要時間、運賃、時刻表等に影響が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り継ぎが不便 ・目的地に停まらない 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間がかかる ・運賃が高くなる ・時間通りに来ない
内野駅発着ルート	西新町発着を内野駅発着に変更したルート。電車接続は向上するが、運行距離が延びることで、所要時間、運賃、時刻表等に影響が出る。	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り継ぎが不便 ・目的地に停まらない 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間がかかる ・運賃が高くなる ・時間通りに来ない
内野営業所-中浜団地内-上新町公民館前	西新町発着を内野営業所発着に変更し、中浜団地を経由するルート。中浜団地からのバス利用がしやすくなり、営業所発着となるため、荒天時でも安心してバス待ちできる。	<ul style="list-style-type: none"> ・目的地に停まらない 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間がかかる
内野営業所-中浜団地内-上新町公民館前-内野駅-青山行き	内野営業所発着で、内野駅を経由し、青山行きの路線バスに切り替わるルート。電車への接続や青山方面への移動利便性は向上するが、最も運行距離が長いルートであり、所要時間、運賃が増加する。	<ul style="list-style-type: none"> ・目的地に停まらない 	<ul style="list-style-type: none"> ・時間がかかる ・運賃が高くなる ・時間通りに来ない ・バスの本数が少ない

(2) 当該バス路線のニーズ

潜在ニーズ調査および利用者ニーズ調査のうち、特に路線の影響を受けるとされる沿線地区と利用者のニーズを再掲する。

【沿線住民のニーズ】



【バス利用者のニーズ】

番号	運行ルートの変更	上新町バス	
		回答者数 (人)	回答数の割合 (%)
①	内野駅経由-青山行き	1	10
②	内野駅発着	2	20
③	内野営業所-中浜団地内-上新町公民館前	1	10
④	内野営業所-中浜団地内-上新町公民館前-内野駅-青山行き	4	40
	今のままでよい	2	20
	わからない	0	0
	合計	10	100

(3) 見直し案の検討

- ・ 沿線住民のニーズは「内野営業所-中浜団地内-上新町公民館前-内野駅-青山行き」が最も多く 42%であった。
- ・ バス利用者のニーズは「内野営業所-中浜団地内-上新町公民館前-内野駅-青山行き」が最も多く 40%であった。
- ・ 「内野営業所-中浜団地内-上新町公民館前-内野駅-青山行き」は、現在より運行距離が延びるため、D地区でバスに乗らない理由の上位にある「時間がかかる」、「運賃が高い」などの課題は解消できない。

以上から、今後のルートについては、沿線住民および現在のバス利用者のいずれも「内野営業所-中浜団地内-上新町公民館前-内野駅-青山行き」のルートを選んでいるが、D地区でバスを利用しない理由となっている「時間がかかる」、「運賃が高い」の課題についても配慮した検討が求められる。